

(案)

高齢者福祉に関するアンケート結果報告書

(第9期白井市高齢者福祉計画・白井市介護保険事業計画
策定に係るアンケート結果報告書)

— 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 —

— 在宅介護実態調査 —

— 介護人材実態調査 —

令和5年 月

白井市

※一部調整の部分が含まれます

目 次

調査の実施概要	1
I 調査の概要	3
1 調査の概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査対象及び調査方法	3
(3) 配布数及び回収結果	3
2 本調査報告書の基本的な事項	4
(1) 数値の基本的な取り扱いについて	4
介護予防・日常生活圏域二エズ調査 調査結果	5
I 調査結果	7
1 回答者について	7
(1) 回答者	7
(2) 性別	7
(3) 年齢	7
(4) 居住地区	8
(5) 生活圏域	8
(6) 認定状況	8
2 調査対象者の家族や生活状況について	9
(1) 家族構成	9
(2) 日常生活での介護・介助の必要性	11
(3) 経済的にみた現在の暮らしの状況	13
(4) 住まいの形態	14
(5) 持家が将来的に空き家になる可能性	16
(6) 持家の将来について相談できる人	17
(7) 空き家になることで不安なこと	18
(8) 住まいの階層とエレベータの状況	20
(9) 普段使用している情報機器	21
(10) 普段利用している SNS 等	23
3 からだを動かすことについて	24
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	24
(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか	25
(3) 15 分位続けて歩けるか	26
(4) 過去 1 年間の転倒経験	27

(5) 転んだ場所.....	28
(6) 転倒に対する不安.....	29
(7) 週に1回以上の外出.....	30
(8) 昨年と比べた際の外出の頻度.....	31
(9) 外出を控えているか.....	32
(10) 外出を控えている理由.....	33
(11) 外出する際の移動手段.....	35
(12) 外出の目的.....	37
4 食べることについて.....	39
(1) BMI	39
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか.....	40
(3) 歯の本数と入れ歯の利用状況.....	41
(4) 誰かと食事をともにする機会.....	42
5 毎日の生活について.....	43
(1) 物忘れが多いと感じるか.....	43
(2) バスや電車を使って1人で外出しているか.....	44
(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか.....	45
(4) 自分で食事の用意をしているか.....	46
(5) 自分で請求書の支払いをしているか.....	47
(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか.....	48
6 認知症に関する相談窓口の把握について.....	50
(1) 自分または家族に認知症の症状があるか.....	50
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか.....	51
7 地域での活動について.....	52
(1) 地域活動への参加頻度.....	52
(2) 地域活動への参加者としての参加意向.....	54
(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向.....	55
(4) 参加したい活動.....	56
8 たすけあいについて.....	58
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	58
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	60
(3) 看病や世話をしてくれる人.....	61
(4) 看病や世話をしてあげる人.....	62
(5) 日常的に困っていること.....	64
(6) ボランティアとして参加したい活動.....	66
(7) 生活支援コーディネーターを知っているか.....	67
9 健康について.....	68
(1) 現在の健康状態.....	68
(2) 現在の幸せの程度.....	69
(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか.....	70

(4) 物事に対し興味がわかない等があったか.....	71
(5) 喫煙習慣の有無.....	72
(6) 現在治療中または後遺症のある病気.....	73
(7) フレイル・フレイル予防を知っているか.....	75
10 健康について.....	76
(1) 介護が必要になった際の理想の暮らし方.....	76
(2) 終末期を想定した家族との話し合いや備えをしているか.....	77
(3) 終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容.....	78
(4) 成年後見制度について知っているか.....	80
II 前回調査との比較.....	81
在宅介護実態調査 調査結果.....	85
I 調査結果.....	87
1 あて名の本人について.....	87
(1) 回答者.....	87
(2) 性別.....	87
(3) 年齢.....	87
(4) 認定状況.....	88
(5) 居住地区.....	88
(6) 生活圏域.....	88
(7) 世帯類型.....	89
(8) 住まいの形態.....	90
(9) 持家が将来的に空き家になる可能性.....	91
(10) 持家の将来について相談できる人.....	92
(11) 空き家になることで不安なこと.....	94
(12) 住まいの階層とエレベータの状況.....	96
(13) 施設などへの入所・入居の検討状況.....	97
(14) 外出の機会.....	98
(15) 外出をしていない理由.....	99
(16) 外出する際の移動手段.....	101
(17) 外出の目的.....	103
(18) 普段使用している情報機器.....	105
(19) 普段利用している SNS 等.....	107
(20) 成年後見制度について知っているか.....	109
(21) 在宅生活の継続に必要だと思うサービス.....	110
(22) 家族や親族からの介護等の頻度.....	112
2 主な介護者について.....	114
(1) 主な介護者.....	114
(2) 主な介護者の性別.....	115

(3) 主な介護者の年齢.....	116
(4) 不安を感じる介護等について.....	117
(5) 介護を理由に1年以内に仕事を辞めた人がいるか.....	119
(6) 主な介護者の現在の勤務形態.....	121
(7) 主な介護者の働き方についての調整等.....	122
(8) 今後も働きながら介護を続けていけるか.....	124
Ⅱ 前回調査との比較.....	126
事業所調査（介護人材実態調査） 調査結果.....	127
Ⅰ 調査結果.....	129
1 人材の確保について.....	129
(1) 資格の取得状況・雇用形態等.....	129
(2) 確保が困難な職種.....	131
(3) 人材の募集方法.....	132
(4) 離職防止・職場定着のための取り組み.....	133
(5) 人材の確保・定着での悩み.....	134
(6) 人材育成の取り組み.....	135
(7) 外国人職員の採用状況.....	136
(8) 今後の外国人職員の採用意向.....	136
(9) 介護助手の導入状況.....	137
(10) 参加したい研修の内容.....	138
(11) 人材確保に関する考え方.....	139
2 事業所の経営等について.....	140
(1) サービスの需要.....	140
(2) 今後新規に実施したいサービス.....	141
(3) 経営における問題点.....	142
3 白井市の介護保険事業について.....	143
(1) 白井市の福祉ニーズや課題.....	143
(2) 白井市に不足するサービス等.....	144
(3) 高齢者福祉の充実のために必要なこと.....	146
(4) 高齢者福祉の充実のために事業所ができること.....	147
(5) 高齢者福祉の充実のために市に期待すること.....	148
(6) 自由意見.....	149

調査の実施概要

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、白井市の高齢者の生活課題やニーズの把握を目的としている。白井市で介護保険サービスを提供する事業者の現状や今後の意向を把握し、計画づくりの基礎資料とすることを目的としている。

(2) 調査対象及び調査方法

調査種別	介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	事業所調査 (介護人材実態調査)
調査項目	・本人の状況と暮らし方 ・地域活動と助け合い ・今後の暮らし方と市 事業への参加意向	・本人の状況 ・介護者の状況	・介護人材の確保 ・事業所の経営等
調査対象	要介護認定を受けていない65歳以上の市民（施設入所者を除く）	施設入所者を除く要介護認定を受けている市民	市内介護事業所
配布数	2,500 票	953 票	33 法人
抽出法	無作為抽出	全数調査	全法人
調査期間	令和5年1月23日～2月22日		
調査地域	白井市全域		

※各調査の調査項目は、国が示す調査項目に、白井市独自の質問を組み入れて構成しています。

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,500 票	953 票	33 法人
有効回収数	1,887 票	622 票	14 法人
有効回収率	75.5%	65.3%	42.4%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。
従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

(2) 白井市の日常生活圏域について

- ①介護保険事業の推進にあたっては、日常生活圏域ごとに必要とされる介護サービスを確保していくことを国は求めており、高齢者の生活の継続性や介護資源の確保等の観点から、人口2～3万人程度で1圏域として設定しています。
- ②市では、2つの日常生活圏域を設定し、高齢者への支援機能の充実を図るとともに、市民自治や地域防災体制、地域福祉活動などとの連携を図りながら、地区レベル、徒歩圏レベルの支え合いの体制づくりを進めていきます。

■日常生活圏域の概況（人口と高齢化率）

※調整中 令和5年4月（参考）

		人口		
			うち高齢者人口（65歳以上）	高齢者人口割合
A圏域	白井第一小学校区	6,487 人	1,893 人	29.2%
	白井第二小学校区	2,947 人	1,043 人	35.4%
	南山小学校区	7,085 人	2,310 人	32.6%
	池の上小学校区	6,120 人	2,336 人	38.2%
	桜台小学校区	6,965 人	1,737 人	24.9%
	計	29,544 人	9,022 人	32.6%
B圏域	白井第三小学校区	9,418 人	2,329 人	24.7%
	大山口小学校区	7,659 人	2,064 人	26.9%
	七次台小学校区	5,849 人	1,239 人	21.2%
	清水口小学校区	10,116 人	2,639 人	26.1%
	計	33,042 人	8,271 人	24.7%
市全体		62,586 人	17,293 人	28.7%

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調査結果

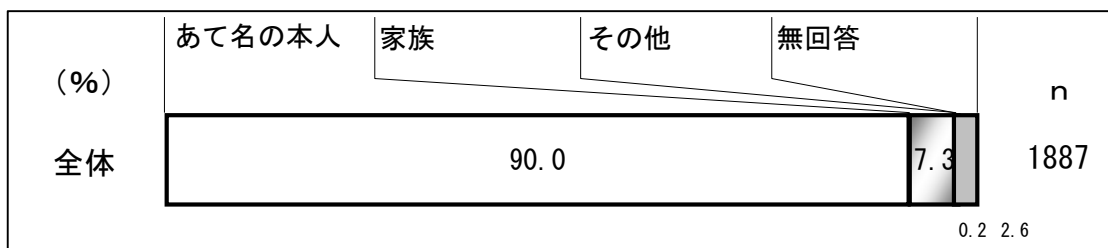
I 調査結果

1 回答者について

(1) 回答者

回答者は、「あて名の本人」が90.0%、「家族」が7.3%となっている。

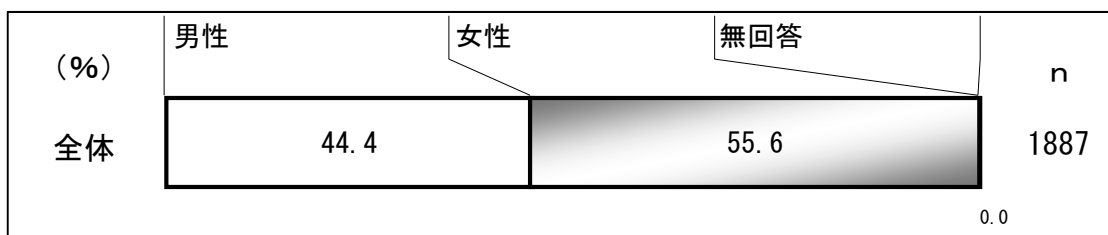
図表 回答者（全体）



(2) 性別

性別は、「女性」が55.6%、「男性」が44.4%となっている。

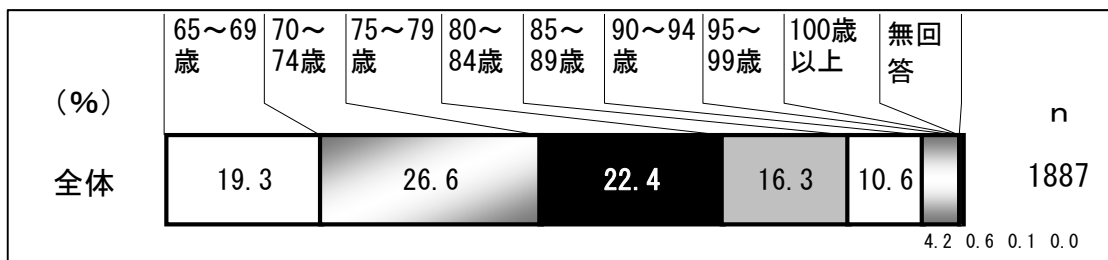
図表 性別（全体）



(3) 年齢

年齢は、「70～74歳」が26.6%、「75～79歳」が22.4%、「65～69歳」が19.3%、「80～84歳」が16.3%、「85～89歳」が10.6%、「90～94歳」が4.2%、「95～99歳」が0.6%、「100歳以上」が0.1%となっている。

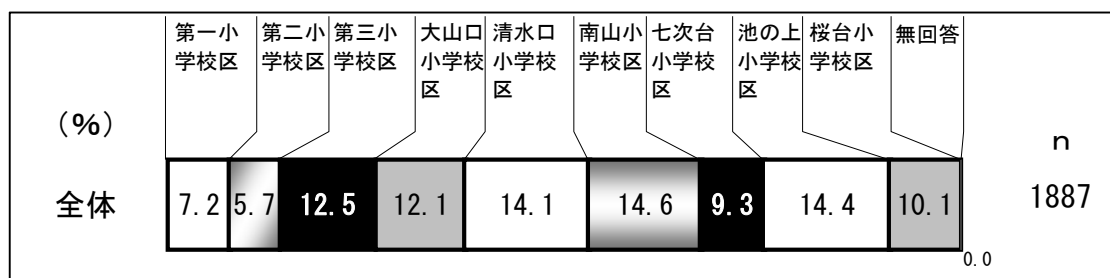
図表 年齢（全体）



(4) 居住地区

居住地区は、「南山小学校区」が 14.6%、「池の上小学校区」が 14.4%、「清水口小学校区」が 14.1%、「第三小学校区」が 12.5%、「大山口小学校区」が 12.1%、「桜台小学校区」が 10.1%、「七次台小学校区」が 9.3%、「第一小学校区」が 7.2%、「第二小学校区」が 5.7%となっている。

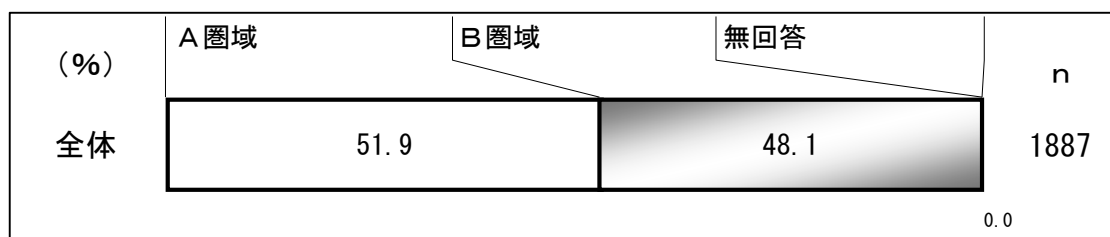
図表 居住地区（全体）



(5) 生活圏域

生活圏域は、「A圏域」が 51.9%、「B圏域」が 48.1%となっている。

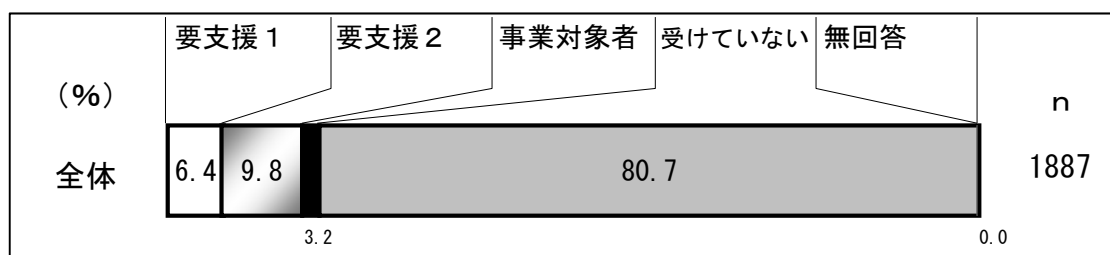
図表 生活圏域（全体）



(6) 認定状況

認定状況は、「受けていない」が 80.7%、「要支援2」が 9.8%、「要支援1」が 6.4%、「事業対象者」が 3.2%となっている。

図表 認定状況（全体）



2 調査対象者の家族や生活状況について

(1) 家族構成

問1 (1) 家族構成をお教えてください。

- 「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が4割強、「息子娘との2世帯」が2割強を占める。

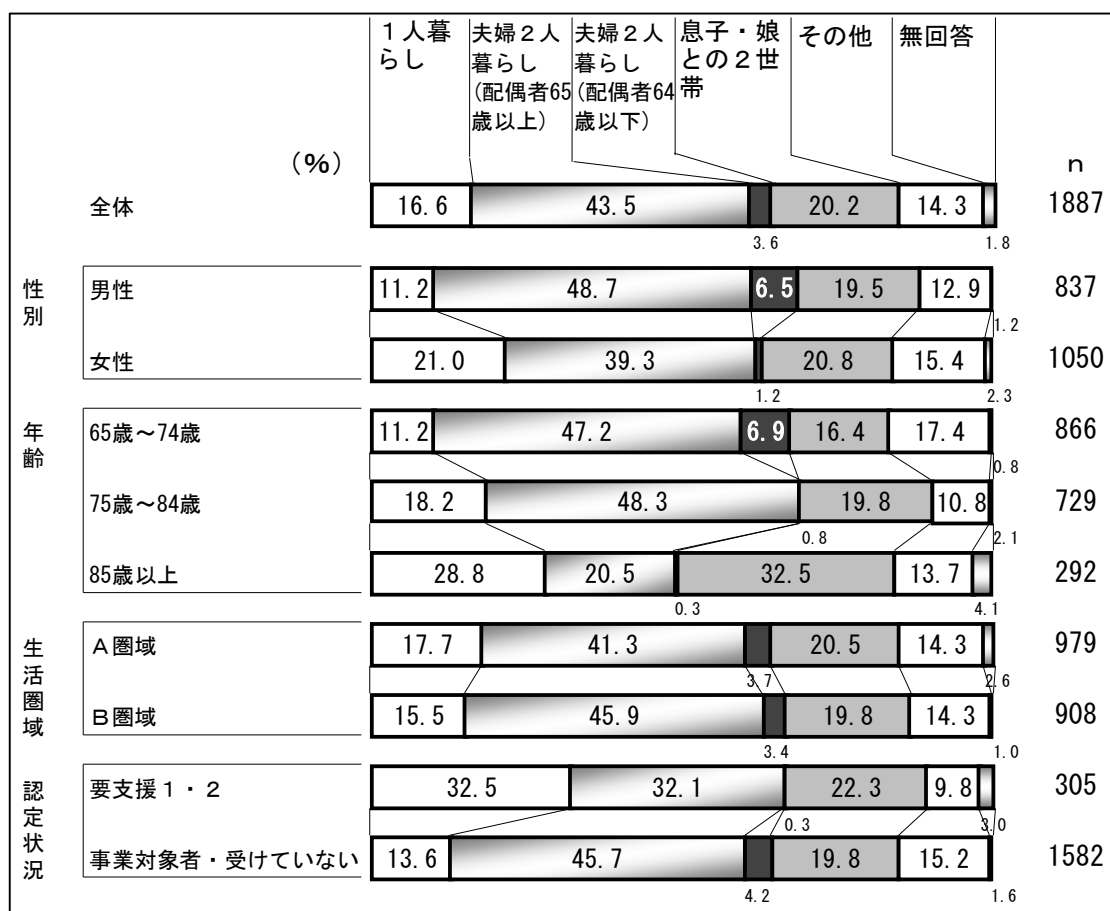
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.5%、「息子・娘との2世帯」が20.2%、「1人暮らし」が16.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が3.6%となっている。

性別でみると、女性では「1人暮らし」が21.0%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「1人暮らし」の割合が高くなっており、85歳以上では28.8%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「1人暮らし」が32.5%となっている。

図表 家族構成（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- 85 歳以上では「息子・娘との2世帯」が 32.5%と 85 歳未満よりも高くなっており、高齢になるにつれて家族による介護や見守りを受けながら生活している人が多いことがわかります。一方で、「1人暮らし」の割合も高齢になるにつれて高くなっており、支援や見守りが必要な世帯が少なくないこともうかがえます。

(2) 日常生活での介護・介助の必要性

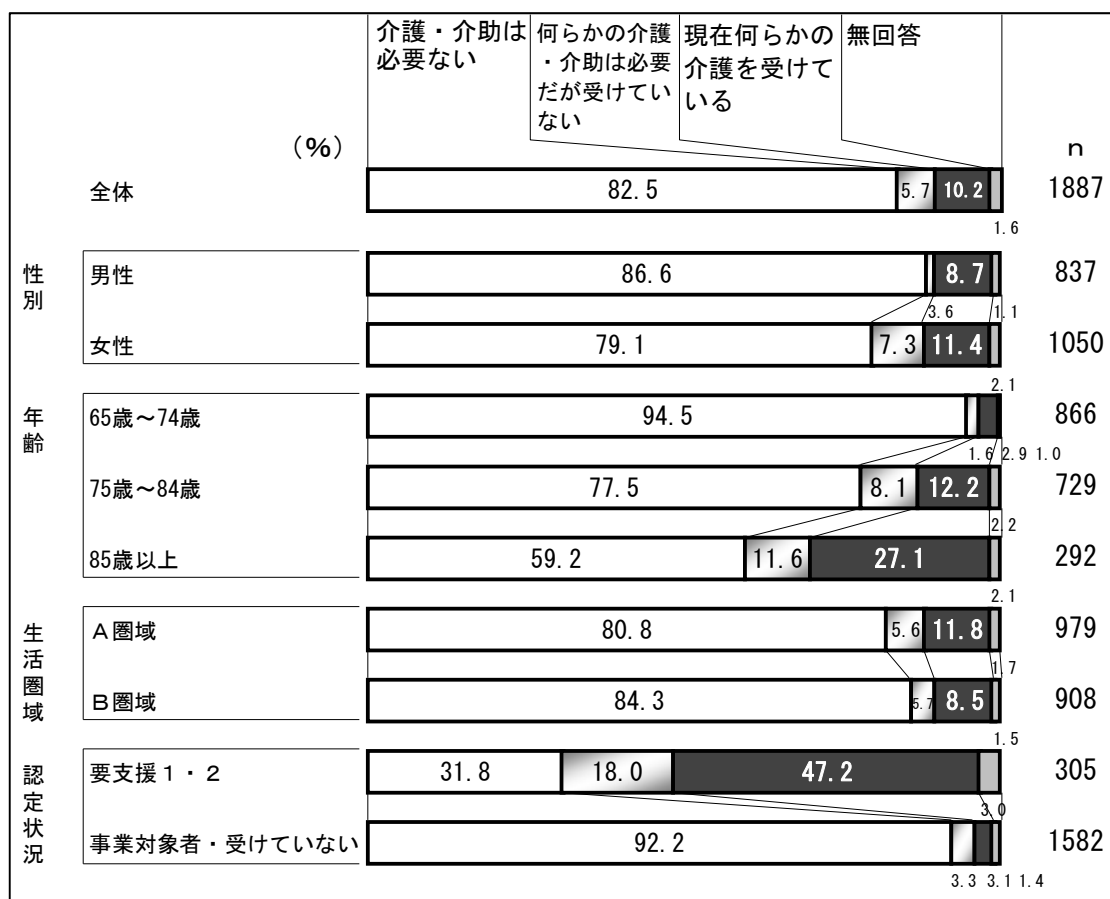
問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

- 「介護・介助は必要ない」が8割強を占める。

日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が82.5%、「現在何らかの介護を受けている」が10.2%、「何らかの介護・介助は必要だが受けていない」が5.7%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「現在何らかの介護を受けている」の割合が高くなっており、85歳以上では27.1%となっている。

図表 日常生活での介護・介助の必要性（全体・属性別）



介護・介助が必要だが受けていない理由については、次のような回答があった。

「家族等の手助けや自分のがんばりにより現在は必要ない」といった記述（４４件）に次いで、「病気や身体機能の衰えにより生活に不自由がある・できないこと（買い物や外出等）があり支援が必要」といった記述（１０件）が多くみられます。また、「手続きが大変、仕事を休めないなどの経済的理由」と答えた方（５件）との記述がみられました。

【調査結果から見える傾向】

- 介護・介助を受けていない人であっても、身体機能の衰えなどにより、生活に不安や不自由を感じるケースもあります。市内３か所に設置されている地域包括支援センターが中心となって、高齢者の生活上の困りごとを把握するとともに、支援を必要とする人に支援を提供する体制の充実が必要です。

(3) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- 「ふつう」が6割強を占める。

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」(63.1%)、「大変苦しい」(5.9%)と「やや苦しい」(20.8%)を合わせた“苦しい”が26.7%、「ややゆとりがある」(8.1%)と「大変ゆとりがある」(1.4%)を合わせた“ゆとりがある”が9.5%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では“苦しい”が33.1%となっている。

図表 経済的にみた現在の暮らしの状況（全体・属性別）

		(%)	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答	n
性別	全体		5.9	20.8	63.1	8.1	1.4	0.7	1887
	男性		6.3	22.7	60.8	8.4	1.4	0.4	837
	女性		5.6	19.2	65.0	7.9	1.3	1.0	1050
年齢	65歳～74歳		5.3	23.0	61.0	9.2	1.2	0.3	866
	75歳～84歳		6.4	19.8	64.6	7.3	1.0	1.0	729
	85歳以上		6.5	16.8	65.8	6.8	3.1	1.0	292
生活圏域	A圏域		6.5	19.2	63.4	8.9	1.3	0.6	979
	B圏域		5.3	22.5	62.8	7.3	1.4	0.8	908
認定状況	要支援1・2		9.8	23.3	56.4	7.9	1.5	0.5	305
	事業対象者・受けていない		5.2	20.3	64.4	8.2	1.5	0.5	1582

(4) 住まいの形態

問1 (4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

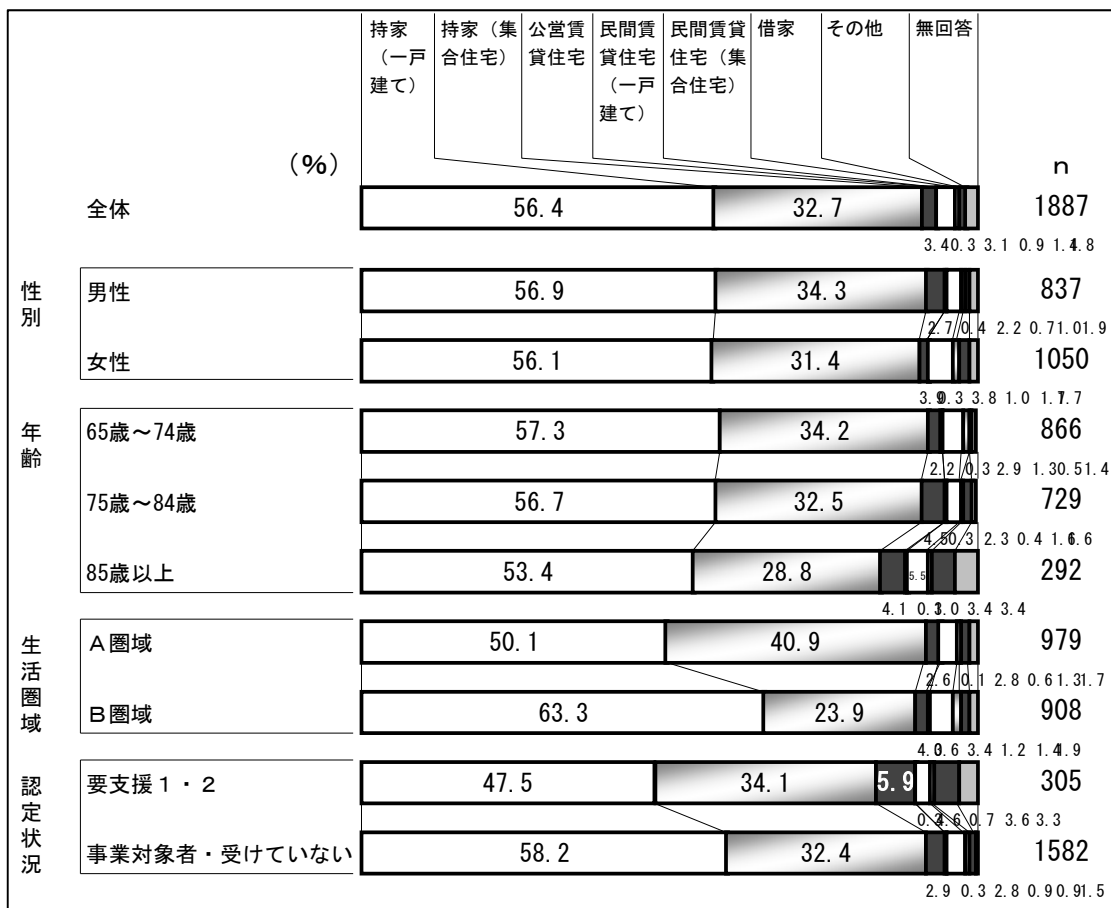
- 「持家（一戸建て）」が6割弱、「持家（集合住宅）」が3割強を占める。

住まいの形態については、「持家（一戸建て）」が 56.4%、「持家（集合住宅）」が 32.7%、「公営賃貸住宅」が 3.4%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 3.1%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 0.9%、「借家」が 0.9%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が 0.3%となっている。

生活圏域でみると、B圏域では「持家（一戸建て）」が 63.3%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「持家（一戸建て）」が 47.5%となっている。

図表 住まいの形態（全体・属性別）



No.	カテゴリー名	%
1	持家（一戸建て）	56.4
2	持家（集合住宅）	32.7
3	公営賃貸住宅	3.4
4	民間賃貸住宅（一戸建て）	0.3
5	民間賃貸住宅（集合住宅）	3.1
6	借家	0.9
7	その他	1.4
	無回答	1.8
	全体	100.0

(5) 持家が将来的に空き家になる可能性

【(4)で「1.」または「2.」と答えた方のみ】

問1 (4) ① 持家が将来的に空き家になる可能性はありますか。

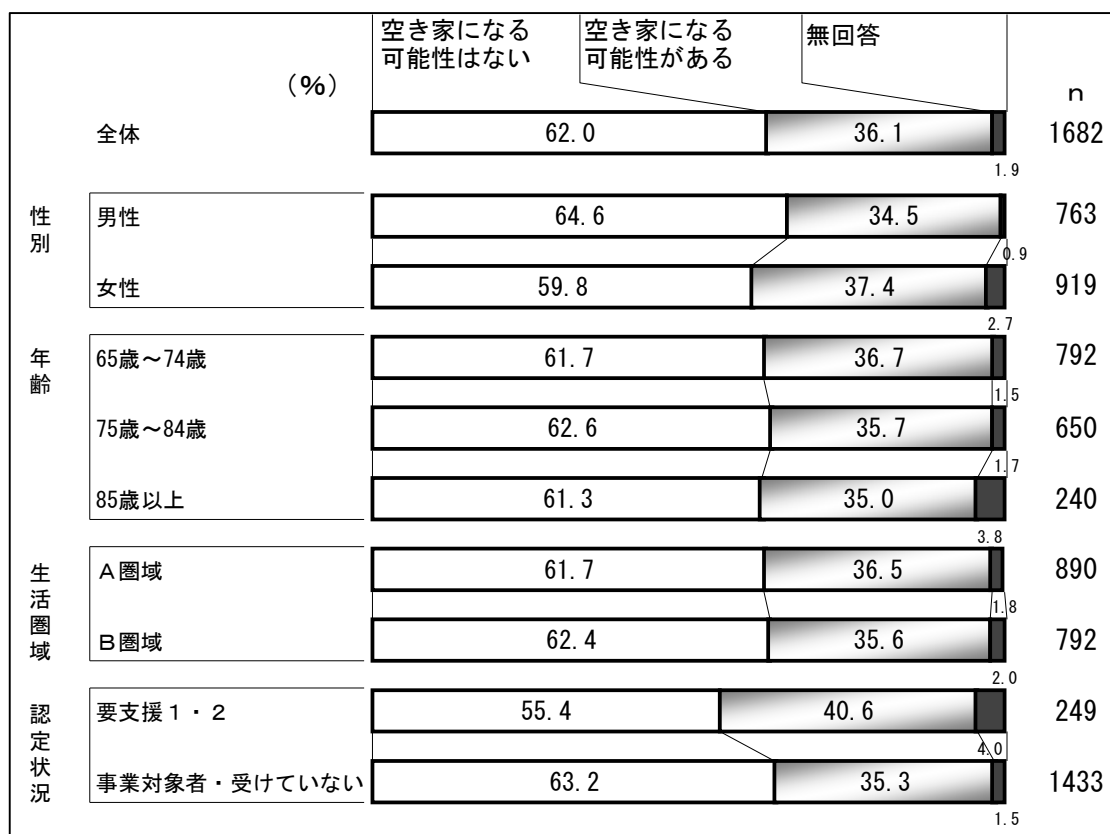
- 「空き家になる可能性はない」が6割強、「空き家になる可能性がある」が4割弱を占める。

持家が将来的に空き家になる可能性については、「空き家になる可能性はない」が62.0%、「空き家になる可能性がある」が36.1%となっている。

ほとんどの属性で「空き家になる可能性がある」が3割台を占めている。

認定状況でみると、要支援1・2では「空き家になる可能性がある」が40.6%となっている。

図表 持家が将来的に空き家になる可能性（全体・属性別）



(6) 持家の将来について相談できる人

【①で「2.」と答えた方のみ】

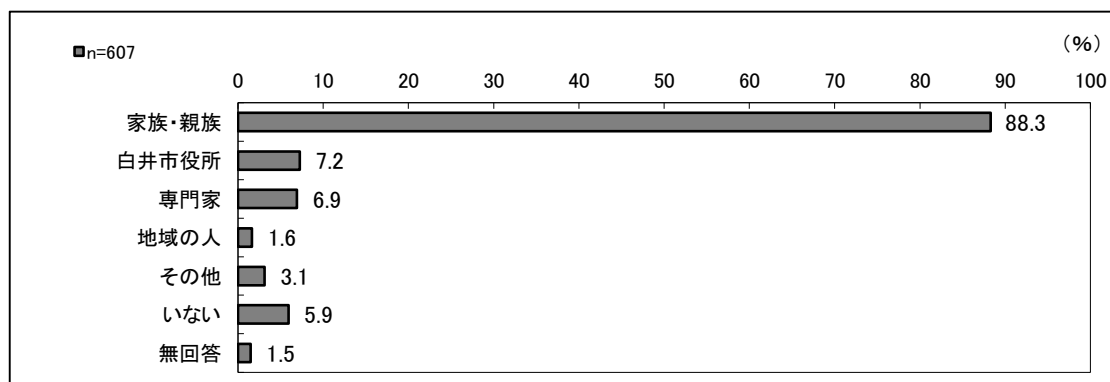
問1 (4) ② 持家の将来について相談できる人は誰ですか。【複数回答】

- 「家族・親族」が第1位。「白井市役所」、「専門家」などが続く。

持家の将来について相談できる人については、「家族・親族」(88.3%)が最も多く、次いで「白井市役所」(7.2%)、「専門家」(6.9%)、「地域の人」(1.6%)などとなっている。なお、「いない」は5.9%となっている。

いずれの属性でも「家族・親族」が第1位となっている。

図表 持家の将来について相談できる人(全体/複数回答)



図表 持家の将来について相談できる人(全体・属性別第1位/複数回答)

		合計	問1(4) ② 持家の将来について相談できる人							非該当
			家族・親族	地域の人	専門家	白井市役所	その他	いない	無回答	
全体		607 100.0%	536 88.3%	10 1.6%	42 6.9%	44 7.2%	19 3.1%	36 5.9%	9 1.5%	1280
性別	男性	263 100.0%	236 89.7%	2 0.8%	16 6.1%	22 8.4%	6 2.3%	16 6.1%	4 1.5%	574
	女性	344 100.0%	300 87.2%	8 2.3%	26 7.6%	22 6.4%	13 3.8%	20 5.8%	5 1.5%	706
年齢	65～74歳	291 100.0%	257 88.3%	2 0.7%	22 7.6%	21 7.2%	8 2.7%	19 6.5%	3 1.0%	575
	75～84歳	232 100.0%	206 88.8%	7 3.0%	9 3.9%	16 6.9%	5 2.2%	12 5.2%	4 1.7%	497
	85歳以上	84 100.0%	73 86.9%	1 1.2%	11 13.1%	7 8.3%	6 7.1%	5 6.0%	2 2.4%	208
生活圏域	A圏域	325 100.0%	284 87.4%	5 1.5%	25 7.7%	21 6.5%	13 4.0%	20 6.2%	4 1.2%	654
	B圏域	282 100.0%	252 89.4%	5 1.8%	17 6.0%	23 8.2%	6 2.1%	16 5.7%	5 1.8%	626
認定状況	要支援１・２	101 100.0%	91 90.1%	0 0.0%	10 9.9%	4 4.0%	5 5.0%	4 4.0%	1 1.0%	204
	事業対象者・受けていない	506 100.0%	445 87.9%	10 2.0%	32 6.3%	40 7.9%	14 2.8%	32 6.3%	8 1.6%	1076

(7) 空き家になることで不安なこと

【①で「2.」と答えた方のみ】

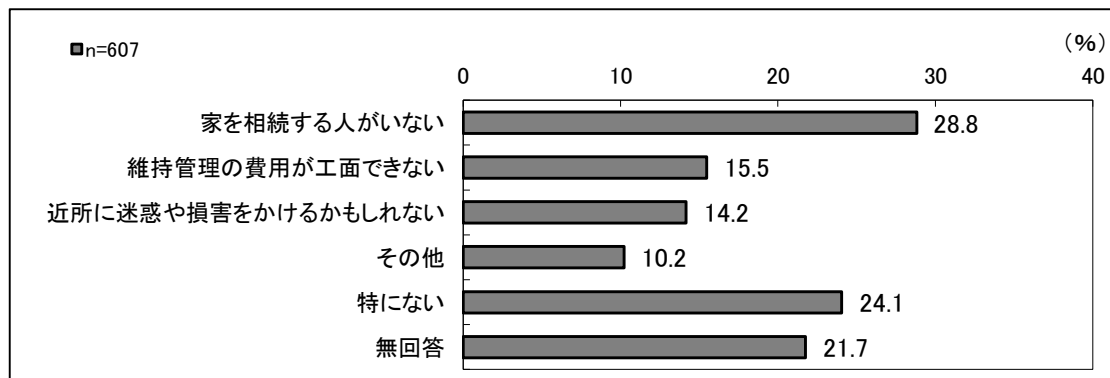
問1 (4) ③ 空き家になることについて、どのような不安がありますか。【複数回答】

- 「家を相続する人がいない」が第1位。「特にない」は24.1%となっている。

空き家になることで不安なことについては、「家を相続する人がいない」(28.8%)が最も多く、次いで「維持管理の費用が工面できない」(15.5%)、「近所に迷惑や損害をかけるかもしれない」(14.1%)などとなっている。なお、「特にない」は24.1%となっている。

性別でみると、女性では「家を相続する人がいない」・「特にない」が同率で第1位となっている。

図表 空き家になることで不安なこと（全体／複数回答）



図表 空き家になることで不安なこと（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問1(4) ③ 空き家になることで不安なこと						
			家を相続する人がいない	近所に迷惑や損害をかけるかもしれない	維持管理の費用が工面できない	その他	特にない	無回答	非該当
全体		607 100.0%	175 28.8%	86 14.2%	94 15.5%	62 10.2%	146 24.1%	132 21.7%	1280
性別	男性	263 100.0%	93 35.4%	45 17.1%	39 14.8%	27 10.3%	64 24.3%	35 13.3%	574
	女性	344 100.0%	82 23.8%	41 11.9%	55 16.0%	35 10.2%	82 23.8%	97 28.2%	706
年齢	65～74歳	291 100.0%	86 29.6%	38 13.1%	50 17.2%	31 10.7%	83 28.5%	48 16.5%	575
	75～84歳	232 100.0%	65 28.0%	36 15.5%	33 14.2%	20 8.6%	50 21.6%	58 25.0%	497
	85歳以上	84 100.0%	24 28.6%	12 14.3%	11 13.1%	11 13.1%	13 15.5%	26 31.0%	208
生活圏域	A圏域	325 100.0%	90 27.7%	37 11.4%	54 16.6%	33 10.2%	84 25.8%	72 22.2%	654
	B圏域	282 100.0%	85 30.1%	49 17.4%	40 14.2%	29 10.3%	62 22.0%	60 21.3%	626
認定状況	要支援１・２	101 100.0%	25 24.8%	7 6.9%	13 12.9%	7 6.9%	22 21.8%	34 33.7%	204
	事業対象者・受けていない	506 100.0%	150 29.6%	79 15.6%	81 16.0%	55 10.9%	124 24.5%	98 19.4%	1076

(8) 住まいの階層とエレベータの状況

問1 (5) お住まい（主に生活する部屋）の階層、エレベータの状況をお答えください。

- 「1階」が4割強、「2階以上でエレベータなし」が3割弱を占める。

住まいの階層とエレベータの設置状況については、「1階」が43.3%、「2階以上でエレベータなし」が29.9%、「2階以上でエレベータが止まる」が13.6%、「2階以上でエレベータがあるが止まらない階」が3.5%となっている。

生活圏域でみると、B圏域では「2階以上でエレベータなし」が33.0%とA圏域よりも高くなっている。

図表 住まいの階層とエレベータの設置状況（全体・属性別）

		1階	2階以上でエレベータなし	2階以上でエレベータが止まる	2階以上でエレベータがあるが止まらない	無回答	n
		(%)					
性別	全体	43.3	29.9	13.6	3.5	9.6	1887
	男性	38.7	35.5	13.3	3.6	9.0	837
	女性	47.0	25.4	13.9	3.4	10.2	1050
年齢	65歳～74歳	38.8	33.8	14.1	3.6	9.7	866
	75歳～84歳	46.9	28.8	11.2	3.6	9.5	729
	85歳以上	47.9	20.9	18.2	3.6	9.9	292
					3.1		
生活圏域	A圏域	41.4	27.0	20.2	4.3	7.2	979
	B圏域	45.5	33.0	6.5	2.6	12.3	908
認定状況	要支援1・2	47.5	23.9	16.4	4.6	7.5	305
	事業対象者・受けていない	42.5	31.0	13.1	3.3	10.1	1582

【調査結果から見える傾向】

- エレベータのない集合住宅に住む高齢者はB圏域で多くなっています。身体機能の衰えが進行するにつれて生活がさらに困難になる可能性があります。訪問系サービスを提供する事業者にとっても負担になっていると見られます。

(9) 普段使用している情報機器

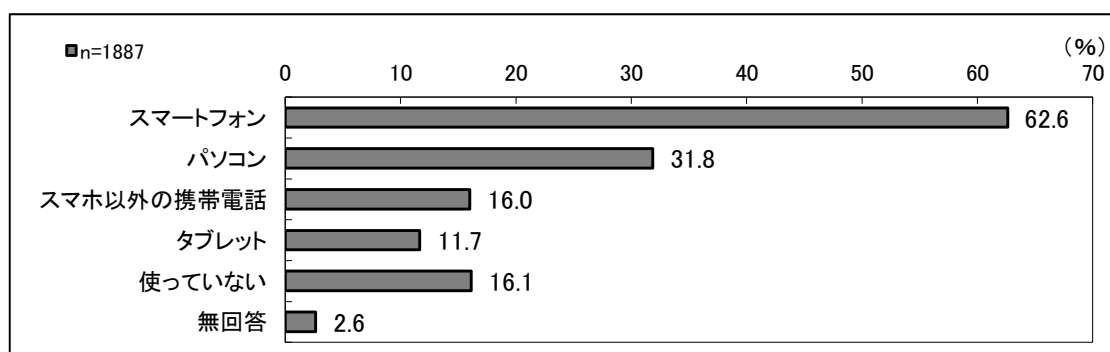
問1 (6) あなたが普段お使いの情報機器をお答えください。【複数回答】

- 「スマートフォン」が第1位。「パソコン」、「スマホ以外の携帯電話」などが続く。

普段使用している情報機器については、「スマートフォン」(62.6%)が最も多く、次いで「パソコン」(31.8%)、「スマホ以外の携帯電話」(16.0%)、「タブレット」(11.7%)などとなっている。なお、「使っていない」は16.1%となっている。

年齢でみると、85歳以上では「使っていない」が第1位となっている。

図表 普段使用している情報機器（全体／複数回答）



図表 普段使用している情報機器（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問1(6) 普段使用している情報機器					
			パソコン	スマートフォン	タブレット	スマホ以外の携帯電話	使っていない	無回答
全体		1887	601	1182	220	302	304	50
		100.0%	31.8%	62.6%	11.7%	16.0%	16.1%	2.6%
性別	男性	837	420	551	115	108	117	18
		100.0%	50.2%	65.8%	13.7%	12.9%	14.0%	2.2%
女性		1050	181	631	105	194	187	32
		100.0%	17.2%	60.1%	10.0%	18.5%	17.8%	3.0%
年齢	65～74歳	866	361	685	141	94	58	14
		100.0%	41.7%	79.1%	16.3%	10.9%	6.7%	1.6%
	75～84歳	729	201	407	68	139	140	18
		100.0%	27.6%	55.8%	9.3%	19.1%	19.2%	2.5%
85歳以上		292	39	90	11	69	106	18
		100.0%	13.4%	30.8%	3.8%	23.6%	36.3%	6.2%
生活圏域	A圏域	979	315	588	125	170	171	24
		100.0%	32.2%	60.1%	12.8%	17.4%	17.5%	2.5%
B圏域		908	286	594	95	132	133	26
		100.0%	31.5%	65.4%	10.5%	14.5%	14.6%	2.9%
認定状況	要支援1・2	305	50	126	20	60	91	19
		100.0%	16.4%	41.3%	6.6%	19.7%	29.8%	6.2%
	事業対象者・受けていない	1582	551	1056	200	242	213	31
		100.0%	34.8%	66.8%	12.6%	15.3%	13.5%	2.0%

【調査結果から見える傾向】

- 85歳未満では、「スマートフォン」利用率が5割以上を占めています。若年層ほど高い利用率を示すことから、高齢者福祉に関する広報等においては、スマートフォンファーストの情報提供が今後さらに重要になると見込まれます。

(10) 普段利用している SNS 等

問1 (7) あなたが普段お使いの SNS などをお答えください。【複数回答】

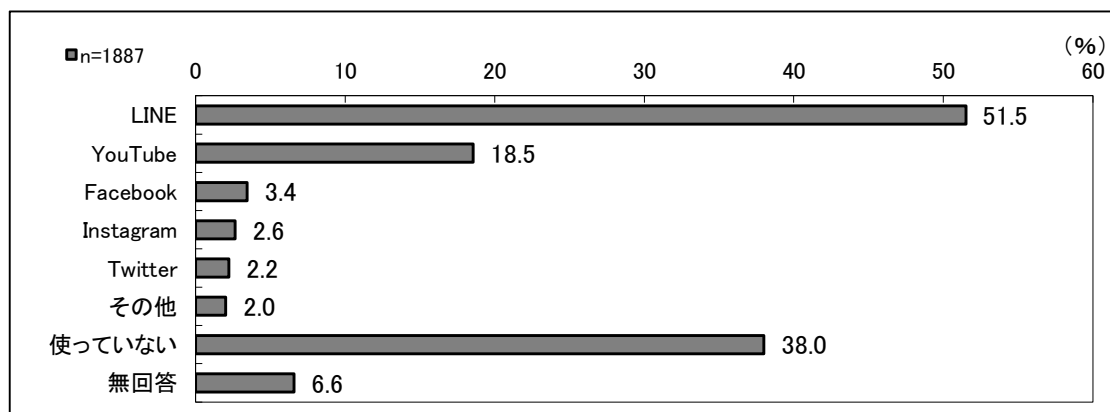
- 「LINE」が第1位。「使っていない」が38.0%となっている。

普段利用している SNS 等については、「LINE」(51.5%) が最も多く、次いで「YouTube」(18.5%)、「Facebook」(3.4%)、「Instagram」(2.6%)、「Twitter」(2.2%) などとなっている。なお、「使っていない」は38.0%となっている。

年齢でみると、75歳以上では「使っていない」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「使っていない」が第1位となっている。

図表 普段利用している SNS 等（全体／複数回答）



図表 普段利用している SNS 等（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問1(7) 普段使用しているSNS等							
			LINE	Twitter	Facebook	YouTube	Instagram	その他	使っていない	無回答
全体		1887 100.0%	972 51.5%	42 2.2%	65 3.4%	350 18.5%	50 2.6%	38 2.0%	717 38.0%	124 6.6%
性別	男性	837 100.0%	418 49.9%	22 2.6%	39 4.7%	174 20.8%	16 1.9%	21 2.5%	320 38.2%	53 6.3%
	女性	1050 100.0%	554 52.8%	20 1.9%	26 2.5%	176 16.8%	34 3.2%	17 1.6%	397 37.8%	71 6.8%
年齢	65～74歳	866 100.0%	613 70.8%	34 3.9%	45 5.2%	246 28.4%	41 4.7%	22 2.5%	187 21.6%	29 3.3%
	75～84歳	729 100.0%	310 42.5%	6 0.8%	19 2.6%	91 12.5%	7 1.0%	13 1.8%	335 46.0%	54 7.4%
	85歳以上	292 100.0%	49 16.8%	2 0.7%	1 0.3%	13 4.5%	2 0.7%	3 1.0%	195 66.8%	41 14.0%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	490 50.1%	20 2.0%	32 3.3%	182 18.6%	24 2.5%	23 2.3%	382 39.0%	65 6.6%
	B圏域	908 100.0%	482 53.1%	22 2.4%	33 3.6%	168 18.5%	26 2.9%	15 1.7%	335 36.9%	59 6.5%
認定状況	要支援１・２	305 100.0%	89 29.2%	3 1.0%	7 2.3%	25 8.2%	2 0.7%	5 1.6%	170 55.7%	36 11.8%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	883 55.8%	39 2.5%	58 3.7%	325 20.5%	48 3.0%	33 2.1%	547 34.6%	88 5.6%

3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

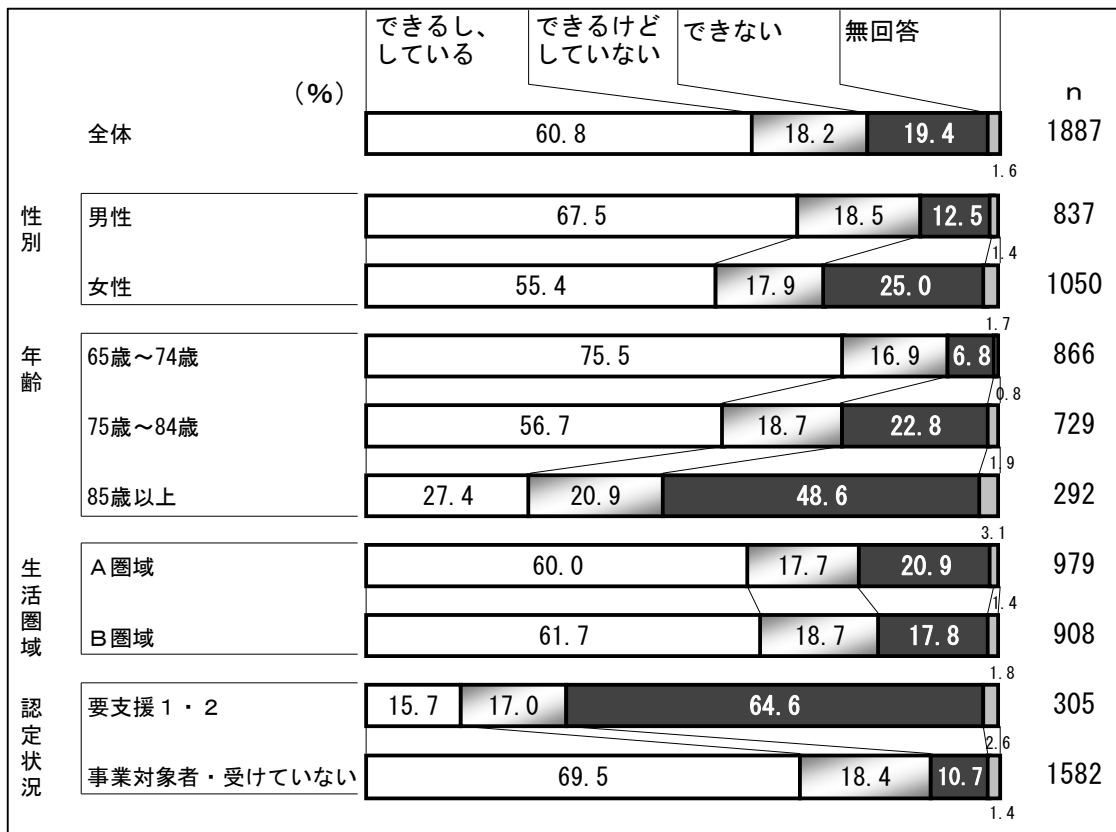
- 「できるし、している」が6割強を占める。

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかたずねたところ、「できるし、している」が60.8%、「できない」が19.4%、「できるけどしていない」が18.2%となっている。

性別でみると、女性では「できない」が25.0%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では48.6%となっている。

図表 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか（全体・属性別）



(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

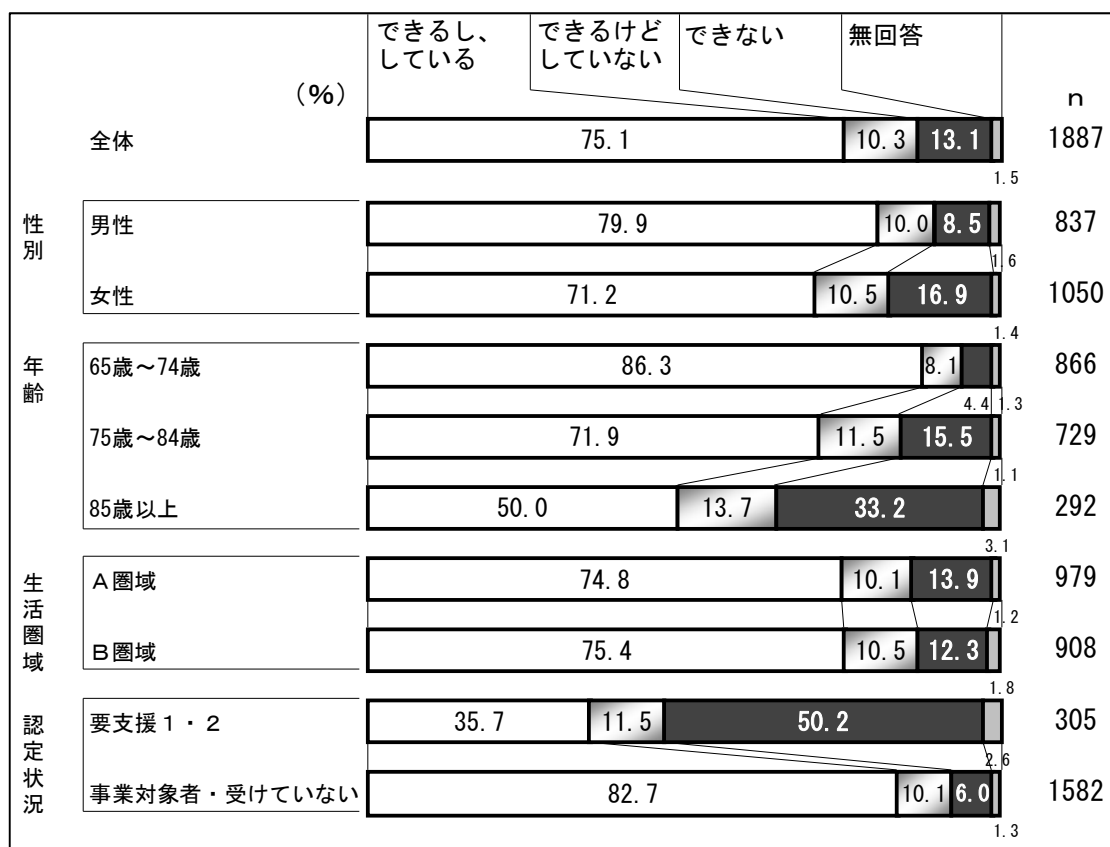
- 「できるし、している」が8割弱を占める。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかたずねたところ、「できるし、している」が75.1%、「できない」が13.1%、「できるけどしていない」が10.3%となっている。

性別でみると、女性では「できない」が16.9%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では33.2%となっている。

図表 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか（全体・属性別）



(3) 15 分位続けて歩けるか

問2 (3) 15 分位続けて歩いていますか。

- 「できるし、している」が8割弱を占める。

15 分位続けて歩けるかたずねたところ、「できるし、している」が 75.0%、「できるけどしていない」が 13.5%、「できない」が 10.3%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できるし、している」の割合が低くなっている。

図表 15 分位続けて歩けるか（全体・属性別）

		できるし、 している (%)	できるけど していない	できない	無回答	n
	全体	75.0	13.5	10.3	1.2	1887
性別	男性	75.0	15.2	8.4	1.4	837
	女性	75.0	12.2	11.8	1.0	1050
年齢	65歳～74歳	80.9	14.5	3.6	0.9	866
	75歳～84歳	76.3	11.5	11.7	0.5	729
	85歳以上	54.5	15.4	26.7	3.4	292
生活 圏域	A圏域	75.4	12.5	11.1	1.0	979
	B圏域	74.7	14.6	9.4	1.3	908
認定 状況	要支援1・2	50.8	12.5	35.1	1.6	305
	事業対象者・受けていない	79.7	13.7	5.5	1.1	1582

(4) 過去1年間の転倒経験

問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

- 「ない」が7割弱を占める。

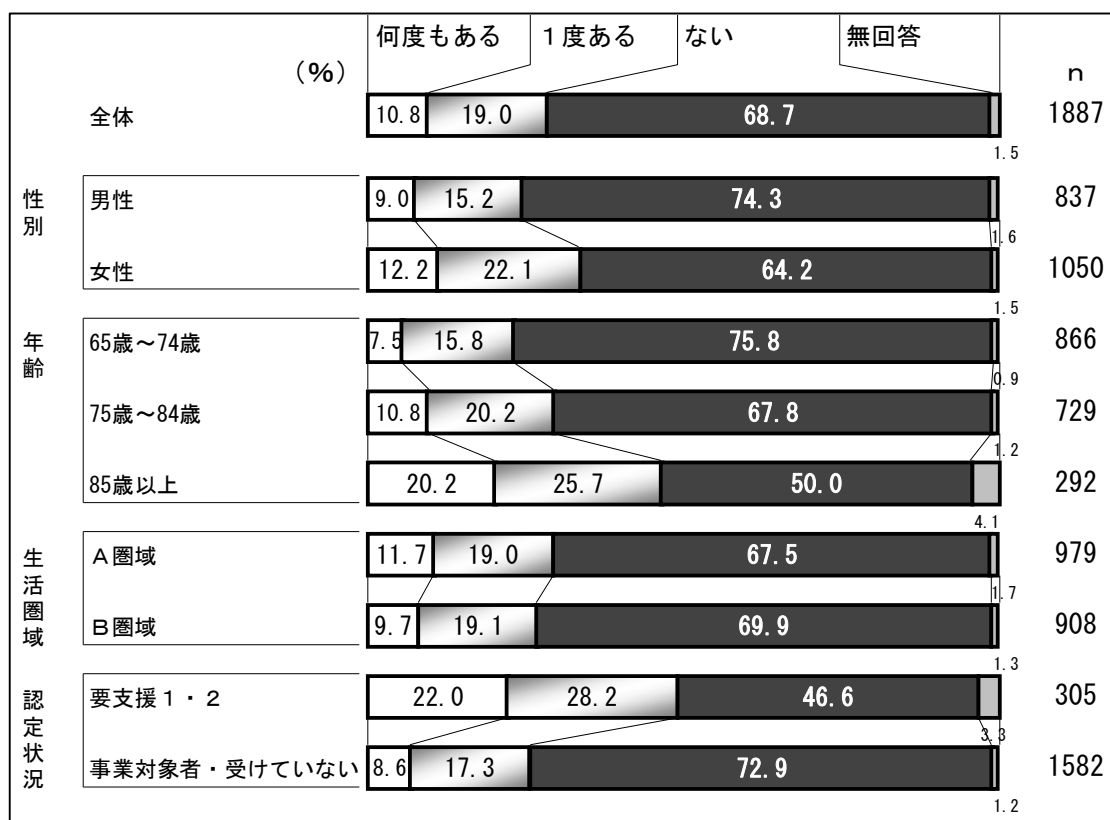
過去1年間の転倒経験たずねたところ、「ない」が68.7%、「1度ある」が19.0%、「何度もある」が10.8%となっている。

性別でみると、男性よりも女性の転倒経験のある人の割合が高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて転倒経験のある人の割合が高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「何度もある」が22.0%、「1度ある」が28.2%となっている。

図表 過去1年間の転倒経験（全体・属性別）



(5) 転んだ場所

問2(4)① 転んだ場所を教えてください。【複数回答】

- 「外出先（自宅以外）」が「自宅」をわずかに上回る。

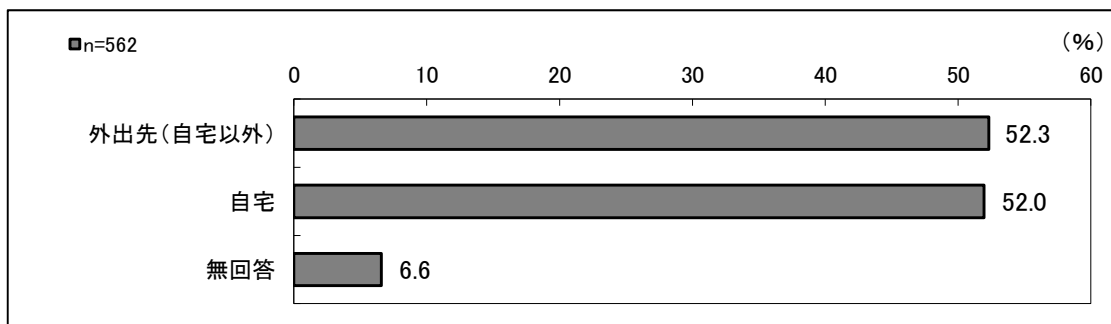
転んだ場所については、「外出先（自宅以外）」が 52.3%、「自宅」が 52.0%となっている。

性別でみると、女性では「自宅」が「外出先（自宅以外）」を上回っている。

年齢でみると、75 歳以上では「自宅」が「外出先（自宅以外）」を上回っている。

生活圏域でみると、A 圏域では「自宅」が「外出先（自宅以外）」を上回っている。

図表 転んだ場所（全体／複数回答）



図表 転んだ場所（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問2(4)① 転んだ場所			
			自宅	外出先 (自宅以外)	無回答	非該当
全体		562	292	294	37	1325
		100.0%	52.0%	52.3%	6.6%	
性別	男性	202	90	122	13	635
		100.0%	44.6%	60.4%	6.4%	
性別	女性	360	202	172	24	690
		100.0%	56.1%	47.8%	6.7%	
年齢	65～74歳	202	87	124	11	664
		100.0%	43.1%	61.4%	5.4%	
	75～84歳	226	124	107	18	503
		100.0%	54.9%	47.3%	8.0%	
年齢	85歳以上	134	81	63	8	158
		100.0%	60.4%	47.0%	6.0%	
生活圏域	A 圏域	301	159	144	26	678
		100.0%	52.8%	47.8%	8.6%	
生活圏域	B 圏域	261	133	150	11	647
		100.0%	51.0%	57.5%	4.2%	
認定状況	要支援1・2	153	91	72	11	152
		100.0%	59.5%	47.1%	7.2%	
	事業対象者・受けていない	409	201	222	26	1173
		100.0%	49.1%	54.3%	6.4%	

(6) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。

- “不安である” が6割弱、“不安ではない” が4割強を占める。

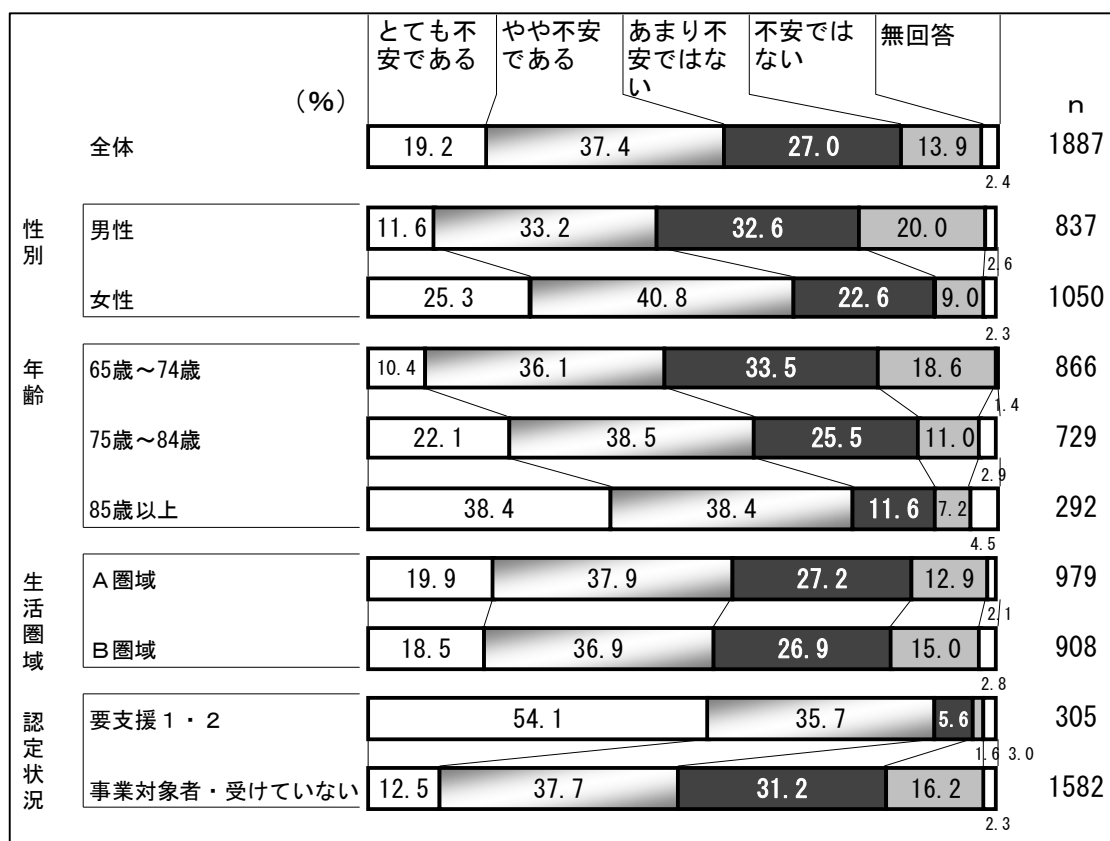
転倒に対する不安については、「とても不安である」(19.2%)と「やや不安である」(37.4%)を合わせた“不安である”が56.6%、「あまり不安ではない」(27.0%)と「不安ではない」(13.9%)を合わせた“不安ではない”が40.9%となっている。

性別でみると、女性では“不安である”が66.1%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて“不安である”の割合が高くなっており、85歳以上では76.8%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では“不安である”が89.8%となっている。

図表 転倒に対する不安（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- 高齢になるにつれて運動機能が低下しています。転倒への不安も高齢になるにつれて大きくなっていることから、身体機能の低下を抑えるための運動や身体の動かし方を学ぶ講座等が介護予防においては重要な役割を果たします。

(7) 週に1回以上の外出

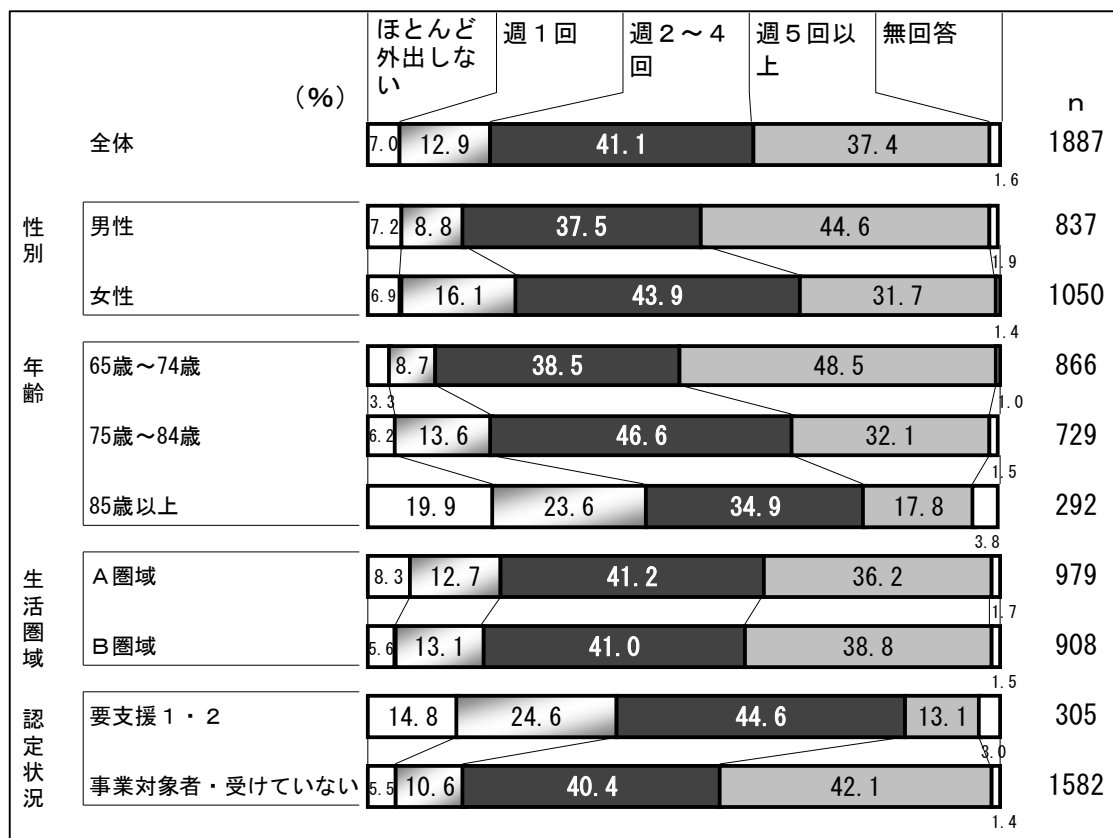
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。

- 「週2～4回」は4割強、「週5回以上」が4割弱を占める。

週に1回以上の外出についてたずねたところ、「週2～4回」が41.1%、「週5回以上」が37.4%、「週1回」が12.9%、「ほとんど外出しない」が7.0%となっている。

年齢でみると、85歳以上では「ほとんど外出しない」が19.9%となっている。

図表 週に1回以上の外出（全体・属性別）



(8) 昨年と比べた際の外出の頻度

問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

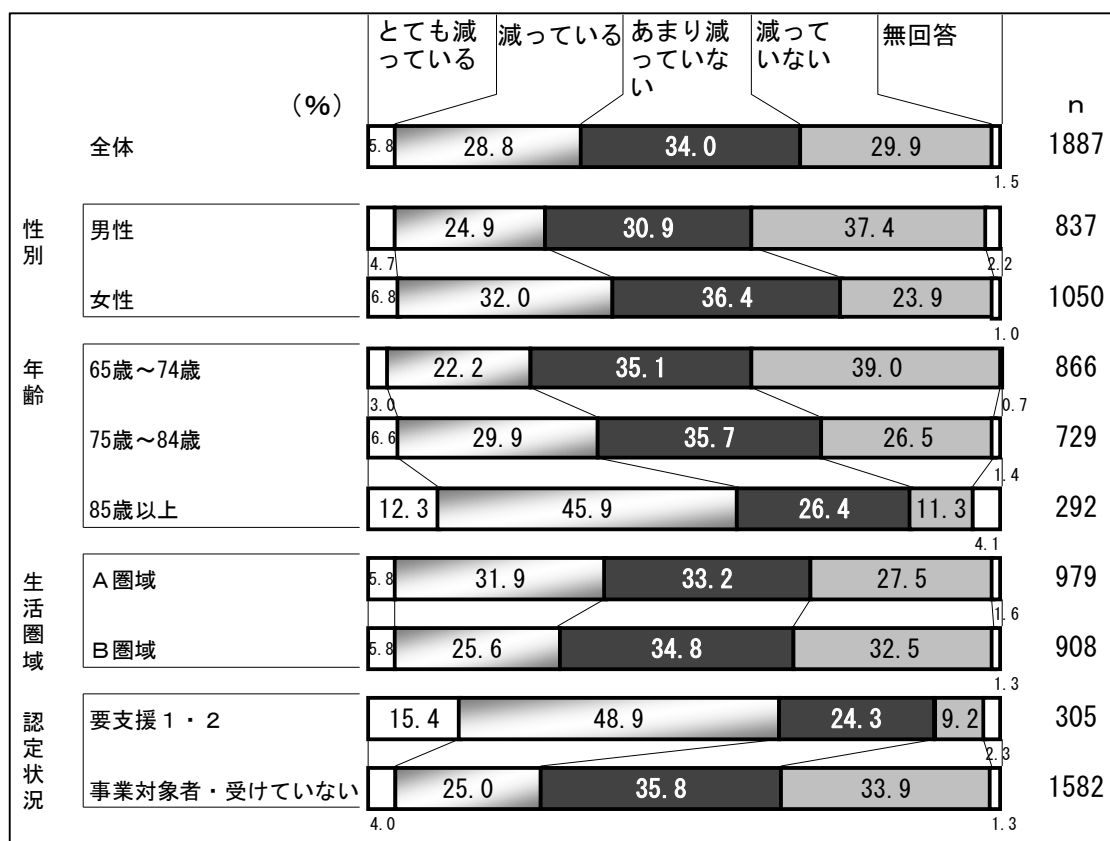
- “減っていない” が6割強、“減っている” が3割強を占める。

昨年と比べた際の外出の頻度についてたずねたところ、「減っていない」(29.9%)と「あまり減っていない」(34.0%)を合わせた“減っていない”が63.9%、「とても減っている」(5.8%)と「減っている」(28.8%)を合わせた“減っている”が34.6%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて“減っている”の割合が高くなっており、85歳以上では58.2%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では“減っている”が64.3%となっている。

図表 昨年と比べた際の外出の頻度（全体・属性別）



(9) 外出を控えているか

問2 (8) 外出を控えていますか。

- 「いいえ」が6割強、「はい」が3割強を占める。

外出を控えているかたずねたところ、「いいえ」が63.9%、「はい」が32.0%となっている。

性別でみると、女性では「はい」が37.5%と男性よりも高くなっている

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では55.5%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が64.6%となっている。

図表 外出を控えているか（全体・属性別）

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体		32.0	63.9	4.1	1887
性別	男性	25.1	71.1	3.8	837
	女性	37.5	58.2	4.3	1050
年齢	65歳～74歳	21.8	75.5	2.7	866
	75歳～84歳	34.7	59.8	5.5	729
	85歳以上	55.5	39.7		292
生活圏域	A圏域	33.4	62.5	4.1	979
	B圏域	30.5	65.4	4.1	908
認定状況	要支援1・2	64.6	32.1	3.8	305
	事業対象者・受けていない	25.7	70.0	4.2	1582

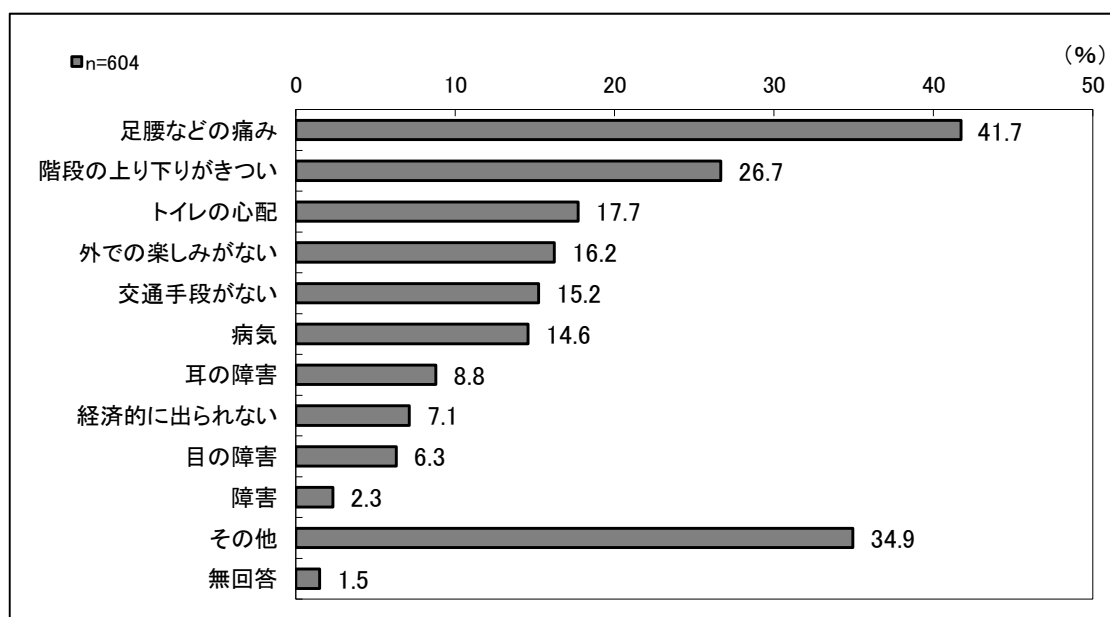
(10) 外出を控えている理由

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】
問2 (8) ① 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

- 「足腰などの痛み」が第1位。「階段の上り下りがきつい」、「トイレの心配」などが続く。

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」(41.7%)が最も多く、次いで「階段の上り下りがきつい」(26.7%)、「トイレの心配」(17.7%)、「外での楽しみがない」(16.2%)、「交通手段がない」(15.2%)、「病気」(14.6%)、「耳の障害」(8.8%)、「経済的に出られない」(7.1%)、「目の障害」(6.3%)、「障害」(2.3%)などとなっている。

図表 外出を控えている理由(全体/複数回答)



図表 外出を控えている理由（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問2(8) ① 外出を控えている理由								
			病気	障害	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障害	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない
全体		604 100.0%	88 14.6%	14 2.3%	252 41.7%	107 17.7%	53 8.8%	38 6.3%	98 16.2%	43 7.1%	92 15.2%
性別	男性	210 100.0%	39 18.6%	7 3.3%	73 34.8%	35 16.7%	19 9.0%	7 3.3%	39 18.6%	15 7.1%	32 15.2%
	女性	394 100.0%	49 12.4%	7 1.8%	179 45.4%	72 18.3%	34 8.6%	31 7.9%	59 15.0%	28 7.1%	60 15.2%
年齢	65～74歳	189 100.0%	26 13.8%	4 2.1%	45 23.8%	18 9.5%	1 0.5%	5 2.6%	31 16.4%	18 9.5%	14 7.4%
	75～84歳	253 100.0%	41 16.2%	3 1.2%	113 44.7%	53 20.9%	24 9.5%	16 6.3%	39 15.4%	19 7.5%	46 18.2%
	85歳以上	162 100.0%	21 13.0%	7 4.3%	94 58.0%	36 22.2%	28 17.3%	17 10.5%	28 17.3%	6 3.7%	32 19.8%
生活圏域	A圏域	327 100.0%	41 12.5%	8 2.4%	141 43.1%	62 19.0%	34 10.4%	24 7.3%	55 16.8%	22 6.7%	42 12.8%
	B圏域	277 100.0%	47 17.0%	6 2.2%	111 40.1%	45 16.2%	19 6.9%	14 5.1%	43 15.5%	21 7.6%	50 18.1%
認定状況	要支援１・２	197 100.0%	41 20.8%	8 4.1%	120 60.9%	46 23.4%	26 13.2%	22 11.2%	31 15.7%	13 6.6%	49 24.9%
	事業対象者・受けていない	407 100.0%	47 11.5%	6 1.5%	132 32.4%	61 15.0%	27 6.6%	16 3.9%	67 16.5%	30 7.4%	43 10.6%

		合計	問2(8) ① 外出を控えている理由			
			階段の上り下りがきつい	その他	無回答	非該当
全体		604 100.0%	161 26.7%	211 34.9%	9 1.5%	1283
性別	男性	210 100.0%	40 19.0%	82 39.0%	3 1.4%	627
	女性	394 100.0%	121 30.7%	129 32.7%	6 1.5%	656
年齢	65～74歳	189 100.0%	39 20.6%	96 50.8%	5 2.6%	677
	75～84歳	253 100.0%	67 26.5%	77 30.4%	2 0.8%	476
	85歳以上	162 100.0%	55 34.0%	38 23.5%	2 1.2%	130
生活圏域	A圏域	327 100.0%	84 25.7%	113 34.6%	4 1.2%	652
	B圏域	277 100.0%	77 27.8%	98 35.4%	5 1.8%	631
認定状況	要支援1・2	197 100.0%	84 42.6%	41 20.8%	1 0.5%	108
	事業対象者・受けていない	407 100.0%	77 18.9%	170 41.8%	8 2.0%	1175

(11) 外出する際の移動手段

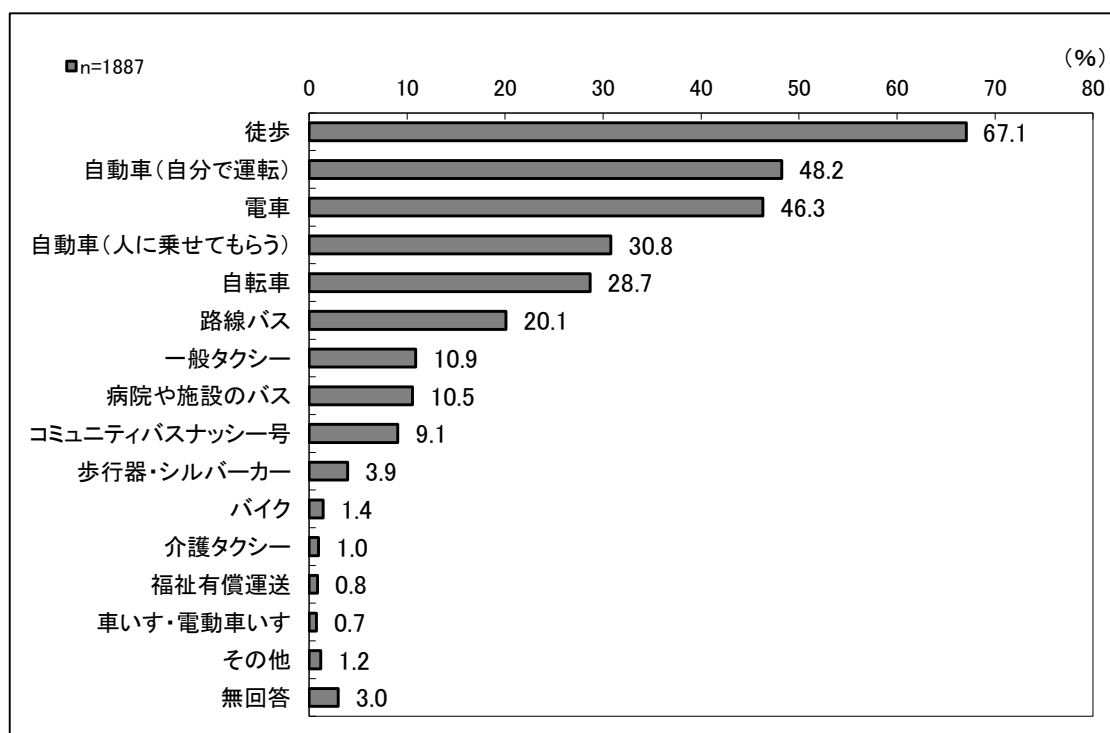
問2（9）外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

- 「徒歩」が第1位。「自動車（自分で運転）」、「電車」などが続く。

外出する際の移動手段については、「徒歩」（67.1%）が最も多く、次いで「自動車（自分で運転）」（48.2%）、「電車」（46.3%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（30.8%）、「自転車」（28.7%）、「路線バス」（20.1%）、「一般タクシー」（10.9%）、「病院や施設のバス」（10.5%）、「コミュニティバスナッシー号」（9.1%）、「歩行器・シルバーカー」（3.9%）、「バイク」（1.4%）、「介護タクシー」（1.0%）、「福祉有償運送」（0.8%）、「車いす・電動車いす」（0.7%）などとなっている。

いずれの属性でも「徒歩」が第1位となっている。

図表 外出する際の移動手段（全体／複数回答）



図表 外出する際の移動手段（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問2(9) 外出をする際の移動手段								
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バス	コミュニ ティバス ナンバー	病院や施 設のバス
全体		1887 100.0%	1266 67.1%	541 28.7%	27 1.4%	910 48.2%	581 30.8%	874 46.3%	379 20.1%	171 9.1%	199 10.5%
性別	男性	837 100.0%	583 69.7%	295 35.2%	25 3.0%	551 65.8%	148 17.7%	400 47.8%	147 17.6%	56 6.7%	65 7.8%
	女性	1050 100.0%	683 65.0%	246 23.4%	2 0.2%	359 34.2%	433 41.2%	474 45.1%	232 22.1%	115 11.0%	134 12.8%
年齢	65～74歳	866 100.0%	607 70.1%	283 32.7%	19 2.2%	593 68.5%	223 25.8%	457 52.8%	143 16.5%	53 6.1%	42 4.8%
		75～84歳	729 100.0%	495 67.9%	211 28.9%	8 1.1%	287 39.4%	214 29.4%	331 45.4%	177 24.3%	84 11.5%
	85歳以上	292 100.0%	164 56.2%	47 16.1%	0 0.0%	30 10.3%	144 49.3%	86 29.5%	59 20.2%	34 11.6%	62 21.2%
生活 圏域	A圏域	979 100.0%	656 67.0%	244 24.9%	12 1.2%	465 47.5%	300 30.6%	439 44.8%	159 16.2%	69 7.0%	113 11.5%
	B圏域	908 100.0%	610 67.2%	297 32.7%	15 1.7%	445 49.0%	281 30.9%	435 47.9%	220 24.2%	102 11.2%	86 9.5%
認定 状況	要支援１・２	305 100.0%	157 51.5%	22 7.2%	2 0.7%	27 8.9%	144 47.2%	73 23.9%	53 17.4%	37 12.1%	77 25.2%
		事業対象者・ 受けていない	1582 100.0%	1109 70.1%	519 32.8%	25 1.6%	883 55.8%	437 27.6%	801 50.6%	326 20.6%	134 8.5%

		合計	問2(9) 外出をする際の移動手段						
			車いす・ 電動車い す	歩行者・ シルバー カー	一般タク シー	介護タク シー	福祉有償 運送	その他	無回答
全体		1887 100.0%	14 0.7%	74 3.9%	205 10.9%	18 1.0%	16 0.8%	22 1.2%	56 3.0%
性別	男性	837 100.0%	4 0.5%	8 1.0%	76 9.1%	5 0.6%	6 0.7%	7 0.8%	26 3.1%
	女性	1050 100.0%	10 1.0%	66 6.3%	129 12.3%	13 1.2%	10 1.0%	15 1.4%	30 2.9%
年齢	65～74歳	866 100.0%	1 0.1%	7 0.8%	30 3.5%	2 0.2%	3 0.3%	1 0.1%	21 2.4%
	75～84歳	729 100.0%	3 0.4%	31 4.3%	99 13.6%	11 1.5%	9 1.2%	7 1.0%	26 3.6%
	85歳以上	292 100.0%	10 3.4%	36 12.3%	76 26.0%	5 1.7%	4 1.4%	14 4.8%	9 3.1%
生活 圏域	A圏域	979 100.0%	9 0.9%	35 3.6%	106 10.8%	5 0.5%	8 0.8%	14 1.4%	31 3.2%
	B圏域	908 100.0%	5 0.6%	39 4.3%	99 10.9%	13 1.4%	8 0.9%	8 0.9%	25 2.8%
認定 状況	要支援1・2	305 100.0%	13 4.3%	63 20.7%	83 27.2%	12 3.9%	14 4.6%	12 3.9%	13 4.3%
	事業対象者・ 受けていない	1582 100.0%	1 0.1%	11 0.7%	122 7.7%	6 0.4%	2 0.1%	10 0.6%	43 2.7%

(12) 外出の目的

問2 (10) 外出の目的は何ですか。【複数回答】

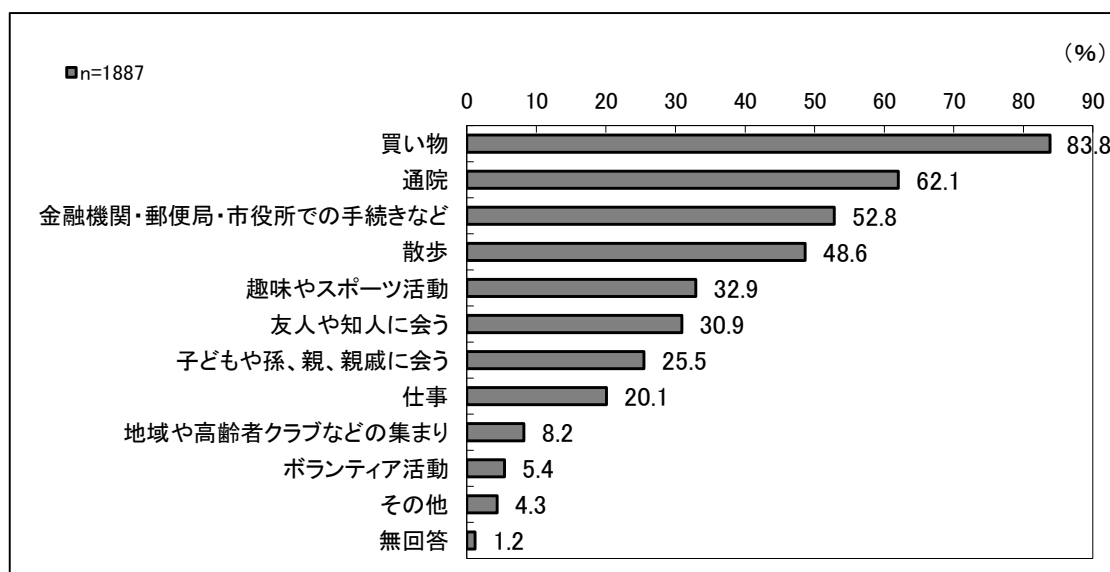
- 「買い物」が第1位、「通院」、「金融機関・郵便局・市役所での手続きなど」が続く。

外出の目的については、「買い物」(83.8%)が最も多く、次いで「通院」(62.1%)、「金融機関・郵便局・市役所での手続きなど」(52.8%)、「散歩」(48.6%)、「趣味やスポーツ活動」(32.9%)、「友人や知人に会う」(30.9%)、「子どもや孫、親、親戚に会う」(25.5%)、「仕事」(20.1%)、「地域や高齢者クラブなどの集まり」(8.2%)、「ボランティア活動」(5.4%)などとなっている。

年齢でみると、85歳以上では「通院」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「通院」が第1位となっている。

図表 外出の目的（全体／複数回答）



図表 外出の目的（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問2(10) 外出の目的								
			子どもや孫、親、親戚に会う	友人や知人に会う	買い物	散歩	仕事	通院	趣味やスポーツ活動	地域や高齢者クラブなどの集まり	ボランティア活動
全体		1887 100.0%	481 25.5%	583 30.9%	1582 83.8%	918 48.6%	379 20.1%	1171 62.1%	621 32.9%	155 8.2%	102 5.4%
性別	男性	837 100.0%	191 22.8%	217 25.9%	691 82.6%	440 52.6%	240 28.7%	497 59.4%	299 35.7%	57 6.8%	49 5.9%
	女性	1050 100.0%	290 27.6%	366 34.9%	891 84.9%	478 45.5%	139 13.2%	674 64.2%	322 30.7%	98 9.3%	53 5.0%
年齢	65～74歳	866 100.0%	303 35.0%	314 36.3%	770 88.9%	414 47.8%	286 33.0%	454 52.4%	350 40.4%	39 4.5%	53 6.1%
	75～84歳	729 100.0%	146 20.0%	209 28.7%	607 83.3%	383 52.5%	86 11.8%	494 67.8%	232 31.8%	72 9.9%	45 6.2%
	85歳以上	292 100.0%	32 11.0%	60 20.5%	205 70.2%	121 41.4%	7 2.4%	223 76.4%	39 13.4%	44 15.1%	4 1.4%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	232 23.7%	313 32.0%	823 84.1%	468 47.8%	195 19.9%	612 62.5%	310 31.7%	70 7.2%	48 4.9%
	B圏域	908 100.0%	249 27.4%	270 29.7%	759 83.6%	450 49.6%	184 20.3%	559 61.6%	311 34.3%	85 9.4%	54 5.9%
認定状況	要支援１・２	305 100.0%	36 11.8%	48 15.7%	215 70.5%	116 38.0%	5 1.6%	249 81.6%	31 10.2%	34 11.1%	6 2.0%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	445 28.1%	535 33.8%	1367 86.4%	802 50.7%	374 23.6%	922 58.3%	590 37.3%	121 7.6%	96 6.1%

		合計	問2(10) 外出の目的		
			金融機 関・郵便 局・市役 所での手 続きなど	その他	無回答
全体		1887 100.0%	997 52.8%	82 4.3%	22 1.2%
性別	男性	837 100.0%	402 48.0%	35 4.2%	12 1.4%
	女性	1050 100.0%	595 56.7%	47 4.5%	10 1.0%
年 齢	65～74歳	866 100.0%	456 52.7%	23 2.7%	5 0.6%
	75～84歳	729 100.0%	399 54.7%	37 5.1%	7 1.0%
	85歳以上	292 100.0%	142 48.6%	22 7.5%	10 3.4%
生 活 圏 域	A圏域	979 100.0%	521 53.2%	42 4.3%	12 1.2%
	B圏域	908 100.0%	476 52.4%	40 4.4%	10 1.1%
認 定 状 況	要支援1・2	305 100.0%	140 45.9%	27 8.9%	8 2.6%
	事業対象者・ 受けていない	1582 100.0%	857 54.2%	55 3.5%	14 0.9%

【調査結果から見える傾向】

- 外出頻度が低下した人、外出を控える人が前回調査よりも増加傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響があったと考えられます。
- 外出の手段に「徒歩」を選択する人は、いずれの属性でも最多となっていますが、高齢になるにつれて「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が上昇しています。

4 食べることについて

(1) BMI

問3 (1) 身長・体重

- 「18.5 以上 25.0 未満」が7割弱、「25.0 以上」が2割強を占める。

BMI については、「18.5 以上 25.0 未満」が 66.9%、「25.0 以上」が 21.7%、「18.5 未満」が 7.6%となっている。

性別でみると、女性では「18.5 未満」が 11.1%と男性よりも高くなっている。

図表 BMI (全体・属性別)

		(%)	18.5未満	18.5以上 25.0未満	25.0以上	無回答	n
性別	全体		7.6	66.9	21.7	3.8	1887
	男性		3.2	70.3	23.3	3.2	837
	女性		11.1	64.2	20.4		1050
年齢	65歳～74歳		6.5	67.2	24.1	4.3	866
	75歳～84歳		9.1	66.3	20.7	2.2	729
	85歳以上		7.5	67.5	16.8	4.0	292
生活圏域	A圏域		7.2	66.2	22.4	4.3	979
	B圏域		8.1	67.6	20.9		908
認定状況	要支援1・2		11.8	61.6	21.3	3.3	305
	事業対象者・受けていない		6.8	67.9	21.7	3.5	1582

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

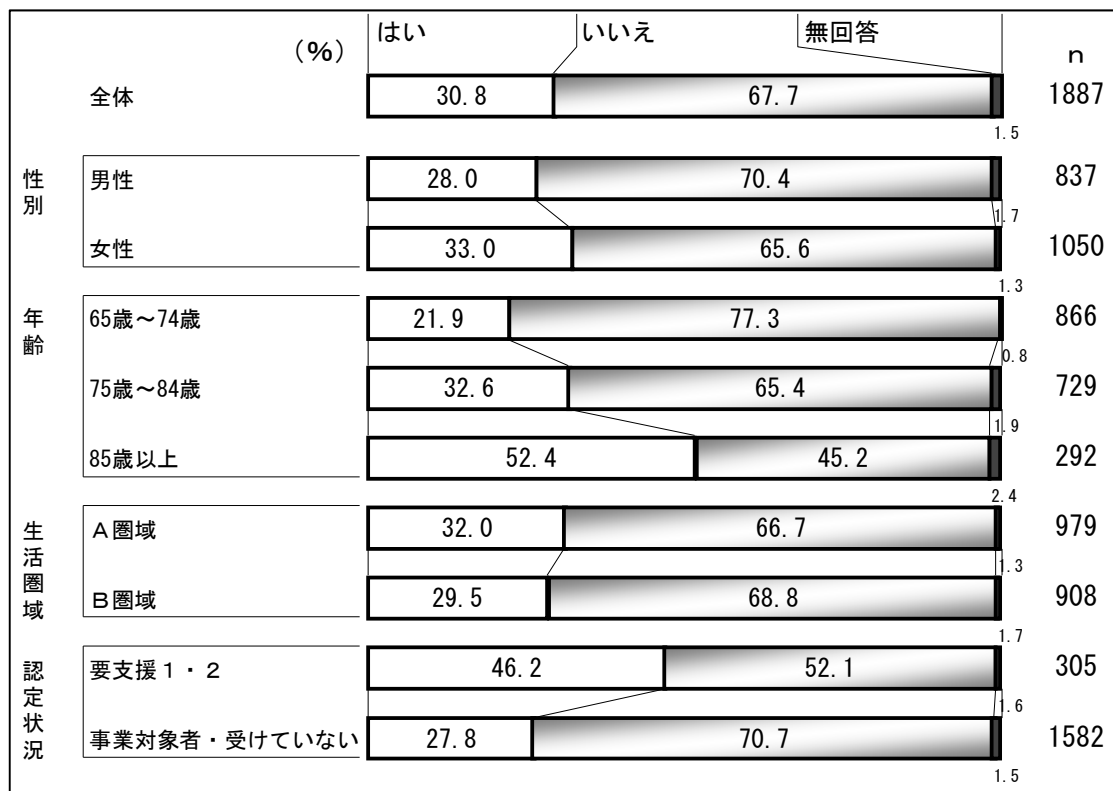
- 「いいえ」が7割弱、「はい」が3割強を占める。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかたずねたところ、「いいえ」が67.7%、「はい」が30.8%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では52.4%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が46.2%となっている。

図表 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか（全体・属性別）



(3) 歯の本数と入れ歯の利用状況

問3(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 「19本以下、かつ入れ歯を利用」、「20本以上、入れ歯の利用なし」がともに3割強を占める。

歯の本数と入れ歯の利用状況については、「19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.9%、「20本以上、入れ歯の利用なし」が34.6%、「20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.0%、「19本以下、入れ歯の利用なし」が9.6%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて自分の歯が20本以上の人の割合が低くなっている。

図表 歯の本数と入れ歯の利用状況（全体・属性別）

		(%)	20本以上、 かつ入れ 歯を利用	20本以上、 入れ歯の 利用なし	19本以下、 かつ入れ 歯を利用	19本以下、 入れ歯の 利用なし	無回答	n
性 別	全体		17.0	34.6	35.9	9.6	2.9	1887
	男性		16.6	35.4	35.1	10.5	2.4	837
	女性		17.2	34.0	36.6	8.9	3.3	1050
年 齢	65歳～74歳		16.9	43.2	27.4	11.3	1.3	866
	75歳～84歳		18.0	30.7	39.2	8.9	3.2	729
	85歳以上		14.7	18.8	53.1	6.2	7.2	292
生 活 圏 域	A圏域		15.4	35.0	37.2	9.4	3.0	979
	B圏域		18.6	34.1	34.6	9.8	2.9	908
認 定 状 況	要支援1・2		15.7	24.3	44.6	9.5	5.9	305
	事業対象者・受けていない		17.2	36.6	34.3	9.6	2.3	1582

(4) 誰かと食事をとにもする機会

問3 (4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

- 「毎日ある」が6割強を占める。

誰かと食事をとにもする機会はあるかたずねたところ、「毎日ある」が60.5%、「月に何度かある」が12.6%、「年に何度かある」が10.8%、「ほとんどない」が8.6%、「週に何度かある」が6.0%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「ほとんどない」の割合が高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「ほとんどない」が15.7%となっている。

図表 誰かと食事をとにもする機会（全体・属性別）

		(%)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	n
性別	全体		60.5	6.0	12.6	10.8	8.6	1.5	1887
	男性		63.4	5.1	9.3	10.3	9.9	1.9	837
	女性		58.1	6.8	15.2	11.2	7.5	1.1	1050
年齢	65歳～74歳		67.6	7.0	10.0	8.5	5.8	1.0	866
	75歳～84歳		56.9	3.7	15.0	12.6	9.9	1.9	729
	85歳以上		48.3	8.9	14.4	13.0	13.7	1.7	292
生活圏域	A圏域		58.5	6.1	11.2	13.0	9.4	1.7	979
	B圏域		62.6	5.9	14.1	8.5	7.7	1.7	908
認定状況	要支援1・2		47.5	7.9	13.1	13.4	15.7	1.2	305
	事業対象者・受けていない		63.0	5.7	12.5	10.3	7.2	1.3	1582

5 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか。

- 「いいえ」が5割強、「はい」が4割強を占める。

物忘れが多いと感じるかたずねたところ、「いいえ」が51.5%、「はい」が44.8%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では59.6%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が57.7%となっている。

図表 物忘れが多いと感じるか（全体・属性別）

		(%)	はい	いいえ	無回答	n
性 別	全体		44.8	51.5	3.8	1887
	男性		41.8	54.5	3.7	837
	女性		47.1	49.0		1050
年 齢	65歳～74歳		38.8	58.7	2.5	866
	75歳～84歳		46.0	49.8	4.3	729
	85歳以上		59.6	34.2	6.2	292
生 活 圏 域	A圏域		44.5	51.8	3.7	979
	B圏域		45.0	51.1		908
認 定 状 況	要支援1・2		57.7	36.7	5.6	305
	事業対象者・受けていない		42.3	54.3	3.4	1582

(2) バスや電車をを使って1人で外出しているか

問4 (2) バスや電車をを使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

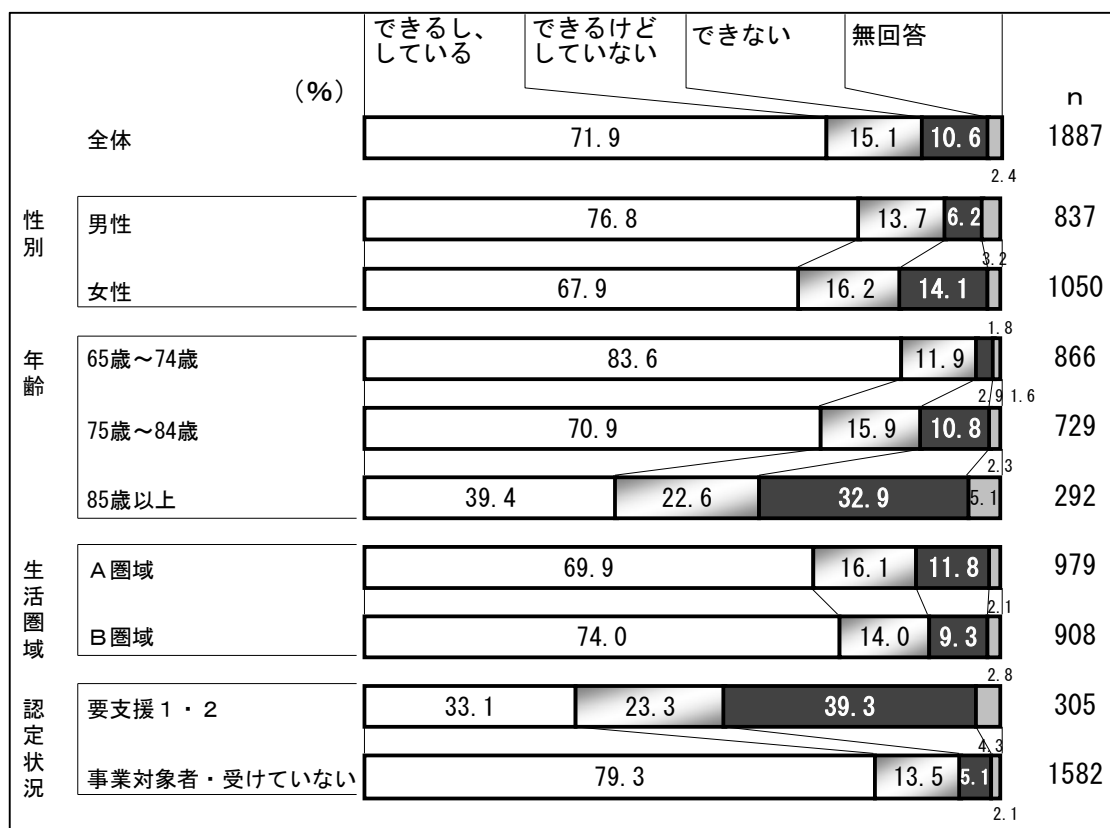
- 「できるし、している」が7割強、「できるけどしていない」が2割弱を占める。

バスや電車をを使って1人で外出しているかたずねたところ、「できるし、している」が71.9%、「できるけどしていない」が15.1%、「できない」が10.6%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では32.9%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「できない」が39.3%となっている。

図表 バスや電車をを使って1人で外出しているか（全体・属性別）



(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか

問4 (3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

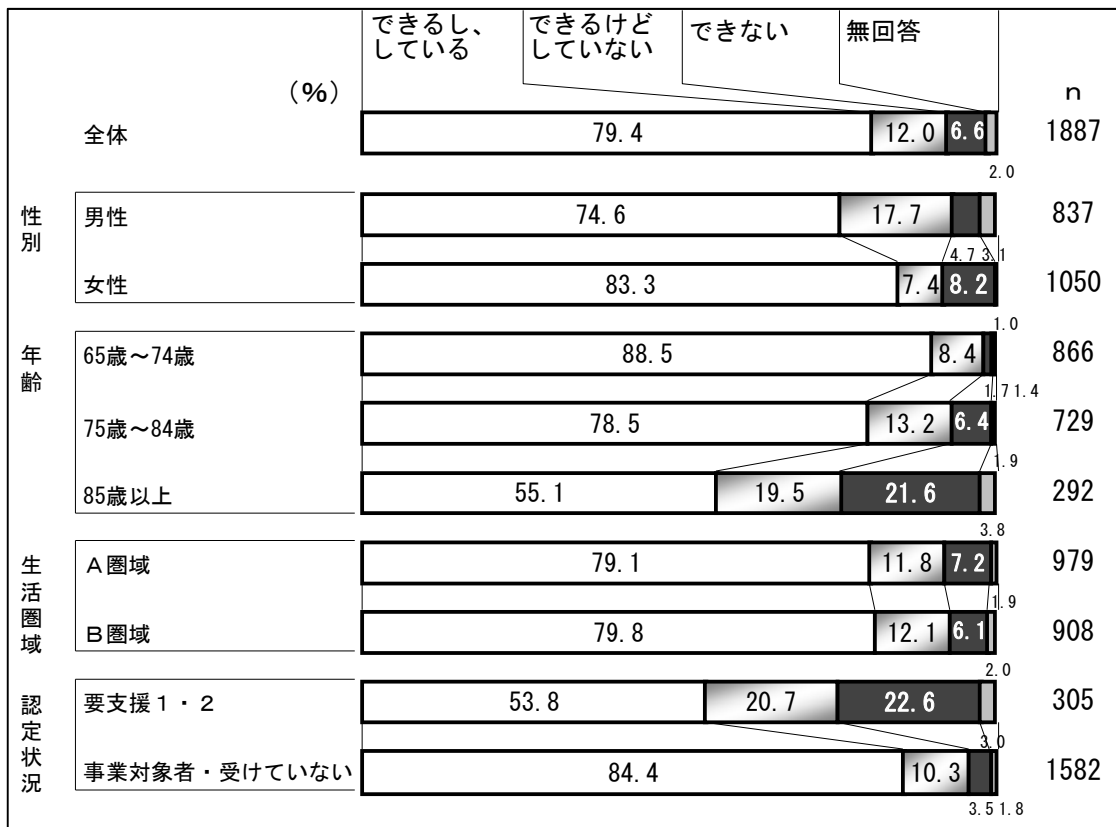
- 「できるし、している」が8割弱を占める。

自分で食品・日用品の買い物をしているかたずねたところ、「できるし、している」が79.4%、「できるけどしていない」が12.0%、「できない」が6.6%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では21.6%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「できない」が22.6%となっている。

図表 自分で食品・日用品の買い物をしているか（全体・属性別）



(4) 自分で食事の用意をしているか

問4 (4) 自分で食事の用意をしていますか。

- 「できるし、している」が7割弱、「できるけどしていない」が2割強を占める。

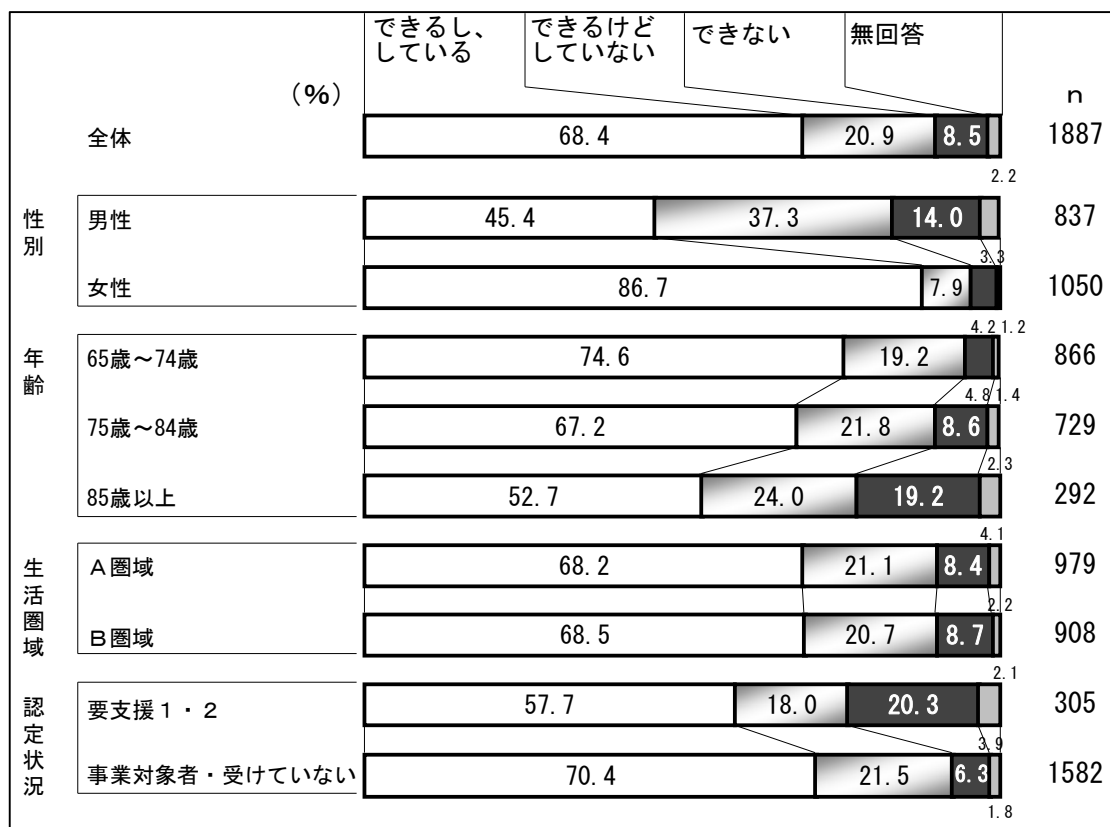
自分で食事の用意をしているかたずねたところ、「できるし、している」が 68.4%、「できるけどしていない」が 20.9%、「できない」が 8.5%となっている。

性別でみると、男性では「できるけどしていない」が 37.3%、「できない」が 14.0%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「できない」が 20.3%となっている。

図表 自分で食事の用意をしているか（全体・属性別）



(5) 自分で請求書の支払いをしているか

問4 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。

- 「できるし、している」が8割弱、「できるけどしていない」が1割強を占める。

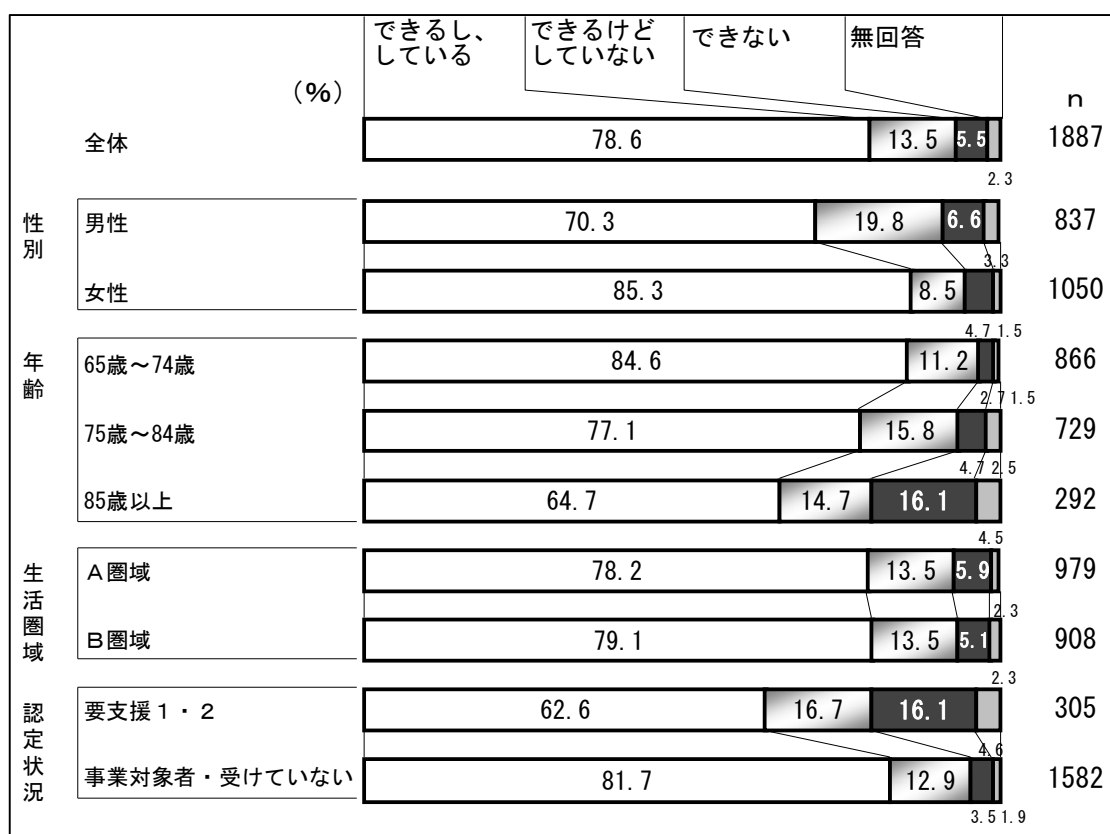
自分で請求書の支払いをしているかたずねたところ、「できるし、している」が78.6%、「できるけどしていない」が13.5%、「できない」が5.5%となっている。

性別でみると、男性では「できるけどしていない」が19.8%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できるけどしていない」、「できない」の割合が高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「できない」が16.1%となっている。

図表 自分で請求書の支払いをしているか（全体・属性別）



(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか

問4 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- 「できるし、している」が8割強を占める。

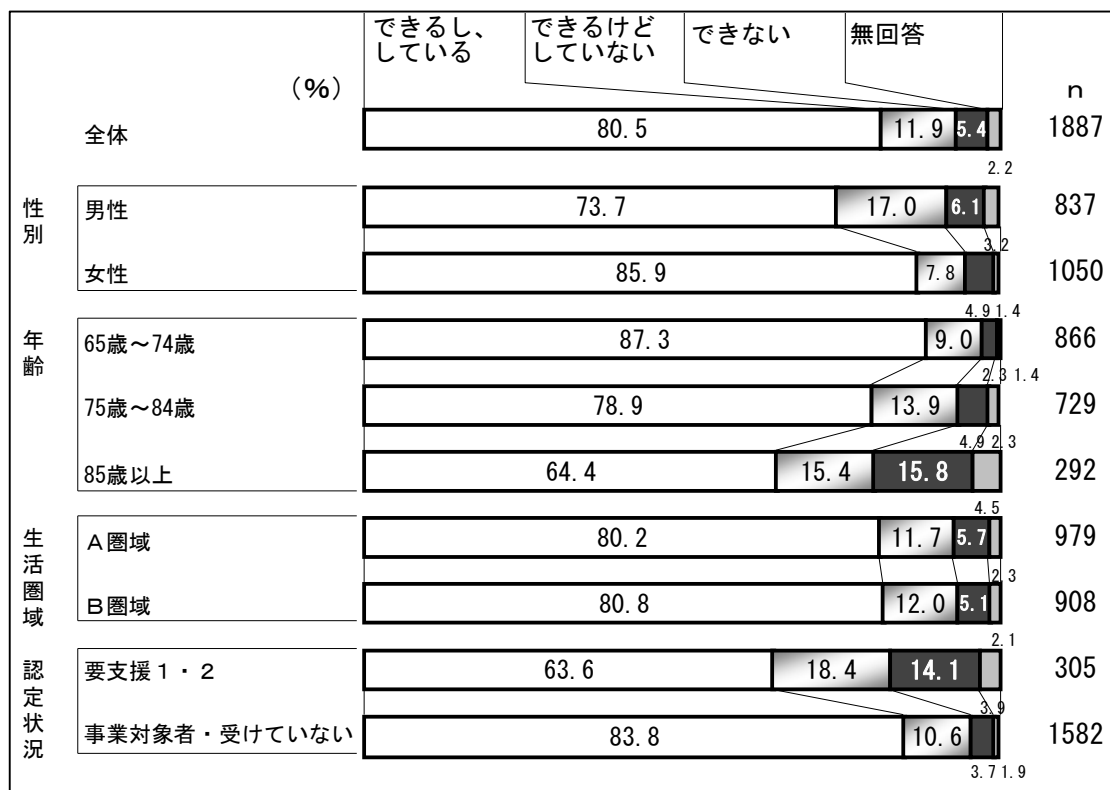
自分で預貯金の出し入れをしているかたずねたところ、「できるし、している」が80.5%、「できるけどしていない」が11.9%、「できない」が5.4%となっている。

性別でみると、男性では「できるけどしていない」が17.0%と女性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「できない」の割合が高くなっており、85歳以上では15.8%となっている。

認定状況でみると、「できるけどしていない」が18.4%、「できない」が14.1%となっている。

図表 自分で預貯金の出し入れをしているか（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- 介護・介助を受けていない人であっても、身体機能の衰えなどにより、生活に不安や不自由を感じるケースもあります。市内３か所に設置されている地域包括支援センターが中心となって、高齢者の生活上の困りごとを把握するとともに、支援を必要とする人に支援を提供する体制の充実に努めていく必要があります。

6 認知症に関する相談窓口の把握について

(1) 自分または家族に認知症の症状があるか

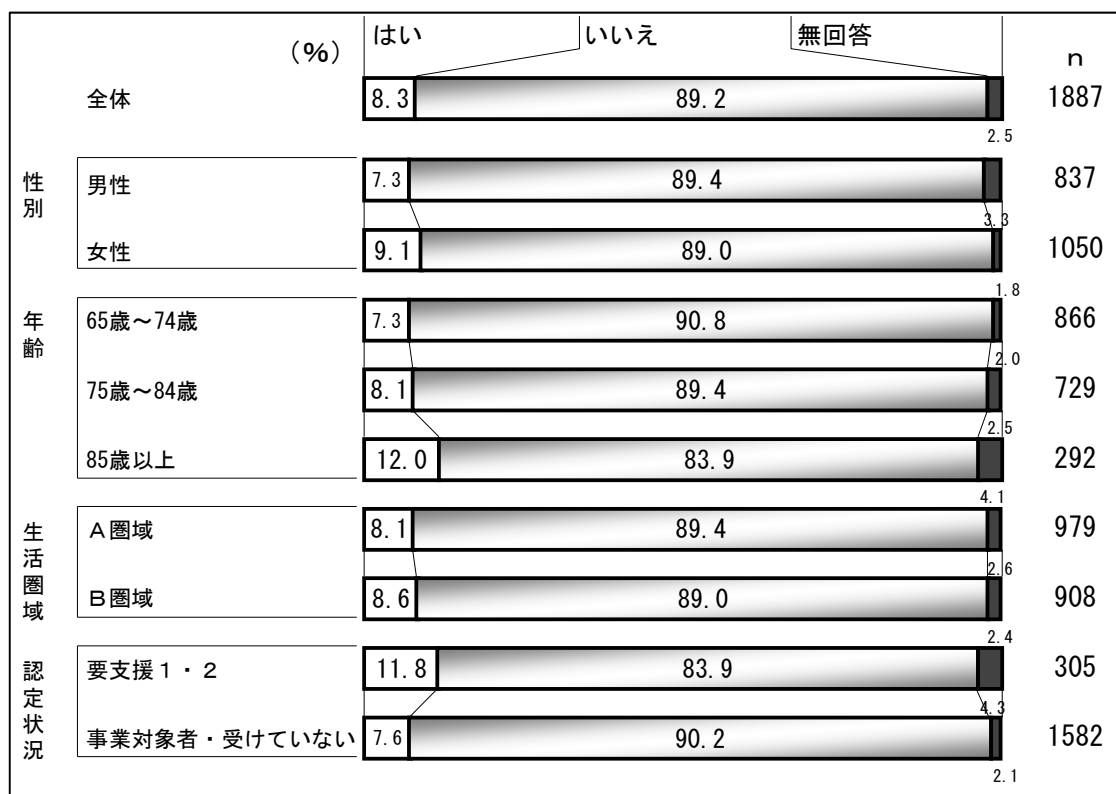
問5 (1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

- 「いいえ」が9割弱を占める。「はい」は1割に満たない。

自分または家族に認知症の症状があるかたずねたところ、「いいえ」が89.2%、「はい」が8.3%となっている。

いずれの属性でも「はい」は1割前後を占めている。

図表 自分または家族に認知症の症状があるか（全体・属性別）



(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

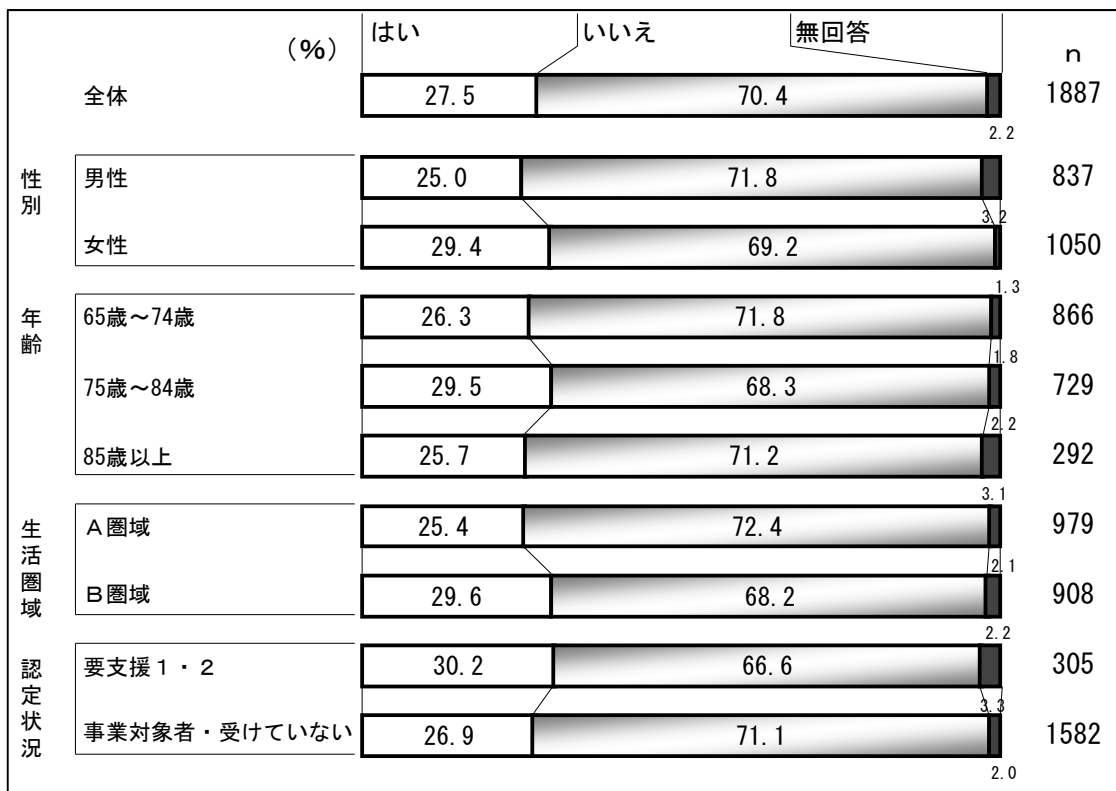
問5 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

- 「いいえ」が7割強、「はい」が3割弱を占める。

認知症に関する相談窓口を知っているかたずねたところ、「いいえ」が70.4%、「はい」が27.5%となっている

いずれの属性でも「はい」が3割前後を占めている。

図表 認知症に関する相談窓口を知っているか（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- 認知症に関する相談窓口を知らない人は全体の7割以上を占めています。市では、「白井市認知症ガイドブック」を配布し、相談窓口についても周知を進めていますが、今後認知症患者は全国的に急増することが見込まれていることから、周知・啓発を図るとともに、引き続き認知症の予防と共生のための取り組みを進めていく必要があります。

7 地域での活動について

(1) 地域活動への参加頻度

問6(1) 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。
※ ①～⑧それぞれについて、該当する箇所の数字に○をしてください。

- 参加している人の割合が高い活動は、② スポーツ関係のグループやクラブ、③ 趣味関係のグループ、⑦ 町内会・自治会、⑧ 収入のある仕事となっている。

① ボランティアのグループでは、「週4回以上」が0.3%、「週2～3回」が1.0%、「週1回」が1.1%、「月1～3回」が3.1%、「年に数回」が3.5%、「参加していない」が62.6%となっている。

② スポーツ関係のグループやクラブでは、「週4回以上」が2.8%、「週2～3回」が8.0%、「週1回」が5.7%、「月1～3回」が3.6%、「年に数回」が1.9%、「参加していない」が54.3%となっている。

③ 趣味関係のグループでは、「週4回以上」が1.1%、「週2～3回」が3.4%、「週1回」が4.3%、「月1～3回」が9.4%、「年に数回」が5.4%、「参加していない」が52.9%となっている。

④ 学習・教養サークルでは、「週4回以上」が0.3%、「週2～3回」が0.5%、「週1回」が1.2%、「月1～3回」が2.3%、「年に数回」が2.6%、「参加していない」が63.2%となっている。

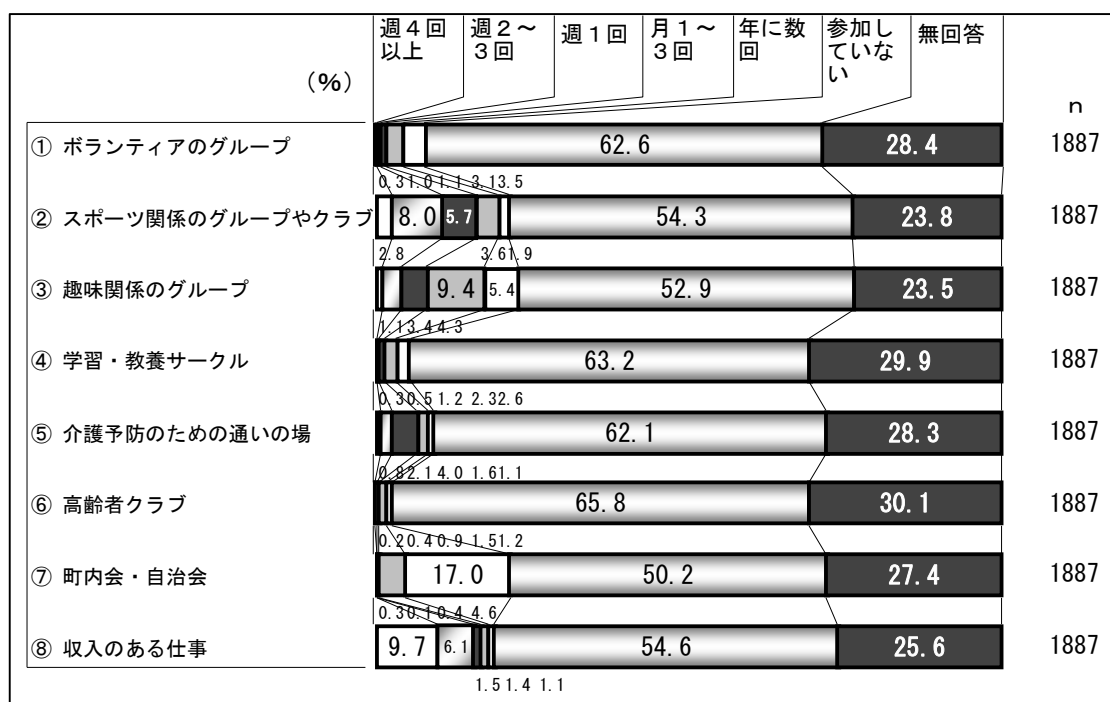
⑤ 介護予防のための通いの場では、「週4回以上」が0.8%、「週2～3回」が2.1%、「週1回」が4.0%、「月1～3回」が1.6%、「年に数回」が1.1%、「参加していない」が62.1%となっている。

⑥ 高齢者クラブでは、「週4回以上」が0.2%、「週2～3回」が0.4%、「週1回」が0.9%、「月1～3回」が1.5%、「年に数回」が1.2%、「参加していない」が65.8%となっている。

⑦ 町内会・自治会では、「週4回以上」が0.3%、「週2～3回」が0.1%、「週1回」が0.4%、「月1～3回」が4.6%、「年に数回」が17.0%、「参加していない」が50.2%となっている。

⑧ 収入のある仕事では、「週4回以上」が9.7%、「週2～3回」が6.1%、「週1回」が1.5%、「月1～3回」が1.4%、「年に数回」が1.1%、「参加していない」が54.6%となっている。

図表 地域活動への参加頻度（全体）



(2) 地域活動への参加者としての参加意向

問6 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

- 「参加してもよい」が5割弱、「参加したくない」が4割弱を占める。

地域活動への参加者としての参加意向についてたずねたところ、「参加してもよい」が45.2%、「参加したくない」が36.5%、「是非参加したい」が6.8%、「既に参加している」が6.3%となっている。

年齢で見ると、65歳～74歳では「参加してもよい」が52.1%となっている。高齢になるにつれて「参加したくない」の割合が高くなっており、85歳以上では45.5%となっている。

認定状況で見ると、事業対象者・受けていないグループでは「参加してもよい」が47.4%となっている。

図表 地域活動への参加者としての参加意向（全体・属性別）

	(%)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答	n
全体		6.8	45.2	36.5	6.3	5.2	1887
性別							
男性		5.6	46.1	36.7	5.7	5.9	837
女性		7.8	44.4	36.3	6.8		1050
年齢							
65歳～74歳		5.2	52.1	34.1	5.4	4.8	866
75歳～84歳		9.3	42.4	35.7	6.9	5.8	729
85歳以上		5.5	31.5	45.5	7.5	9.9	292
生活圏域							
A圏域		6.7	45.6	36.1	5.8	5.8	979
B圏域		6.9	44.7	36.9	6.8		908
認定状況							
要支援1・2		6.9	33.4	45.9		8.9	305
事業対象者・受けていない		6.8	47.4	34.6	6.6		1582

(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

問6 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

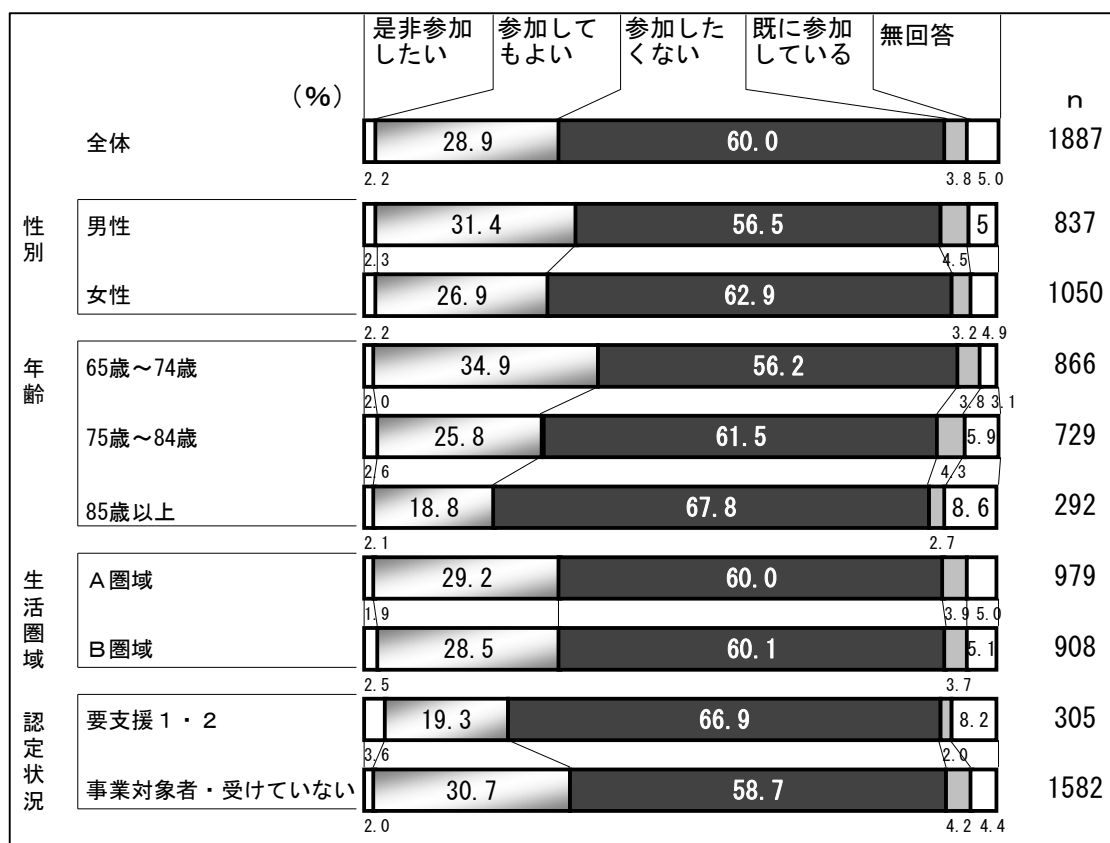
- 「参加したくない」が6割、「参加してもよい」が3割弱を占める。

地域活動への企画・運営としての参加意向についてたずねたところ、「参加したくない」が60.0%、「参加してもよい」が28.9%、「既に参加している」が3.8%、「是非参加したい」が2.2%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「参加したくない」の割合が高くなっており、85歳以上では67.8%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「参加したくない」が66.9%となっている。

図表 地域活動への企画・運営としての参加意向（全体・属性別）



(4) 参加したい活動

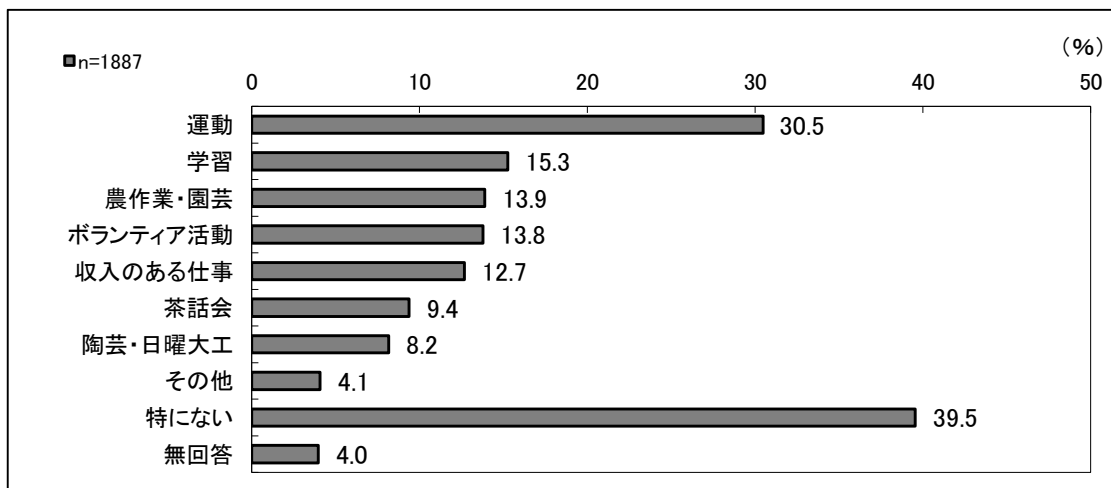
問6(4) あなたが参加したいと思う活動はありますか。【複数回答】

- 「特にない」が39.5%を占める。

参加したい活動については、「運動」(30.5%)が最も多く、次いで「学習」(15.3%)、「農作業・園芸」(13.9%)、「ボランティア活動」(13.8%)、「収入のある仕事」(12.7%)、「茶話会」(9.4%)、「陶芸・日曜大工」(8.2%)などとなっている。なお、「特にない」は39.5%となっている。

年齢で見ると、65～74歳では「運動」が第1位となっている。

図表 参加したい活動（全体／複数回答）



図表 参加したい活動（全体・属性別第1位／複数回答）

	合計	問6(4) 参加したい活動									
		収入のある仕事	ボランティア活動	運動	農作業・園芸	陶芸・日曜大工	学習	茶話会	その他	特にない	無回答
全体	1887	239	260	575	262	154	288	177	77	746	75
	100.0%	12.7%	13.8%	30.5%	13.9%	8.2%	15.3%	9.4%	4.1%	39.5%	4.0%
性別	男性	837	134	127	252	140	93	115	45	37	320
	女性	1050	105	133	323	122	61	173	132	40	426
	100.0%	10.0%	12.7%	30.8%	11.6%	5.8%	16.5%	12.6%	3.8%	40.6%	4.8%
年齢	65～74歳	866	181	165	312	137	100	170	60	31	291
	75～84歳	729	50	77	208	102	47	84	83	34	302
	85歳以上	292	8	18	55	23	7	34	34	12	153
		100.0%	2.7%	6.2%	18.8%	7.9%	2.4%	11.6%	11.6%	4.1%	52.4%
生活圏域	A圏域	979	119	130	301	135	84	157	82	40	390
	B圏域	908	120	130	274	127	70	131	95	37	356
	100.0%	13.2%	14.3%	30.2%	14.0%	7.7%	14.4%	10.5%	4.1%	39.2%	3.6%
認定状況	要支援1・2	305	11	19	62	21	10	33	47	16	153
	事業対象者・受けていない	1582	228	241	513	241	144	255	130	61	593
	100.0%	14.4%	15.2%	32.4%	15.2%	9.1%	16.1%	8.2%	3.9%	37.5%	3.7%

【調査結果から見える傾向】

- ② スポーツ関係のグループやクラブ、③ 趣味関係のグループ、⑦ 町内会・自治会、⑧ 収入のある仕事は、比較的参加している人の割合が高いものとなっています。地域で行われている活動を紹介する取り組みなどが必要と考えられます。

8 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問7 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位。「友人」、「別居の子ども」などが続く。

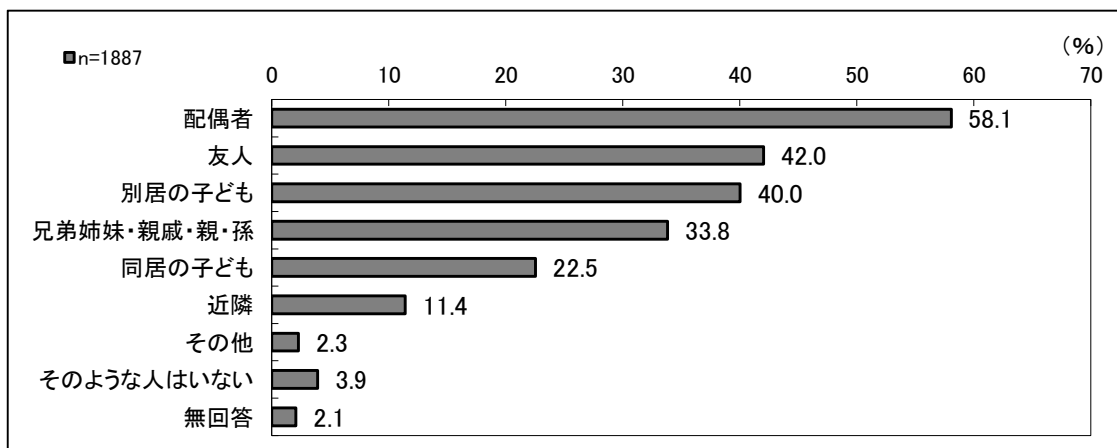
心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(58.1%)が最も多く、次いで「友人」(42.0%)、「別居の子ども」(40.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(33.8%)、「同居の子ども」(22.5%)、「近隣」(11.4%)などとなっている。なお、「そのような人はいない」は3.9%となっている。

性別でみると、女性では「友人」が第1位となっている。

年齢でみると、85歳以上では「別居の子ども」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「別居の子ども」が第1位となっている。

図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人(全体/複数回答)



図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問7(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1887 100.0%	1096 58.1%	425 22.5%	755 40.0%	638 33.8%	215 11.4%	793 42.0%	43 2.3%	74 3.9%
性別	男性	837 100.0%	625 74.7%	154 18.4%	275 32.9%	179 21.4%	50 6.0%	236 28.2%	15 1.8%	44 5.3%
	女性	1050 100.0%	471 44.9%	271 25.8%	480 45.7%	459 43.7%	165 15.7%	557 53.0%	28 2.7%	30 2.9%
年齢	65～74歳	866 100.0%	590 68.1%	171 19.7%	352 40.6%	304 35.1%	95 11.0%	423 48.8%	14 1.6%	27 3.1%
	75～84歳	729 100.0%	427 58.6%	157 21.5%	286 39.2%	246 33.7%	94 12.9%	271 37.2%	16 2.2%	30 4.1%
	85歳以上	292 100.0%	79 27.1%	97 33.2%	117 40.1%	88 30.1%	26 8.9%	99 33.9%	13 4.5%	17 5.8%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	542 55.4%	223 22.8%	389 39.7%	330 33.7%	115 11.7%	418 42.7%	30 3.1%	35 3.6%
	B圏域	908 100.0%	554 61.0%	202 22.2%	366 40.3%	308 33.9%	100 11.0%	375 41.3%	13 1.4%	39 4.3%
認定状況	要支援1・2	305 100.0%	114 37.4%	67 22.0%	119 39.0%	92 30.2%	36 11.8%	102 33.4%	15 4.9%	17 5.6%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	982 62.1%	358 22.6%	636 40.2%	546 34.5%	179 11.3%	691 43.7%	28 1.8%	57 3.6%

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位。「友人」、「別居の子ども」などが続く。

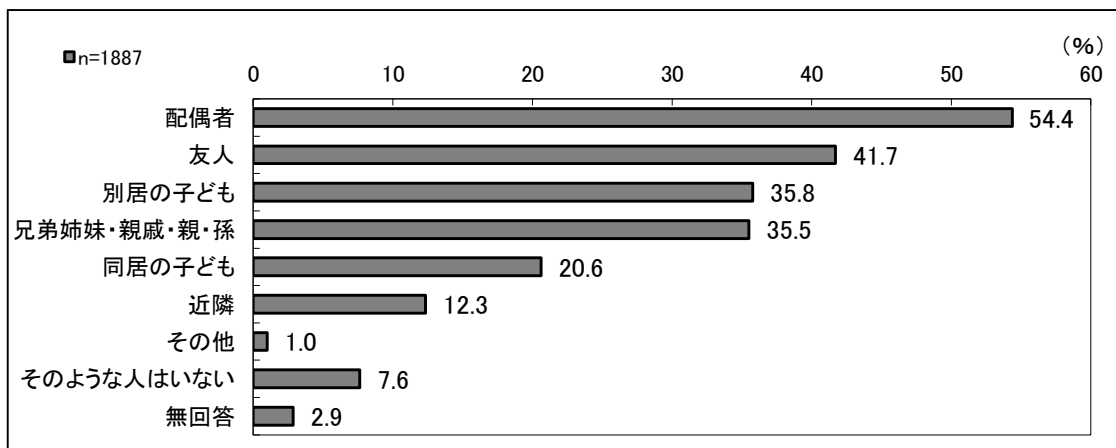
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」(54.4%)が最も多く、次いで「友人」(41.7%)、「別居の子ども」(35.8%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(35.5%)、「同居の子ども」(20.6%)、「近隣」(12.3%) などとなっている。なお、「そのような人はいない」は7.6%となっている。

性別でみると、女性では「友人」が第1位となっている。

年齢でみると、85歳以上では「友人」が第1位となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「友人」が第1位となっている。

図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人(全体/複数回答)



図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人(全体・属性別第1位/複数回答)

		合計	問7(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人							
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない
全体		1887	1026	389	675	670	233	787	19	144
		100.0%	54.4%	20.6%	35.8%	35.5%	12.3%	41.7%	1.0%	7.6%
性別	男性	837	603	157	259	207	59	232	10	81
	女性	1050	423	232	416	463	174	555	9	63
		100.0%	40.3%	22.1%	39.6%	44.1%	16.6%	52.9%	0.9%	6.0%
年齢	65～74歳	866	570	176	333	328	110	415	7	40
	75～84歳	729	381	145	254	258	99	280	8	55
	85歳以上	292	75	68	88	84	24	92	4	49
		100.0%	25.7%	23.3%	30.1%	28.8%	8.2%	31.5%	1.4%	16.8%
生活圏域	A圏域	979	512	196	341	342	122	413	15	83
	B圏域	908	514	193	334	328	111	374	4	61
		100.0%	56.6%	21.3%	36.8%	36.1%	12.2%	41.2%	0.4%	6.7%
認定状況	要支援1・2	305	85	47	94	88	33	97	6	53
	事業対象者・受けていない	1582	941	342	581	582	200	690	13	91
		100.0%	59.5%	21.6%	36.7%	36.8%	12.6%	43.6%	0.8%	5.8%

(3) 看病や世話をしてくれる人

問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人。【複数回答】

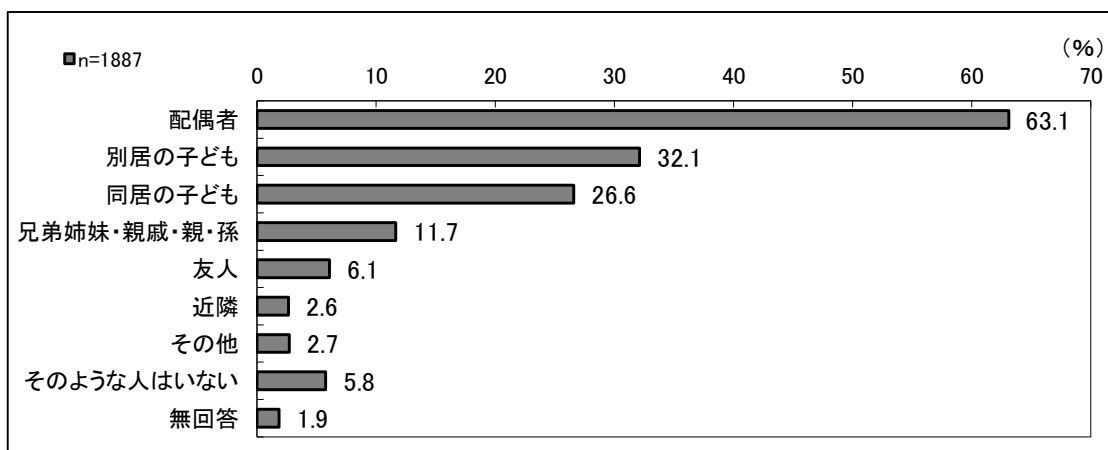


- 「配偶者」が第1位。「別居の子ども」、「同居の子ども」などが続く。

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(63.1%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(32.1%)、「同居の子ども」(26.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(11.7%)、「友人」(6.1%)、「近隣」(2.6%) などとなっている。なお、「そのような人はいない」は5.8%となっている。

年齢でみると、85歳以上では「同居の子ども」が第1位となっている。

図表 看病や世話をしてくれる人(全体/複数回答)



図表 看病や世話をしてくれる人(全体・属性別第1位/複数回答)

		合計	問7(3) 看病や世話をしてくれる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1887 100.0%	1191 63.1%	502 26.6%	606 32.1%	220 11.7%	50 2.6%	115 6.1%	51 2.7%	109 5.8%	35 1.9%
性別	男性	837 100.0%	671 80.2%	182 21.7%	223 26.6%	69 8.2%	10 1.2%	17 2.0%	11 1.3%	44 5.3%	16 1.9%
	女性	1050 100.0%	520 49.5%	320 30.5%	383 36.5%	151 14.4%	40 3.8%	98 9.3%	40 3.8%	65 6.2%	19 1.8%
年齢	65～74歳	866 100.0%	645 74.5%	197 22.7%	261 30.1%	109 12.6%	22 2.5%	56 6.5%	15 1.7%	39 4.5%	6 0.7%
		729 100.0%	457 62.7%	186 25.5%	240 32.9%	81 11.1%	20 2.7%	45 6.2%	16 2.2%	52 7.1%	12 1.6%
	75～84歳	729 100.0%	457 62.7%	186 25.5%	240 32.9%	81 11.1%	20 2.7%	45 6.2%	16 2.2%	52 7.1%	12 1.6%
		85歳以上	292 100.0%	89 30.5%	119 40.8%	105 36.0%	30 10.3%	8 2.7%	14 4.8%	20 6.8%	18 6.2%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	592 60.5%	271 27.7%	307 31.4%	108 11.0%	28 2.9%	63 6.4%	38 3.9%	63 6.4%	19 1.9%
	B圏域	908 100.0%	599 66.0%	231 25.4%	299 32.9%	112 12.3%	22 2.4%	52 5.7%	13 1.4%	46 5.1%	16 1.8%
認定状況	要支援1・2	305 100.0%	120 39.3%	84 27.5%	110 36.1%	33 10.8%	9 3.0%	18 5.9%	16 5.2%	30 9.8%	13 4.3%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	1071 67.7%	418 26.4%	496 31.4%	187 11.8%	41 2.6%	97 6.1%	35 2.2%	79 5.0%	22 1.4%

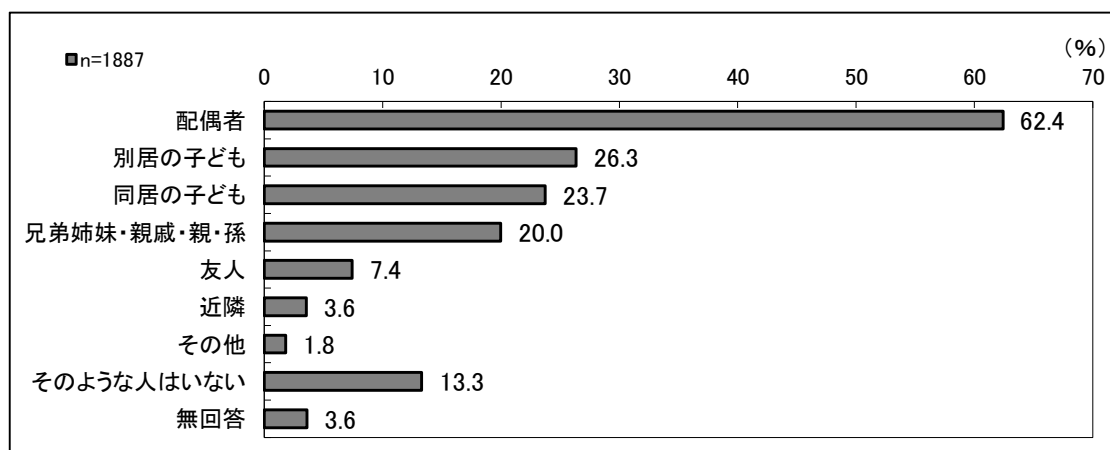
(4) 看病や世話をしあける人

問7(4) 反対に、看病や世話をしあける人。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位となっている。「別居の子ども」、「同居の子ども」などが続く。

看病や世話をしあける人については、「配偶者」(62.4%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(26.3%)、「同居の子ども」(23.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.0%)、「友人」(7.4%)、「近隣」(3.6%)、「その他」(1.8%)、「そのような人はいない」(13.3%)となっている。

図表 看病や世話をしあける人(全体／複数回答)



図表 看病や世話をしあける人(全体・属性別第1位／複数回答)

		合計	問7(4) 看病や世話をしあげる人								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1887 100.0%	1178 62.4%	448 23.7%	497 26.3%	377 20.0%	67 3.6%	140 7.4%	34 1.8%	251 13.3%	68 3.6%
性別	男性	837 100.0%	629 75.1%	177 21.1%	187 22.3%	125 14.9%	15 1.8%	20 2.4%	12 1.4%	106 12.7%	26 3.1%
	女性	1050 100.0%	549 52.3%	271 25.8%	310 29.5%	252 24.0%	52 5.0%	120 11.4%	22 2.1%	145 13.8%	42 4.0%
年齢	65～74歳	866 100.0%	643 74.2%	214 24.7%	285 32.9%	239 27.6%	32 3.7%	75 8.7%	6 0.7%	74 8.5%	8 0.9%
	75～84歳	729 100.0%	455 62.4%	160 21.9%	169 23.2%	109 15.0%	30 4.1%	49 6.7%	14 1.9%	92 12.6%	35 4.8%
	85歳以上	292 100.0%	80 27.4%	74 25.3%	43 14.7%	29 9.9%	5 1.7%	16 5.5%	14 4.8%	85 29.1%	25 8.6%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	583 59.6%	223 22.8%	249 25.4%	188 19.2%	32 3.3%	77 7.9%	20 2.0%	145 14.8%	40 4.1%
	B圏域	908 100.0%	595 65.5%	225 24.8%	248 27.3%	189 20.8%	35 3.9%	63 6.9%	14 1.5%	106 11.7%	28 3.1%
認定状況	要支援1・2	305 100.0%	110 36.1%	52 17.0%	39 12.8%	30 9.8%	5 1.6%	18 5.9%	14 4.6%	93 30.5%	24 7.9%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	1068 67.5%	396 25.0%	458 29.0%	347 21.9%	62 3.9%	122 7.7%	20 1.3%	158 10.0%	44 2.8%

【調査結果から見える傾向】

- 心配事や愚痴を聞く・聞いてもらう関係性、看病や世話をする・してもらう関係性いずれも、「配偶者」が第1位となっています。前者では、男性では「配偶者」が第1位となっているのに対し、女性では「友人」が第1位となっているなど、性別によって傾向が異なります。

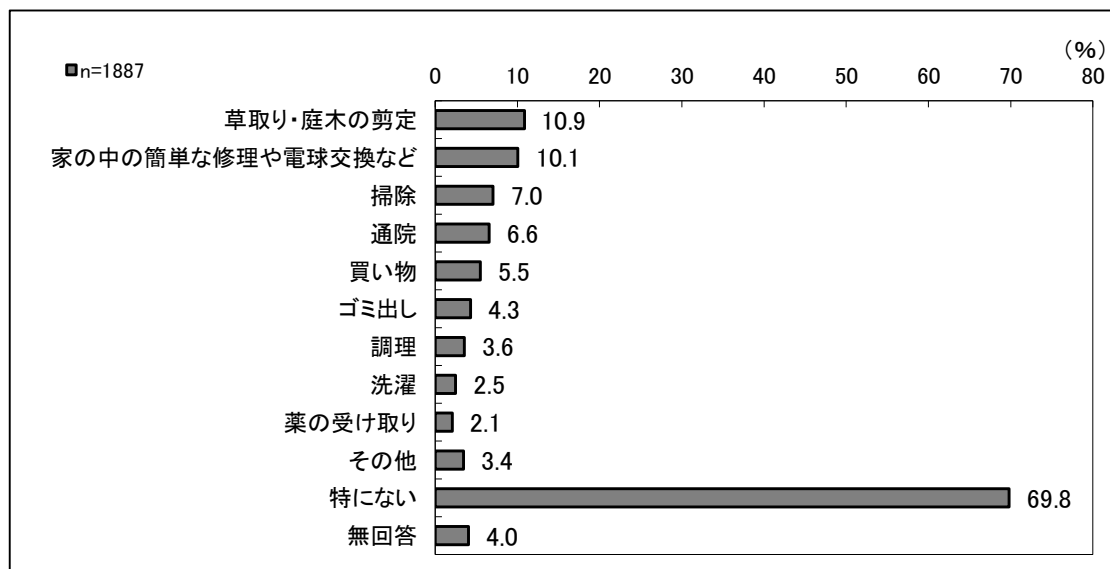
(5) 日常的に困っていること

問7 (5) 日常的に困っていることはありますか。【複数回答】

- 「特にない」が69.8%を占める。

日常的に困っていることについては、「草取り・庭木の剪定」(10.9%)が最も多く、次いで「家の中の簡単な修理や電球交換など」(10.1%)、「掃除」(7.0%)、「通院」(6.6%)、「買い物」(5.5%)、「ゴミ出し」(4.3%)、「調理」(3.6%)、「洗濯」(2.5%)、「薬の受け取り」(2.1%) などとなっている。なお、「特にない」は69.8%となっている。いずれの属性でも「特にない」が第1位となっている。

図表 日常的に困っていること（全体／複数回答）



図表 日常的に困っていること（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問7(5) 日常的に困っていること								
			掃除	洗濯	調理	買い物	ゴミ出し	薬の受け取り	通院	草取り・庭木の剪定	家の中の簡単な修理や電球交換など
全体		1887 100.0%	133 7.0%	47 2.5%	67 3.6%	104 5.5%	81 4.3%	39 2.1%	124 6.6%	205 10.9%	190 10.1%
性別	男性	837 100.0%	40 4.8%	18 2.2%	28 3.3%	28 3.3%	23 2.7%	15 1.8%	43 5.1%	72 8.6%	49 5.9%
	女性	1050 100.0%	93 8.9%	29 2.8%	39 3.7%	76 7.2%	58 5.5%	24 2.3%	81 7.7%	133 12.7%	141 13.4%
年齢	65～74歳	866 100.0%	23 2.7%	7 0.8%	17 2.0%	12 1.4%	17 2.0%	8 0.9%	23 2.7%	66 7.6%	43 5.0%
	75～84歳	729 100.0%	67 9.2%	21 2.9%	31 4.3%	57 7.8%	38 5.2%	14 1.9%	62 8.5%	95 13.0%	87 11.9%
	85歳以上	292 100.0%	43 14.7%	19 6.5%	19 6.5%	35 12.0%	26 8.9%	17 5.8%	39 13.4%	44 15.1%	60 20.5%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	66 6.7%	22 2.2%	33 3.4%	46 4.7%	39 4.0%	18 1.8%	62 6.3%	95 9.7%	97 9.9%
	B圏域	908 100.0%	67 7.4%	25 2.8%	34 3.7%	58 6.4%	42 4.6%	21 2.3%	62 6.8%	110 12.1%	93 10.2%
認定状況	要支援1・2	305 100.0%	78 25.6%	30 9.8%	35 11.5%	62 20.3%	42 13.8%	27 8.9%	64 21.0%	54 17.7%	69 22.6%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	55 3.5%	17 1.1%	32 2.0%	42 2.7%	39 2.5%	12 0.8%	60 3.8%	151 9.5%	121 7.6%

		合計	問7(5) 日常的に困っていること		
			その他	特にない	無回答
全体		1887 100.0%	65 3.4%	1317 69.8%	76 4.0%
性別	男性	837 100.0%	26 3.1%	631 75.4%	34 4.1%
	女性	1050 100.0%	39 3.7%	686 65.3%	42 4.0%
年齢	65～74歳	866 100.0%	29 3.3%	703 81.2%	20 2.3%
	75～84歳	729 100.0%	22 3.0%	468 64.2%	37 5.1%
	85歳以上	292 100.0%	14 4.8%	146 50.0%	19 6.5%
生活圏域	A圏域	979 100.0%	33 3.4%	690 70.5%	44 4.5%
	B圏域	908 100.0%	32 3.5%	627 69.1%	32 3.5%
認定状況	要支援1・2	305 100.0%	21 6.9%	107 35.1%	23 7.5%
	事業対象者・受けていない	1582 100.0%	44 2.8%	1210 76.5%	53 3.4%

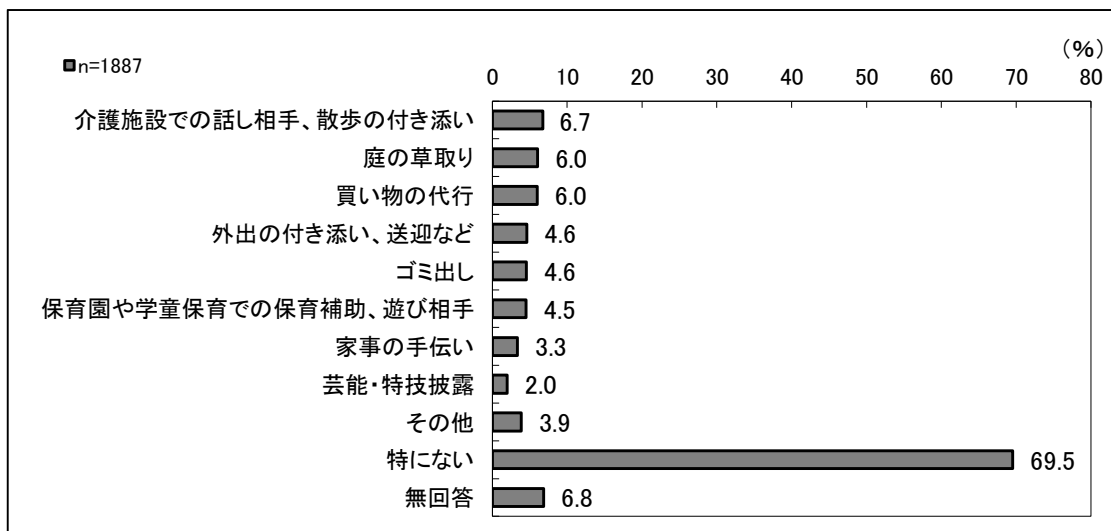
(6) ボランティアとして参加したい活動

問7(6) あなたがボランティアとして参加したいと思う活動はありますか。【複数回答】

- 「特にない」が69.5%を占める。

ボランティアとして参加したい活動については、「介護施設での話し相手、散歩の付き添い」(6.7%)が最も多く、次いで「庭の草取り」・「買い物の代行」(同率 6.0%)、「外出の付き添い、送迎など」・「ゴミ出し」(同率 4.6%)、「保育園や学童保育での保育補助、遊び相手」(4.5%)、「家事の手伝い」(3.3%)、「芸能・特技披露」(2.0%) などとなっている。なお、「特にない」は69.5%となっている。

図表 ボランティアとして参加したい活動（全体／複数回答）



図表 ボランティアとして参加したい活動（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	問7(6) ボランティアとして参加したい活動										
			ゴミ出し	庭の草取り	家事の手伝い	外出の付き添い、送迎など	買い物の代行	芸能・特技披露	介護施設での話し相手、散歩の付き添い	保育園や学童保育での保育補助、遊び相手	その他	特にない	無回答
全体		1887	86	114	63	87	113	37	127	85	73	1312	129
		100.0%	4.6%	6.0%	3.3%	4.6%	6.0%	2.0%	6.7%	4.5%	3.9%	69.5%	6.8%
性別	男性	837	43	55	17	51	49	15	36	36	32	608	47
	女性	1050	43	59	46	36	64	22	91	49	41	704	82
		100.0%	4.1%	5.6%	4.4%	3.4%	6.1%	2.1%	8.7%	4.7%	3.9%	67.0%	7.8%
年齢	65～74歳	866	39	66	41	61	86	21	75	69	41	564	30
		100.0%	4.5%	7.6%	4.7%	7.0%	9.9%	2.4%	8.7%	8.0%	4.7%	65.1%	3.5%
	75～84歳	729	41	41	18	23	20	13	39	15	22	521	72
		100.0%	5.6%	5.6%	2.5%	3.2%	2.7%	1.8%	5.3%	2.1%	3.0%	71.5%	9.9%
	85歳以上	292	6	7	4	3	7	3	13	1	10	227	27
		100.0%	2.1%	2.4%	1.4%	1.0%	2.4%	1.0%	4.5%	0.3%	3.4%	77.7%	9.2%
生活圏域	A圏域	979	44	63	29	46	55	18	68	41	35	674	78
		100.0%	4.5%	6.4%	3.0%	4.7%	5.6%	1.8%	6.9%	4.2%	3.6%	68.8%	8.0%
	B圏域	908	42	51	34	41	58	19	59	44	38	638	51
		100.0%	4.6%	5.6%	3.7%	4.5%	6.4%	2.1%	6.5%	4.8%	4.2%	70.3%	5.6%
認定状況	要支援1・2	305	6	5	3	1	4	5	16	2	14	224	40
		100.0%	2.0%	1.6%	1.0%	0.3%	1.3%	1.6%	5.2%	0.7%	4.6%	73.4%	13.1%
	事業対象者・受けていない	1582	80	109	60	86	109	32	111	83	59	1088	89
		100.0%	5.1%	6.9%	3.8%	5.4%	6.9%	2.0%	7.0%	5.2%	3.7%	68.8%	5.6%

(7) 生活支援コーディネーターを知っているか

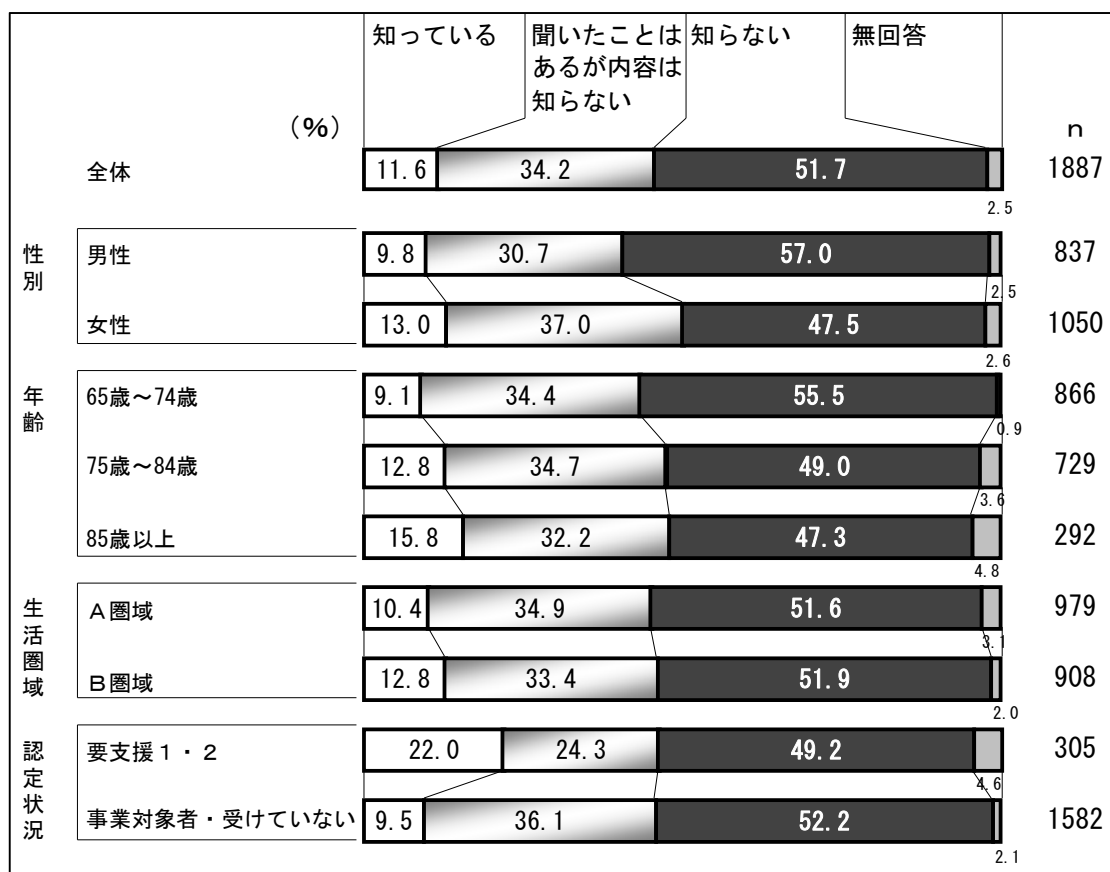
問7 (7) 生活支援コーディネーターについて知っていますか。

- 「知らない」が5割強、「聞いたことはあるが内容は知らない」が3割強を占める。

生活支援コーディネーターを知っているかたずねたところ、「知らない」が51.7%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が34.2%、「知っている」が11.6%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「知っている」が22.0%となっている。

図表 生活支援コーディネーターを知っているか（全体・属性別）



9 健康について

(1) 現在の健康状態

問8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

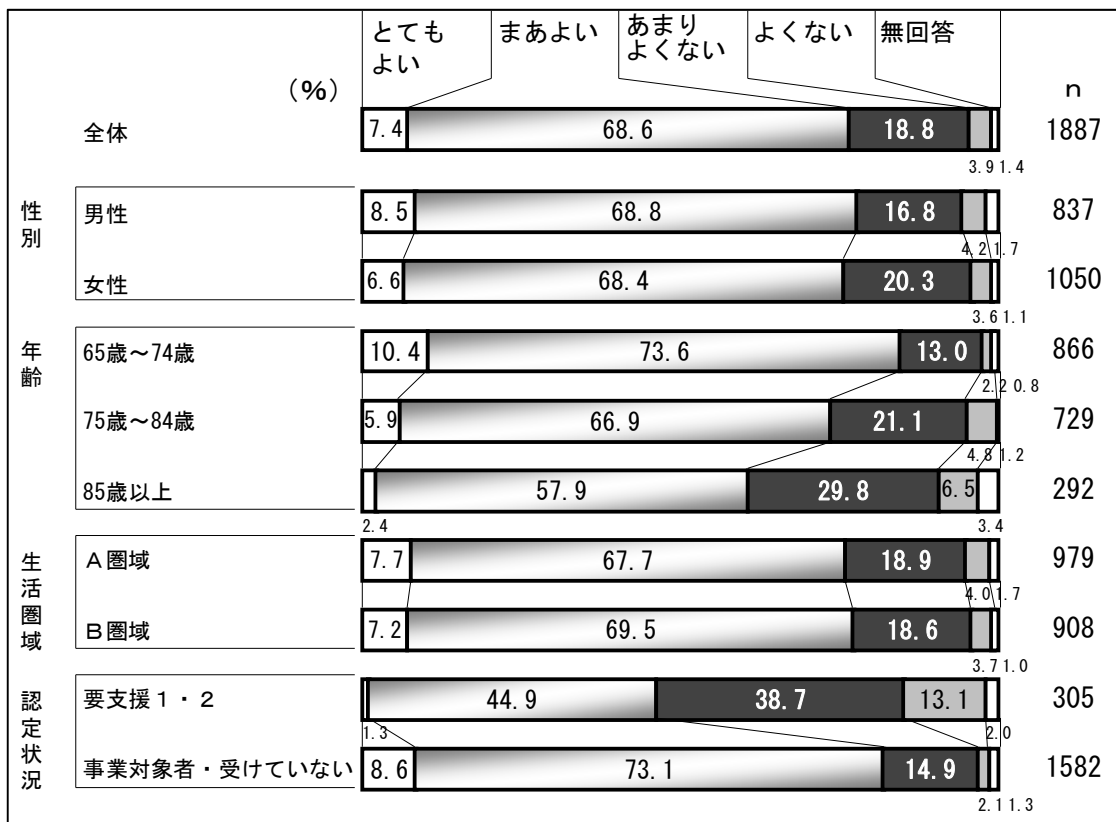
- “よい” が8割弱、“よくない” が2割強を占める。

現在の健康状態については、「とてもよい」(7.4%)と「まあよい」(68.6%)を合わせた“よい”が76.0%、「あまりよくない」(18.8%)と「よくない」(3.9%)を合わせた“よくない”が22.7%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて“よくない”の割合が高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では“よくない”が51.8%となっている。

図表 現在の健康状態（全体・属性別）



(2) 現在の幸せの程度

問8(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点を○で囲んでください)

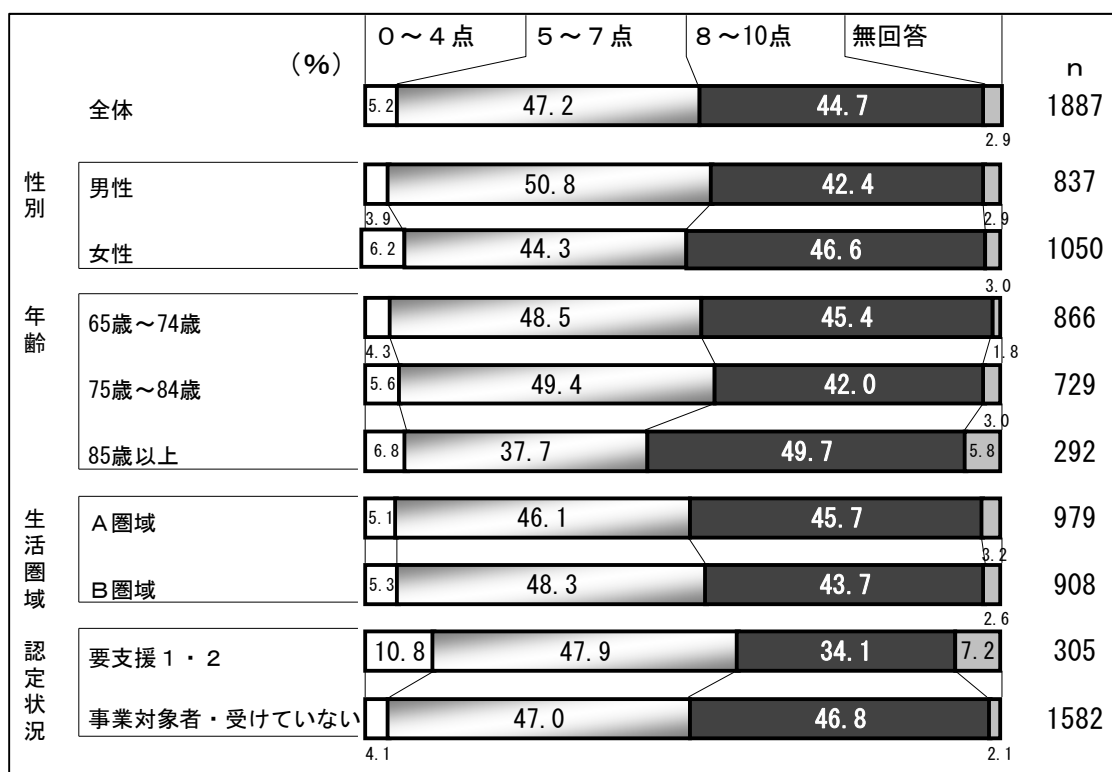


- 「5～7点」が5割弱、「8～10点」が4割強を占める。

現在の幸せの程度については、「5～7点」が47.2%、「8～10点」が44.7%、「0～4点」が5.2%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「0～4点」が10.8%となっている。

図表 現在の幸せの程度（全体・属性別）



(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか

問8 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



- 「いいえ」が6割強、「はい」が4割弱を占める。

気分が沈んだりゆううつな気持ちになったかたずねたところ、「いいえ」が 61.5%、「はい」が 35.4%となっている。

性別でみると、女性では「はい」が 40.0%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」が高くなっており、85 歳以上では 42.8%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が 47.2%となっている。

図表 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか（全体・属性別）

		(%)	はい	いいえ	無回答	n
性別	全体		35.4	61.5	3.1	1887
	男性		29.6	66.9	3.5	837
	女性		40.0	57.2	2.8	1050
年齢	65歳～74歳		32.2	65.6	2.2	866
	75歳～84歳		36.2	59.9	3.8	729
	85歳以上		42.8	53.4	3.8	292
生活圏域	A圏域		35.6	61.8	2.6	979
	B圏域		35.1	61.2	3.6	908
認定状況	要支援1・2		47.2	48.9	3.9	305
	事業対象者・受けていない		33.1	64.0	2.9	1582

(4) 物事に対し興味がわからない等があったか

問8 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



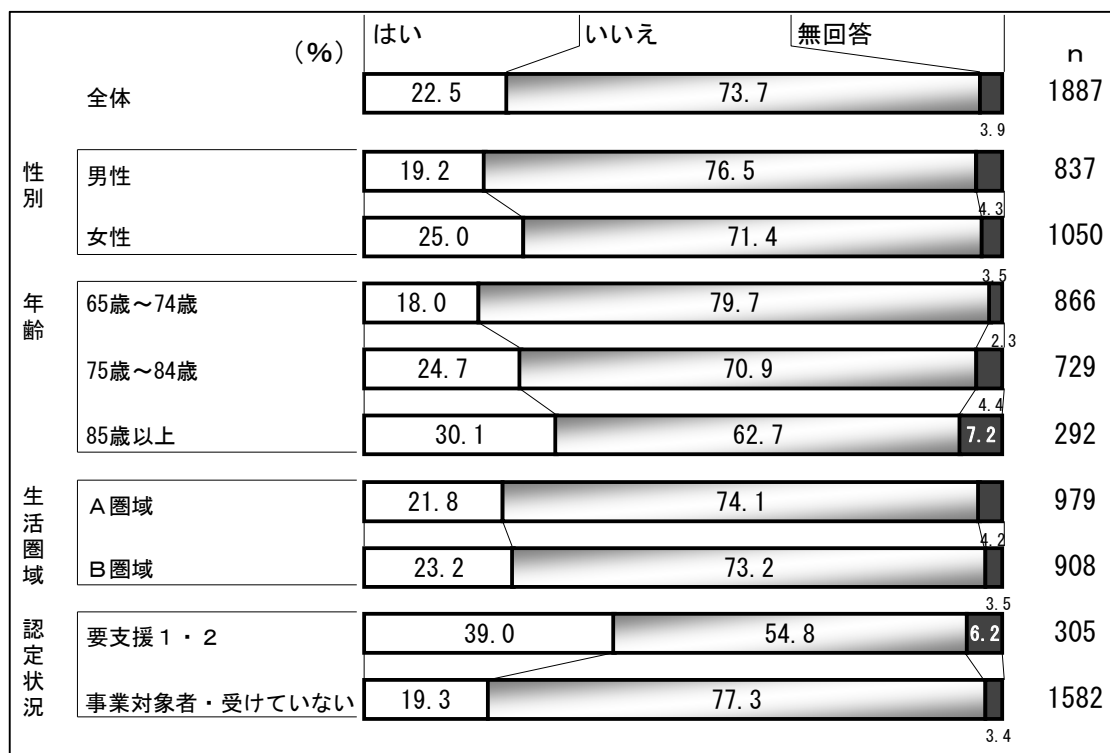
- 「いいえ」が7割強、「はい」が2割強を占める。

物事に対し興味がわからない等があったかたずねたところ、「いいえ」が73.7%、「はい」が22.5%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「はい」の割合が高くなっており、85歳以上では30.1%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「はい」が39.0%となっている。

図表 物事に対し興味がわからない等があったか（全体・属性別）



(5) 喫煙習慣の有無

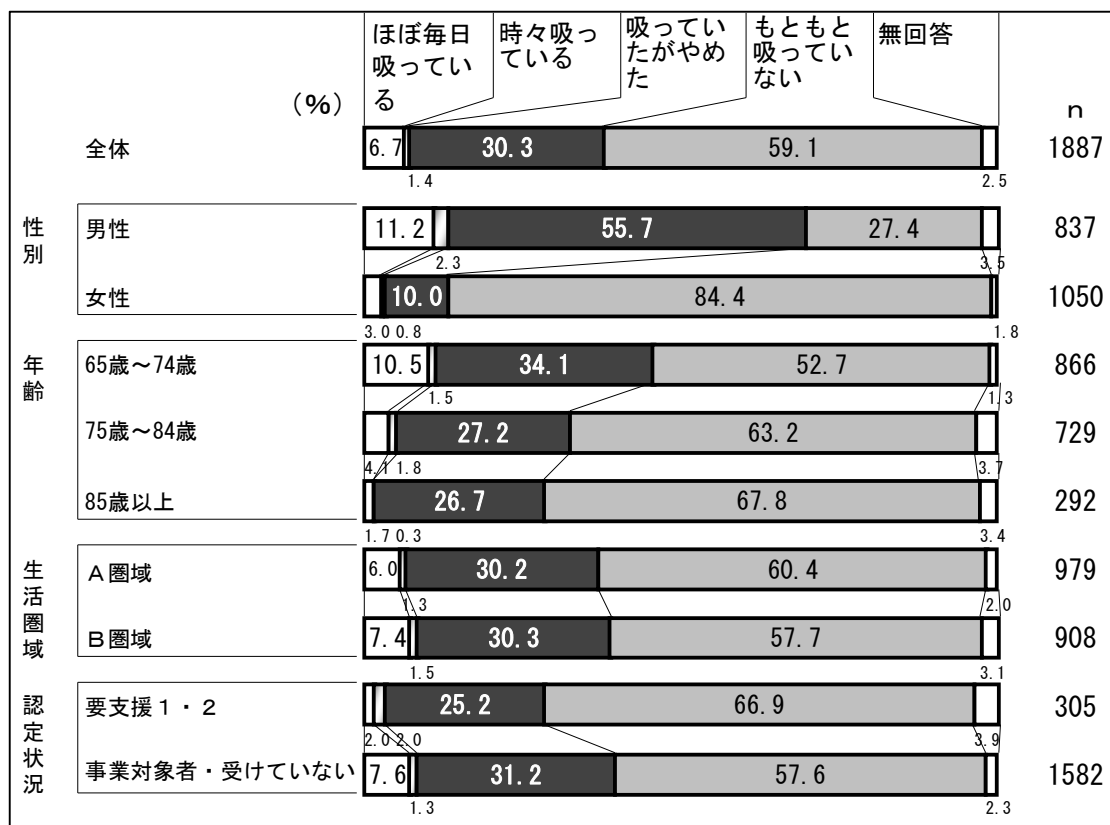
問8 (5) タバコは吸っていますか。

- 「もともと吸っていない」が6割弱、「吸っていたがやめた」が3割強を占める。

喫煙習慣の有無たずねたところ、「もともと吸っていない」が59.1%、「吸っていたがやめた」が30.3%、「ほぼ毎日吸っている」が6.7%、「時々吸っている」が1.4%となっている。

性別でみると、男性では「吸っていたがやめた」が55.7%、「ほぼ毎日吸っている」が11.2%となっているのに対し、女性では「もともと吸っていない」が84.4%となっている。

図表 喫煙習慣の有無（全体・属性別）



(6) 現在治療中または後遺症のある病気

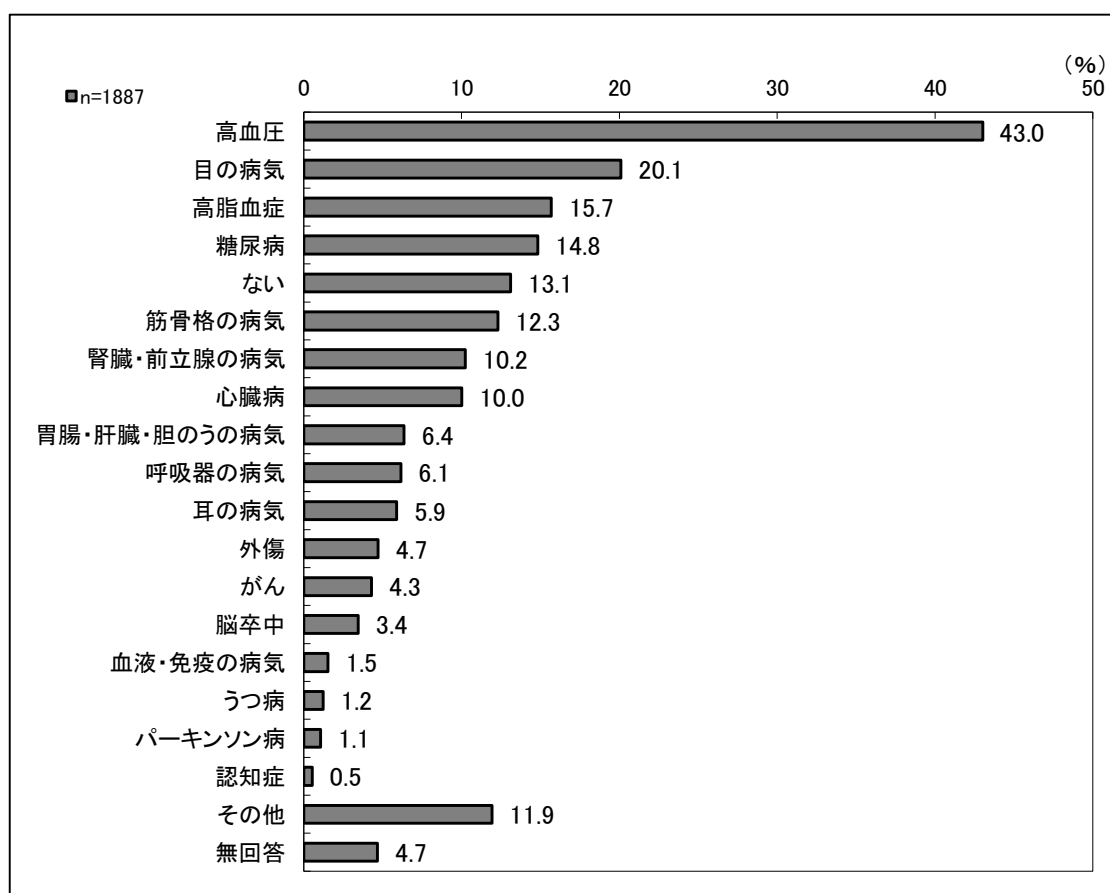
問8 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

- 「高血圧」が第1位。「目の病気」、「高脂血症」などが続く。

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」(43.0%)が最も多く、次いで「目の病気」(20.1%)、「高脂血症」(15.7%)、「糖尿病」(14.8%)、「ない」(13.1%)、「筋骨格の病気」(12.3%)、「腎臓・前立腺の病気」(10.2%)、「心臓病」(10.0%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(6.4%)、「呼吸器の病気」(6.1%)、「耳の病気」(5.9%)、「外傷」(4.7%)、「がん」(4.3%)、「脳卒中」(3.4%)、「血液・免疫の病気」(1.5%)、「うつ病」(1.2%)、「パーキンソン病」(1.1%)、「認知症」(0.5%)などとなっている。

いずれの属性でも「高血圧」が第1位となっている。

図表 現在治療中または後遺症のある病気 (全体／複数回答)



図表 現在治療中または後遺症のある病気（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	問8(6) 現在治療中または後遺症のある病気									
			ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の 病気	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気
全体		1887	247	812	65	189	280	296	116	120	193	232
		100.0%	13.1%	43.0%	3.4%	10.0%	14.8%	15.7%	6.1%	6.4%	10.2%	12.3%
性別	男性	837	103	382	43	118	150	93	45	49	155	31
		100.0%	12.3%	45.6%	5.1%	14.1%	17.9%	11.1%	5.4%	5.9%	18.5%	3.7%
	女性	1050	144	430	22	71	130	203	71	71	38	201
		100.0%	13.7%	41.0%	2.1%	6.8%	12.4%	19.3%	6.8%	6.8%	3.6%	19.1%
年 齢	65～74歳	866	158	317	18	50	123	161	41	41	74	68
		100.0%	18.2%	36.6%	2.1%	5.8%	14.2%	18.6%	4.7%	4.7%	8.5%	7.9%
	75～84歳	729	70	350	33	94	116	102	53	54	80	114
		100.0%	9.6%	48.0%	4.5%	12.9%	15.9%	14.0%	7.3%	7.4%	11.0%	15.6%
	85歳以上	292	19	145	14	45	41	33	22	25	39	50
		100.0%	6.5%	49.7%	4.8%	15.4%	14.0%	11.3%	7.5%	8.6%	13.4%	17.1%
生 活 圏 域	A圏域	979	120	418	29	91	145	157	63	71	88	127
		100.0%	12.3%	42.7%	3.0%	9.3%	14.8%	16.0%	6.4%	7.3%	9.0%	13.0%
	B圏域	908	127	394	36	98	135	139	53	49	105	105
		100.0%	14.0%	43.4%	4.0%	10.8%	14.9%	15.3%	5.8%	5.4%	11.6%	11.6%
認 定 状 況	要支援1・2	305	8	152	26	46	59	38	29	37	35	79
		100.0%	2.6%	49.8%	8.5%	15.1%	19.3%	12.5%	9.5%	12.1%	11.5%	25.9%
	事業対象者・ 受けていない	1582	239	660	39	143	221	258	87	83	158	153
		100.0%	15.1%	41.7%	2.5%	9.0%	14.0%	16.3%	5.5%	5.2%	10.0%	9.7%

		合計	問8(6) 現在治療中または後遺症のある病気									
			外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1887	89	81	29	23	10	20	379	111	225	88
		100.0%	4.7%	4.3%	1.5%	1.2%	0.5%	1.1%	20.1%	5.9%	11.9%	4.7%
性別	男性	837	23	46	11	2	5	9	150	51	99	42
		100.0%	2.7%	5.5%	1.3%	0.2%	0.6%	1.1%	17.9%	6.1%	11.8%	5.0%
女性		1050	66	35	18	21	5	11	229	60	126	46
		100.0%	6.3%	3.3%	1.7%	2.0%	0.5%	1.0%	21.8%	5.7%	12.0%	4.4%
年齢	65～74歳	866	36	38	10	10	1	5	144	36	105	29
		100.0%	4.2%	4.4%	1.2%	1.2%	0.1%	0.6%	16.6%	4.2%	12.1%	3.3%
	75～84歳	729	29	40	13	7	6	15	155	40	85	41
		100.0%	4.0%	5.5%	1.8%	1.0%	0.8%	2.1%	21.3%	5.5%	11.7%	5.6%
	85歳以上	292	24	3	6	6	3	0	80	35	35	18
		100.0%	8.2%	1.0%	2.1%	2.1%	1.0%	0.0%	27.4%	12.0%	12.0%	6.2%
生活圏域	A圏域	979	54	43	15	11	6	5	197	66	129	40
		100.0%	5.5%	4.4%	1.5%	1.1%	0.6%	0.5%	20.1%	6.7%	13.2%	4.1%
	B圏域	908	35	38	14	12	4	15	182	45	96	48
		100.0%	3.9%	4.2%	1.5%	1.3%	0.4%	1.7%	20.0%	5.0%	10.6%	5.3%
認定状況	要支援1・2	305	34	18	8	7	4	15	81	31	41	13
		100.0%	11.1%	5.9%	2.6%	2.3%	1.3%	4.9%	26.6%	10.2%	13.4%	4.3%
	事業対象者・受けていない	1582	55	63	21	16	6	5	298	80	184	75
		100.0%	3.5%	4.0%	1.3%	1.0%	0.4%	0.3%	18.8%	5.1%	11.6%	4.7%

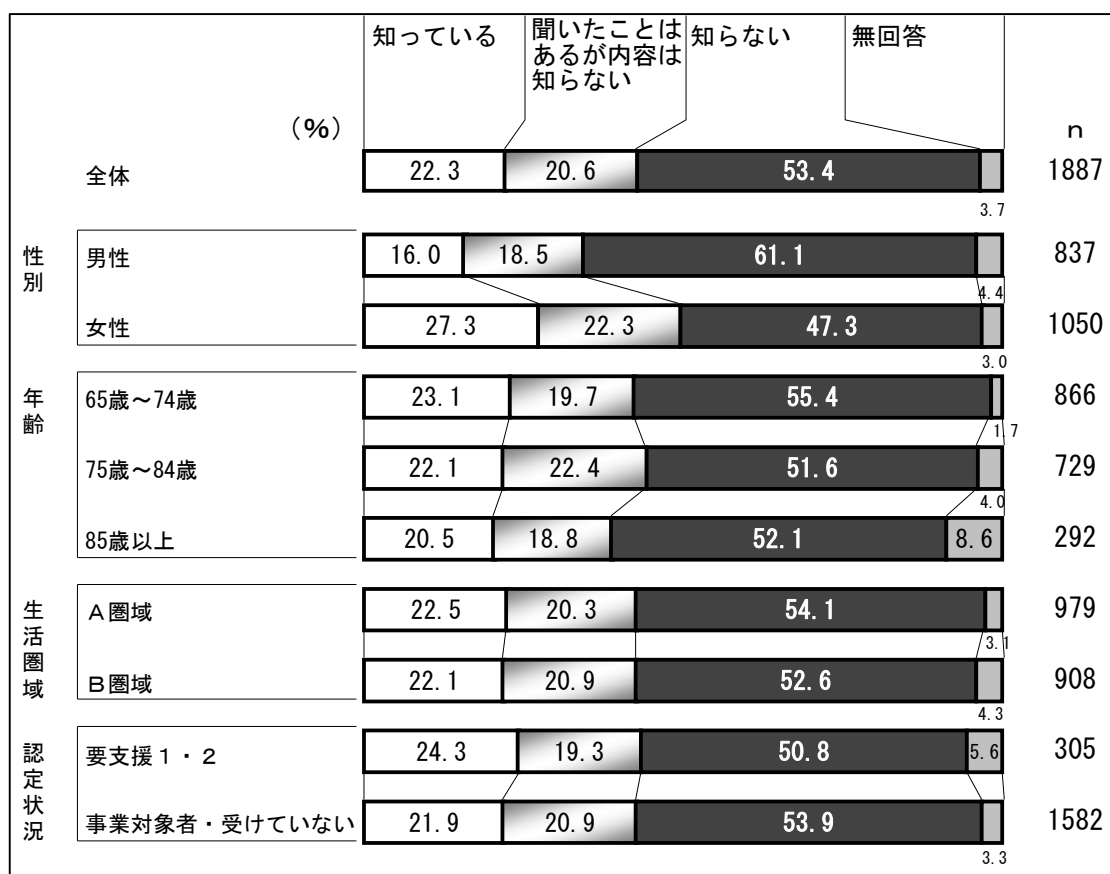
(7) フレイル・フレイル予防を知っているか

問8 (7) フレイルまたはフレイル予防について知っていますか。

- 「知らない」が5割強、「知っている」、「聞いたことはあるが内容は知らない」がともに2割強を占める。

フレイル・フレイル予防を知っているかたずねたところ、「知らない」が53.4%、「知っている」が22.3%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が20.6%となっている。
性別でみると、男性では「知らない」が61.1%と女性よりも高くなっている。

図表 フレイル・フレイル予防を知っているか（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- フレイル・フレイル予防を「知らない」人は53.4%と半数以上を占めています。女性よりも男性で認知度が低くなっています。フレイルの概念を広めていくとともに、生活習慣の見直し等を通じて、健やかな心身を維持していくことができるよう、健康増進施策、介護予防の連携を深めていく必要があります。

10 健康について

(1) 介護が必要になった際の理想の暮らし方

問9 (1) 介護が必要になった時、どんな暮らし方が一番希望に近いですか。

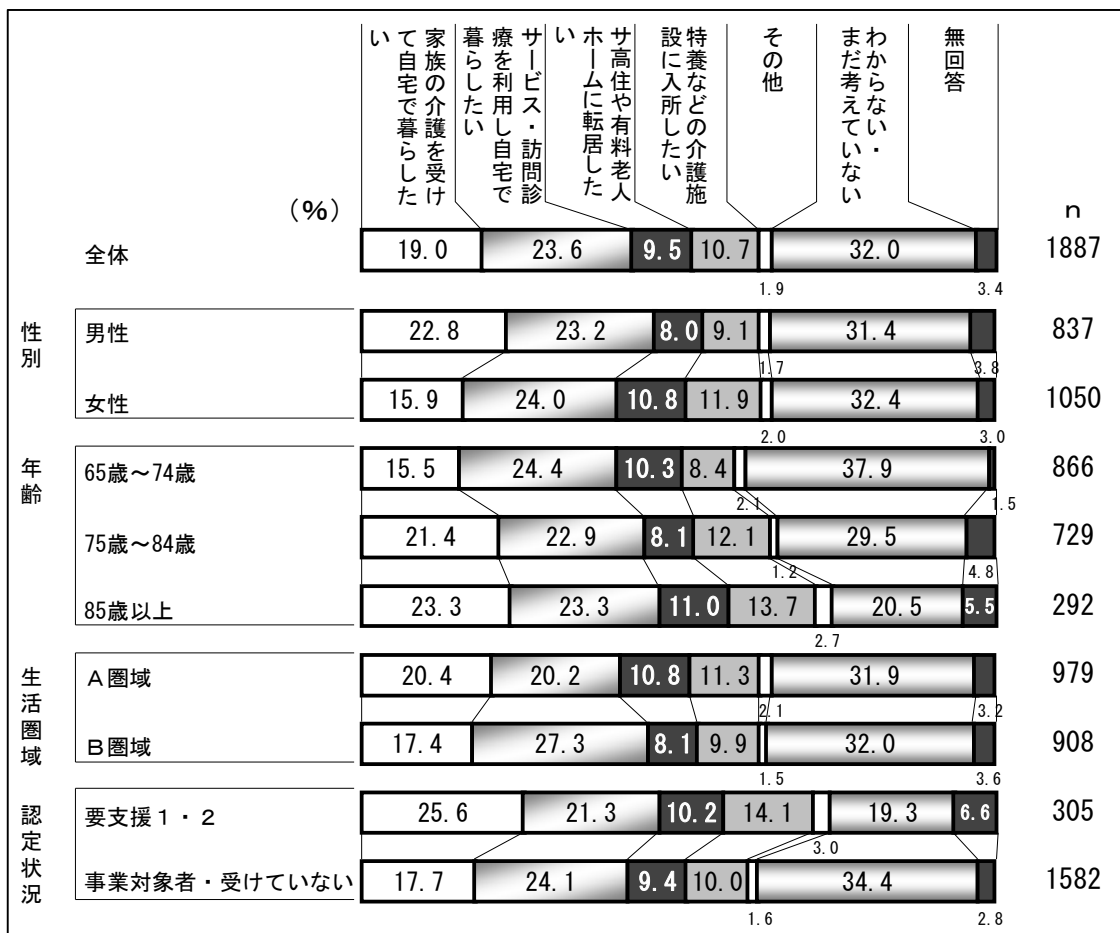
- 「わからない・まだ考えていない」が3割強、「サービス・訪問診療を利用し自宅で暮らしたい」が2割強、「家族の介護を受けて自宅で暮らしたい」が2割弱を占める。

介護が必要になった際の理想の暮らし方については、「サービス・訪問診療を利用し自宅で暮らしたい」が23.6%、「家族の介護を受けて自宅で暮らしたい」が19.0%、「特養などの介護施設に入所したい」が10.7%、「サ高住や有料老人ホームに転居したい」が9.5%、「わからない・まだ考えていない」が32.0%となっている。

生活圏域でみると、B圏域では「サービス・訪問診療を利用し自宅で暮らしたい」が27.3%とA圏域よりも高くなっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「家族の介護を受けて自宅で暮らしたい」が25.6%となっている。

図表 介護が必要になった際の理想の暮らし方（全体・属性別）



(2) 終末期を想定した家族との話し合いや備えをしているか

問9 (2) もしもの時(終末期)に備えて、介護や医療、葬儀、お墓などの希望について、ご家族などと話し合いや備えをしていますか。

- 「少し話し合っている」が4割強、「特にしていない」が4割弱を占める。

終末期を想定した家族との話し合いや備えをしているかたずねたところ、「少し話し合っている」が42.2%、「特にしていない」が35.2%、「話し合ったことはないが自分で備えている」が10.7%、「詳しく話し合っている」が7.1%となっている。

性別でみると、女性では「少し話し合っている」が44.6%と男性よりも高くなっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「詳しく話し合っている」の割合が高くなっており、85歳以上では11.6%となっている。

認定状況でみると、要支援1・2では「詳しく話し合っている」が13.4%となっている。

図表 終末期を想定した家族との話し合いや備えをしているか(全体・属性別)

		(%)	詳しく話し合っている	少し話し合っている	話し合ったことはないが自分で備えている	特にしていない	無回答	n
性別	全体		7.1	42.2	10.7	35.2	4.9	1887
	男性		6.1	39.2	10.0	39.5	5.1	837
	女性		7.9	44.6	11.1	31.7	4.7	1050
年齢	65歳～74歳		4.7	40.5	10.6	41.7	2.4	866
	75歳～84歳		8.1	44.3	11.1	31.0	5.5	729
	85歳以上		11.6	41.8	9.6	26.4	10.6	292
生活圏域	A圏域		7.5	42.7	10.9	34.4	4.5	979
	B圏域		6.7	41.6	10.4	36.0	5.3	908
認定状況	要支援1・2		13.4	44.6	9.2	25.2	7.5	305
	事業対象者・受けていない		5.9	41.7	10.9	37.1	4.4	1582

(3) 終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容

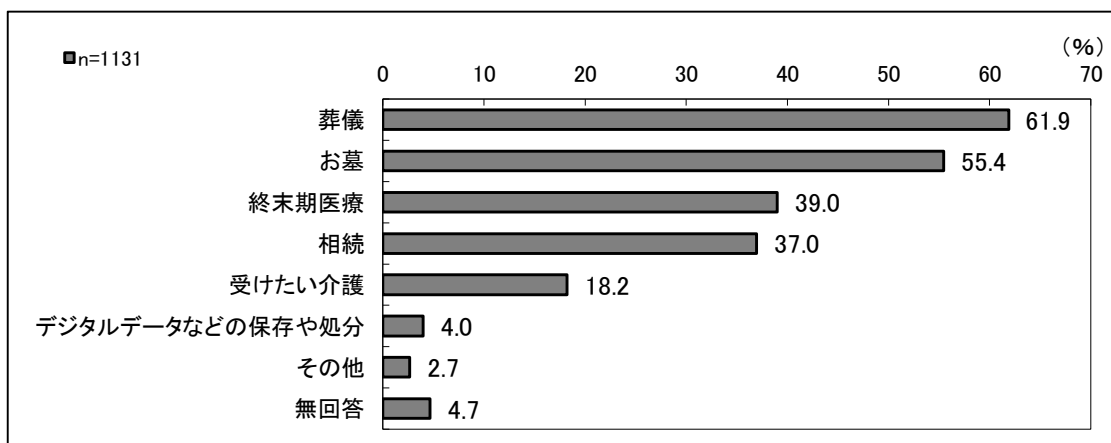
【(2) で「1.」「2.」「3.」(話し合いや備えをしている)の方のみ】
問9① 話し合いや備えをしているのはどのようなことですか。【複数回答】

- 「葬儀」が第1位。「お墓」、「終末期医療」などが続く。

終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容については、「葬儀」(61.9%)が最も多く、次いで「お墓」(55.4%)、「終末期医療」(39.0%)、「相続」(37.0%)、「受けたい介護」(18.2%)、「デジタルデータなどの保存や処分」(4.0%)などとなっている。

年齢でみると、65～74歳では「葬儀」・「お墓」が同率で第1位となっている。

図表 終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容(全体/複数回答)



図表 終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容
(全体・属性別-第1位/複数回答)

		合計	問9(2) ① 終末期を想定した家族との話し合いや備えの内容								
			終末期医療	受けたい介護	葬儀	お墓	相続	デジタルデータなどの保存や処分	その他	無回答	非該当
全体		1131 100.0%	441 39.0%	206 18.2%	700 61.9%	627 55.4%	418 37.0%	45 4.0%	30 2.7%	53 4.7%	756
性別	男性	463 100.0%	174 37.6%	72 15.6%	286 61.8%	267 57.7%	193 41.7%	25 5.4%	11 2.4%	15 3.2%	374
	女性	668 100.0%	267 40.0%	134 20.1%	414 62.0%	360 53.9%	225 33.7%	20 3.0%	19 2.8%	38 5.7%	382
年齢	65～74歳	484 100.0%	200 41.3%	70 14.5%	304 62.8%	304 62.8%	186 38.4%	27 5.6%	15 3.1%	8 1.7%	382
	75～84歳	463 100.0%	169 36.5%	96 20.7%	276 59.6%	242 52.3%	161 34.8%	16 3.5%	10 2.2%	31 6.7%	266
	85歳以上	184 100.0%	72 39.1%	40 21.7%	120 65.2%	81 44.0%	71 38.6%	2 1.1%	5 2.7%	14 7.6%	108
生活圏域	A圏域	598 100.0%	240 40.1%	108 18.1%	370 61.9%	324 54.2%	232 38.8%	21 3.5%	14 2.3%	26 4.3%	381
	B圏域	533 100.0%	201 37.7%	98 18.4%	330 61.9%	303 56.8%	186 34.9%	24 4.5%	16 3.0%	27 5.1%	375
認定状況	要支援1・2	205 100.0%	82 40.0%	45 22.0%	120 58.5%	96 46.8%	71 34.6%	4 2.0%	3 1.5%	20 9.8%	100
	事業対象者・受けていない	926 100.0%	359 38.8%	161 17.4%	580 62.6%	531 57.3%	347 37.5%	41 4.4%	27 2.9%	33 3.6%	656

【調査結果から見える傾向】

- 介護が必要になった場合に自宅での生活を希望する人が 42.6%を占めています。特に男性で自宅での生活希望が高くなっています。
- 終末期を想定した家族との話し合いや備えがまったくできていない人が 35.2%と、3人に1人以上となっています。現在も白井市終活支援ノートを配布するなどしていますが、財産管理やお墓、葬式のことなどを事前に取り決めておくことは、高齢者の家族、高齢者本人双方の安心につながるため、引き続きエンディングノートの配布や書き方の講座等を開催していく必要があります。

(4) 成年後見制度について知っているか

問9 (3) 成年後見制度について知っていますか。

- 「知っている」が4割強、「聞いたことがあるがよくわからない」が3割強を占める。

成年後見制度について知っているかたずねたところ、「知っている」が44.7%、「聞いたことがあるがよくわからない」が30.8%、「知らない」が20.0%となっている。

年齢でみると、高齢になるにつれて「知らない」の割合が高くなっており、85歳以上では29.1%となっている。

図表 成年後見制度について知っているか（全体・属性別）

		知っている	聞いたことがあるがよくわからない	知らない	無回答	n
		(%)				
性別	全体	44.7	30.8	20.0	4.5	1887
	男性	43.4	30.8	21.5	4.3	837
	女性	45.7	30.9	18.9	4.6	1050
年齢	65歳～74歳	50.3	29.4	17.8	2.4	866
	75歳～84歳	41.6	33.9	19.1	5.5	729
	85歳以上	35.6	27.4	29.1	7.9	292
生活圏域	A圏域	44.7	30.3	20.4	4.5	979
	B圏域	44.6	31.4	19.6	4.4	908
認定状況	要支援1・2	40.0	28.9	25.6	5.6	305
	事業対象者・受けていない	45.6	31.2	19.0	4.2	1582

Ⅱ 前回調査との比較

図表 前回調査結果との比較

区分	調査項目	項目	今回 (n=1,887)	前回 (n=1,920)
基本属性	性別	女性	55.6	54.2
	年齢	後期高齢者	54.1	52.3
	認定状況	認定を受けていない	80.7	78.9
		総合事業対象者	3.2	4.0
		要支援1	6.4	6.7
		要支援2	9.8	9.7
家族や生活	家族構成	1人暮らし	16.6	16.8
		夫婦2人暮らし	47.1	44.6
		息子・娘との2世帯	20.2	18.7
	介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	82.5	79.7
		介護・介助は必要だが受けていない	5.7	6.7
		現在介護・介助を受けている	10.2	10.4
	住まい	持家	89.1	89.9
		2階以上でエレベータなし	29.9	27.9
身体機能	BMI	平均	22.8	22.9
	歯・口腔	半年前より固いものが食べにくくなった	30.8	28.3
		自分の歯が19本以下	45.5	44.6
	喫煙	ほぼ毎日吸っている	6.7	7.3
	足腰	階段を手すりや壁をつたわずに昇れない	19.4	22.2
		椅子から何もつかまらずに立ち上がれない	13.1	14.7
		15分位続けて歩けない	10.3	10.7
	転倒	過去1年間に転倒したことが1回以上ある	29.8	29.2
		転倒に対する不安がある	56.6	53.6
外出・日常生活	外出状況	外出の頻度が週に1回以下	19.9	17.9
		昨年度より外出の頻度が低下している	34.6	27.4
		外出を控えている	32.0	23.5
	外出手段	徒歩	67.1	64.6
		自動車（自分で運転）	48.2	44.6
		電車	46.3	42.3
		自動車（人に乗せてもらう）	30.8	29.4
		自転車	28.7	30.5
		路線バス	20.1	19.9
		一般タクシー	10.9	12.4
		病院や施設のバス	10.5	11.2
		コミュニティバスナッシー号	9.1	13.8
	生活行動	誰かと食事をする機会が年に何度かある・ほとんどない	19.4	15.8
		物忘れが多いと感じる	44.8	46.0
		交通機関を利用して1人で外出できない	10.6	10.8
		自分で食品・日用品の買い物ができない	6.6	6.1
		自分で食事の用意ができない	8.5	9.0
		自分で請求書の支払いができない	5.5	5.2

区分	調査項目	項目	今回 (n=1,887)	前回 (n=1,920)
	心配事や愚痴を聞いてくれる人	自分で預貯金の出し入れができない	5.4	5.0
		配偶者	58.1	57.1
		友人	42.0	43.4
		別居の子ども	40.0	39.4
	看病や世話をしてくれる人	配偶者	54.4	62.7
		別居の子ども	41.7	33.6
		同居の子ども	35.8	28.7
幸福度等	健康状態	とてもよい・まあよい	76.0	74.5
	幸福感	平均	7.1	7.2
	過去1か月間の気分	気分が沈んだこと等があった	35.4	33.0
		物事に興味がわからない等があった	22.5	22.0
地域活動	会・グループへの参加率（参加していない・無回答を除く割合）	趣味関係のグループ	23.6	27.9
		町内会・自治会	22.4	28.0
		スポーツ関係のグループ	21.9	23.6
		収入のある仕事	19.8	22.1

在宅介護実態調査 調査結果

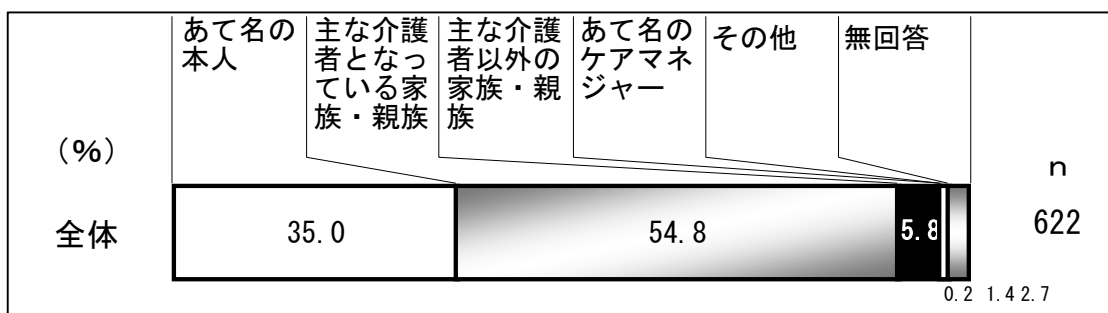
I 調査結果

1 あて名の本人について

(1) 回答者

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が 54.8%、「あて名の本人」が 35.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 5.8%、「あて名のケアマネジャー」が 0.2% となっている。

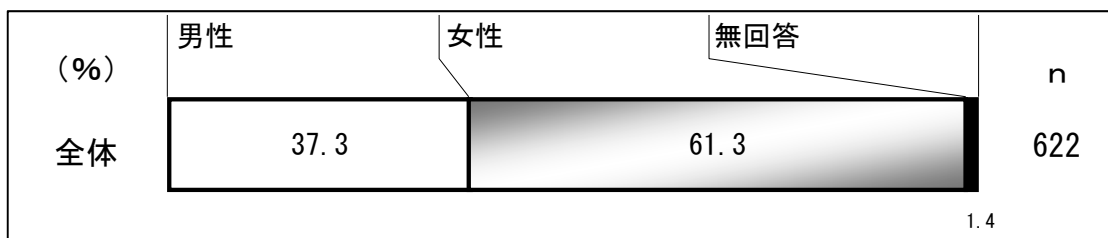
図表 回答者（全体）



(2) 性別

性別は、「女性」が 61.3%、「男性」が 37.3%となっている。

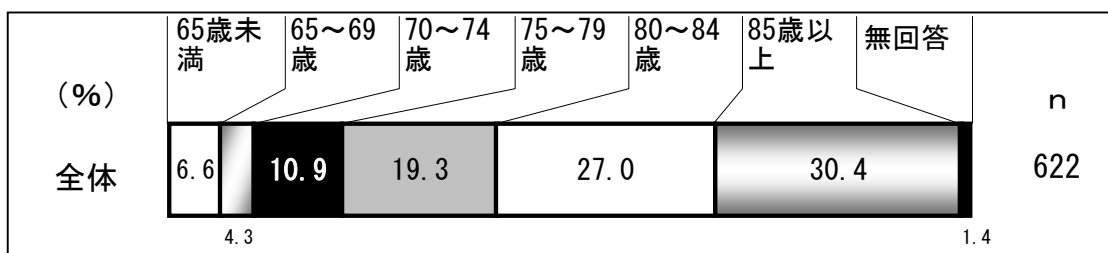
図表 性別（全体）



(3) 年齢

年齢は、「85歳以上」が 30.4%、「80～84歳」が 27.0%、「75～79歳」が 19.3%、「70～74歳」が 10.9%、「65歳未満」が 6.6%、「65～69歳」が 4.3%となっている。

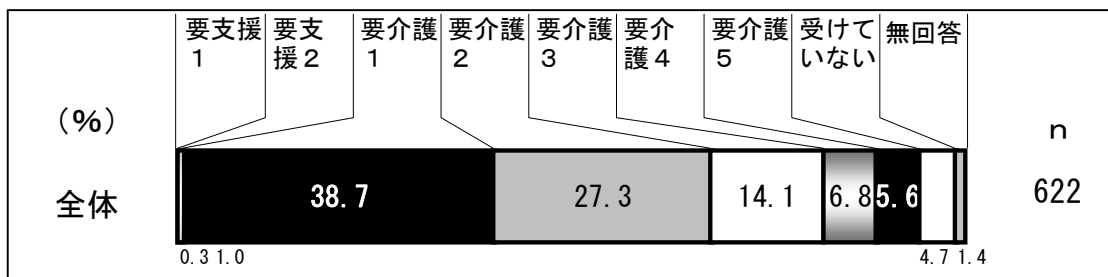
図表 年齢（全体）



(4) 認定状況

認定状況は、「要介護1」が38.7%、「要介護2」が27.3%、「要介護3」が14.1%、「要介護4」が6.8%、「要介護5」が5.6%、「受けていない」が4.7%、「要支援2」が1.0%、「要支援1」が0.3%となっている。

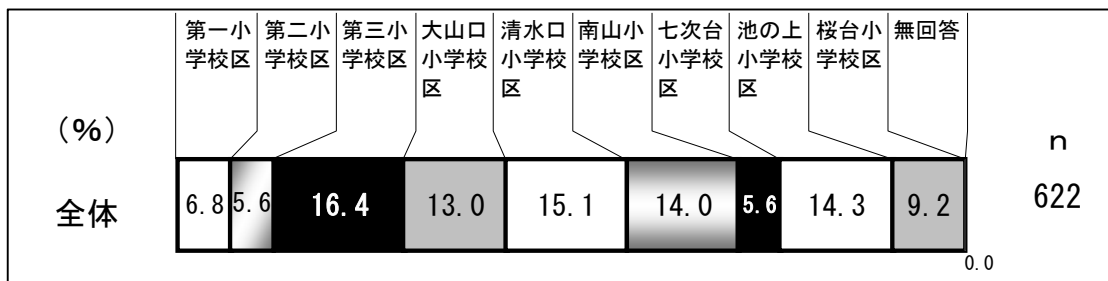
図表 認定状況（全体）



(5) 居住地区

居住地区は、「第三小学校区」が16.4%、「清水口小学校区」が15.1%、「池の上小学校区」が14.3%、「南山小学校区」が14.0%、「大山口小学校区」が13.0%、「桜台小学校区」が9.2%、「第一小学校区」が6.8%、「第二小学校区」・「七次台小学校区」が同率で5.6%となっている。

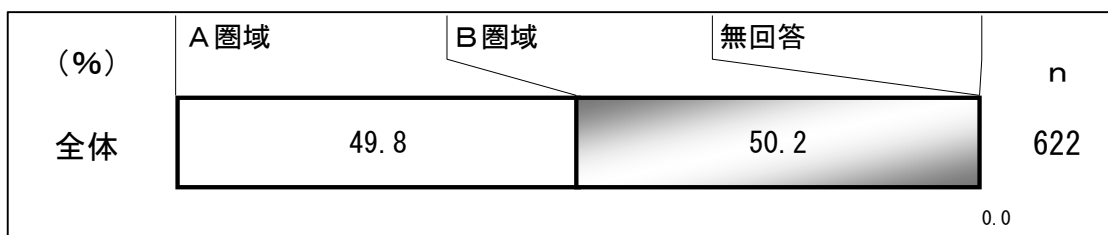
図表 居住地区（全体）



(6) 生活圏域

生活圏域は、「B圏域」が50.2%、「A圏域」が49.8%となっている。

図表 生活圏域（全体）



(7) 世帯類型

A (1) 世帯類型について、ご回答ください。

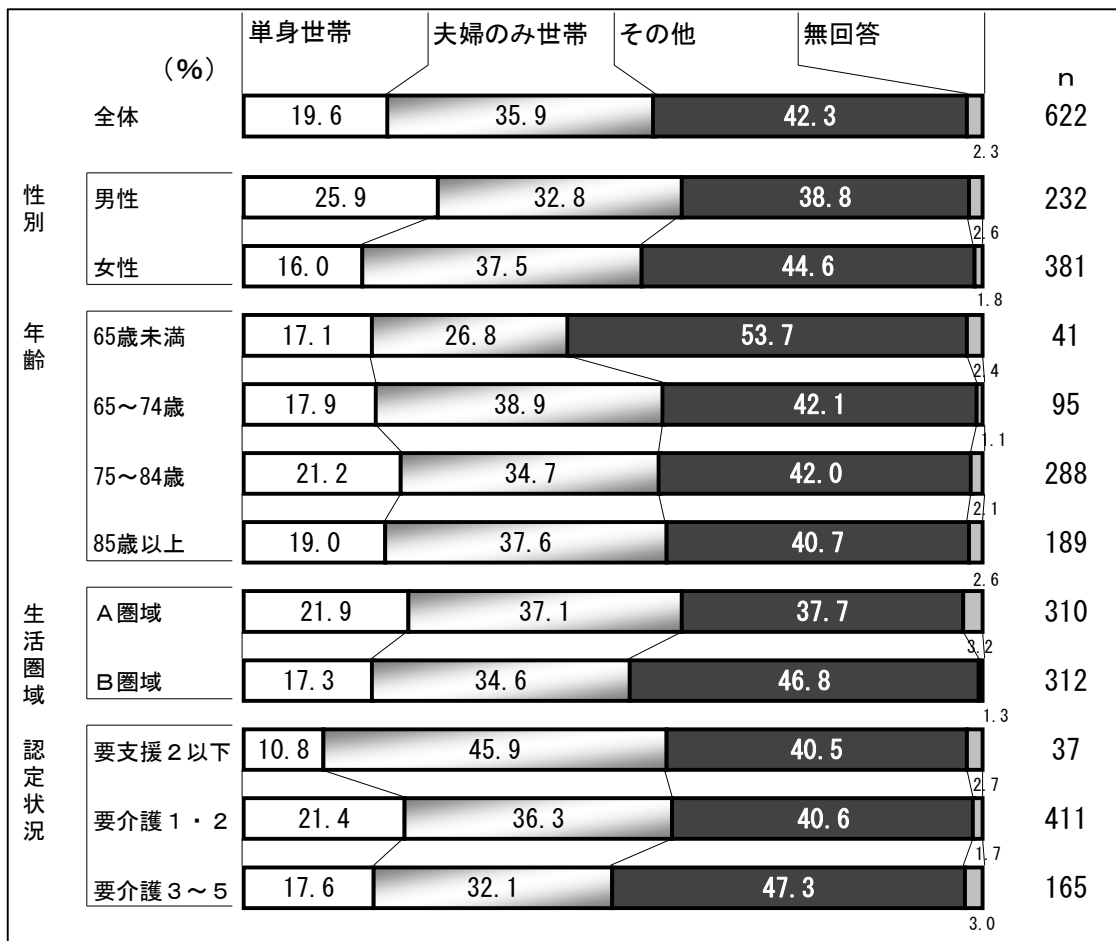
- 「夫婦のみ世帯」が4割弱、「単身世帯」が2割弱を占める。

世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が 35.9%、「単身世帯」が 19.6%、「その他」が 42.3% となっている。

性別でみると、男性では「単身世帯」が 25.9%と女性よりも高くなっている。

認定状況でみると、要支援2以下では「単身世帯」が 10.8%となっている。

図表 世帯類型（全体・属性別）



【調査結果から見える傾向】

- 夫婦のみ世帯が4割弱、単身世帯が2割弱を占めています。男性では特に単身世帯の割合が高くなっています。

(8) 住まいの形態

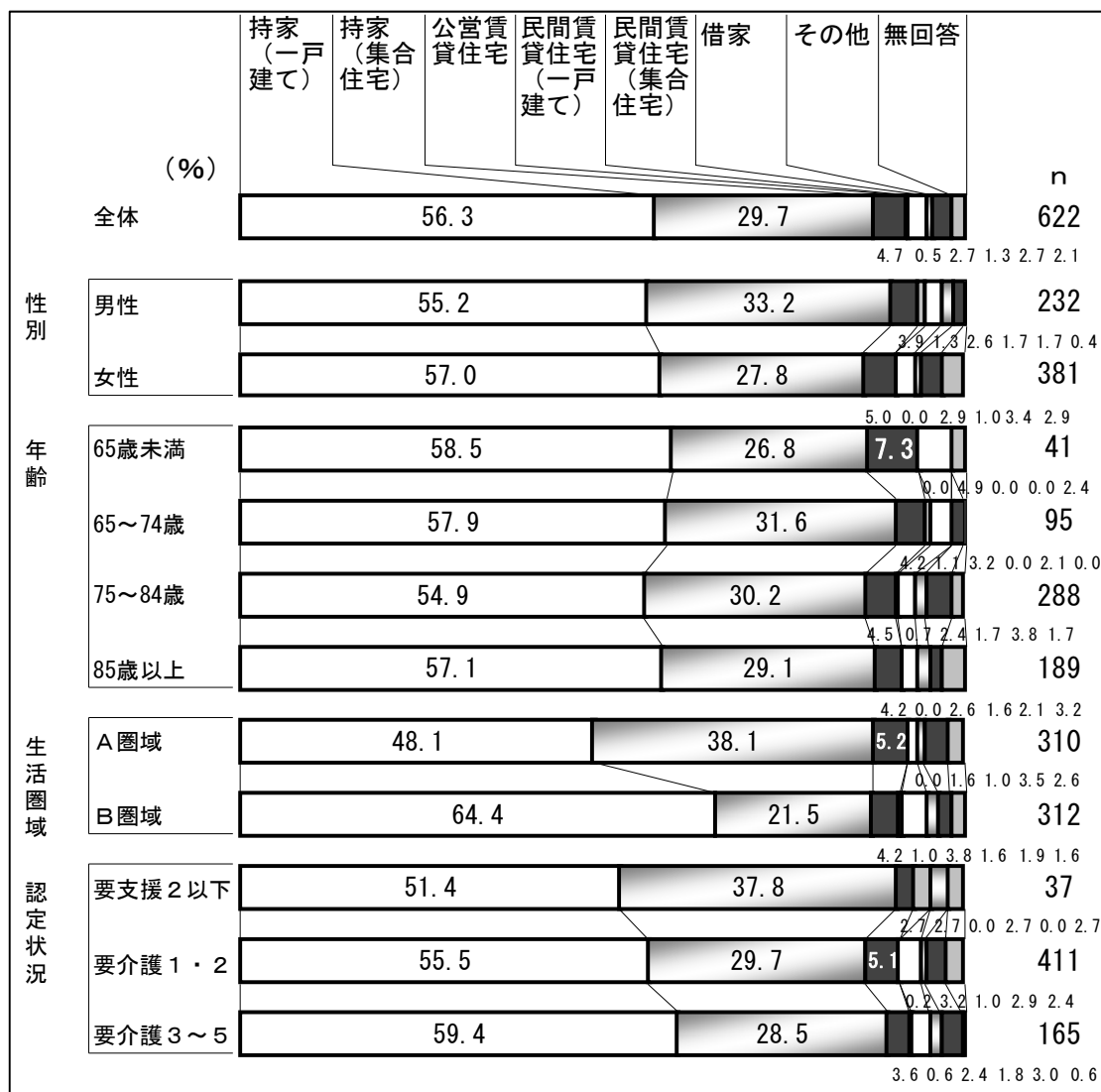
A (2) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

- 「持家（一戸建て）」が6割弱、「持家（集合住宅）」が3割弱を占める。

住まいの形態については、「持家（一戸建て）」が56.3%、「持家（集合住宅）」が29.7%、「公営賃貸住宅」が4.7%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が2.7%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.3%、「借家」が0.5%となっている。

生活圏域でみると、A圏域では「持家（集合住宅）」が38.1%とB圏域よりも高くなっている。

図表 住まいの形態（全体・属性別）



(9) 持家が将来的に空き家になる可能性

【(2) で「1.」と答えた方のみ】

A① 持家が将来的に空き家になる可能性はありますか。

- 「空き家になる可能性はない」が6割弱、「空き家になる可能性がある」が4割弱を占める。

持家が将来的に空き家になる可能性は、「空き家になる可能性はない」が 57.0%、「空き家になる可能性がある」が 36.4%となっている。

年齢でみると、75～84 歳では「空き家になる可能性が高い」が 61.2%となっている。

認定状況でみると、上昇するにつれて「空き家になる可能性はない」の割合が高くなっており、要介護3～5では 66.9%となっている。

図表 持家が将来的に空き家になる可能性（全体・属性別）

	(%)	空き家になる可能性 はない	空き家になる可能性 がある	無回答	n
全体		57.0	36.4	6.5	535
性別					
男性		53.2	40.5	6.3	205
女性		59.8	33.4	6.8	323
年齢					
65歳未満		45.7	51.4	2.9	35
65～74歳		51.8	40.0	8.2	85
75～84歳		61.2	33.9	4.9	245
85歳以上		56.4	34.4	9.2	163
生活圏域					
A圏域		53.2	39.3	7.5	267
B圏域		60.8	33.6	5.6	268
認定状況					
要支援2以下		48.5	45.5	6.1	33
要介護1・2		54.0	38.6	7.4	350
要介護3～5		66.9	28.3	4.8	145

(10) 持家の将来について相談できる人

【①で「2.」と答えた方のみ】

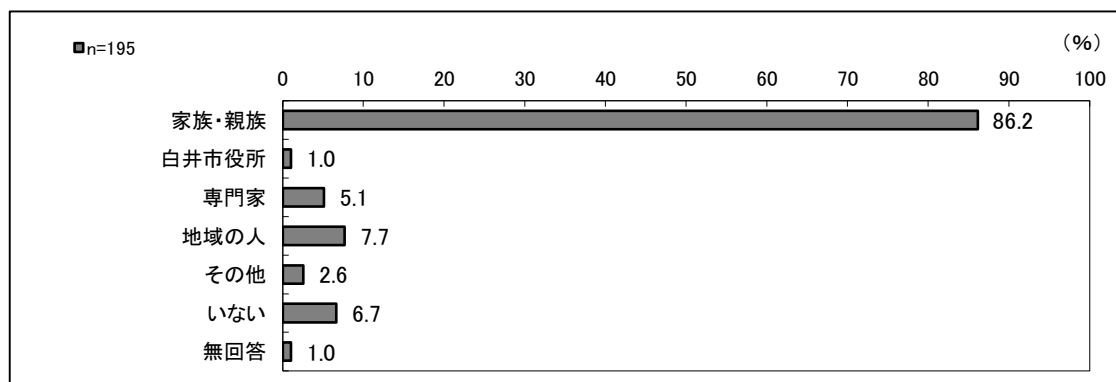
A② 持家の将来について相談できる人は誰ですか。【複数回答】

- 「家族・親族」が第1位。

持家の将来について相談できる人については、「家族・親族」(86.2%)が最も多く、次いで「白井市役所」(7.7%)、「専門家」(5.1%)、「地域の人」(1.0%)などとなっている。なお、「いない」は6.7%となっている。

いずれの属性でも「家族・親族」が第1位となっている。

図表 持家の将来について相談できる人（全体／複数回答）



図表 持家の将来について相談できる人（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(2) ② 持家の将来について相談できる人							
			家族・ 親族	地域の 人	専門家	白井市 役所	その他	いない	無回答	
全体		195 100.0%	168 86.2%	2 1.0%	10 5.1%	15 7.7%	5 2.6%	13 6.7%	2 1.0%	427
性別	男性	83 100.0%	75 90.4%	1 1.2%	7 8.4%	7 8.4%	1 1.2%	1 1.2%	1 1.2%	149
	女性	108 100.0%	90 83.3%	0 0.0%	3 2.8%	7 6.5%	4 3.7%	12 11.1%	1 0.9%	273
年齢	65歳未満	18 100.0%	16 88.9%	0 0.0%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	23
	65～74歳	34 100.0%	30 88.2%	0 0.0%	6 17.6%	0 0.0%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	61
	75～84歳	83 100.0%	72 86.7%	0 0.0%	2 2.4%	4 4.8%	1 1.2%	7 8.4%	0 0.0%	205
	85歳以上	56 100.0%	47 83.9%	1 1.8%	0 0.0%	5 8.9%	3 5.4%	2 3.6%	1 1.8%	133
生活 圏域	A圏域	105 100.0%	93 88.6%	1 1.0%	6 5.7%	9 8.6%	2 1.9%	5 4.8%	1 1.0%	205
	B圏域	90 100.0%	75 83.3%	1 1.1%	4 4.4%	6 6.7%	3 3.3%	8 8.9%	1 1.1%	222
認定 状況	要支援2以下	15 100.0%	13 86.7%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22
	要介護1・2	135 100.0%	119 88.1%	0 0.0%	8 5.9%	7 5.2%	5 3.7%	11 8.1%	2 1.5%	276
	要介護3～5	41 100.0%	33 80.5%	1 2.4%	1 2.4%	5 12.2%	0 0.0%	2 4.9%	0 0.0%	124

(11) 空き家になることで不安なこと

【①で「2.」と答えた方のみ】

A③ 空き家になることについて、どのような不安がありますか。【複数回答】



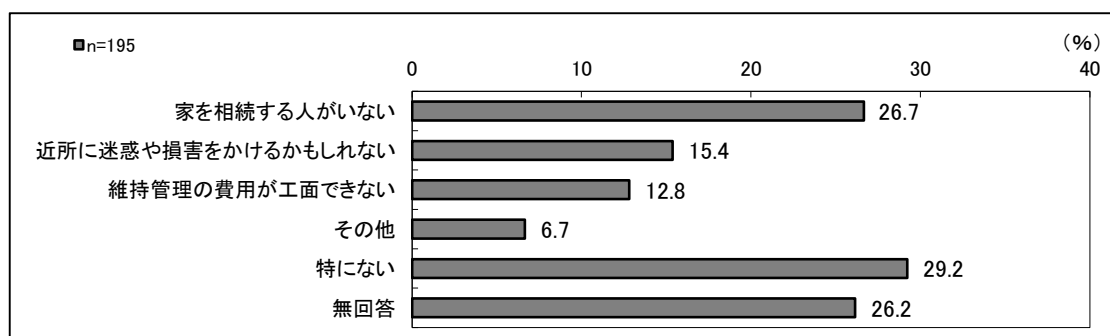
- 「特にない」が 29.2%を占める。

空き家になることで不安なことについては、「家を相続する人がいない」(26.7%)が最も多く、次いで「近所に迷惑や損害をかけるかもしれない」(15.4%)、「維持管理の費用が工面できない」(12.8%)などとなっている。なお、「特にない」は 29.2%となっている。

性別でみると、女性では「家を相続する人がいない」が第1位となっている。

生活圏域でみると、B圏域では「家を相続する人がいない」が第1位となっている。

図表 空き家になることで不安なこと（全体／複数回答）



図表 空き家になることで不安なこと（全体・属性別第1位／複数回答）

		合計	A(2) ③ 空き家になることで不安なこと						非該当
			家を相 続する 人がい ない	近所に迷 惑や損害 をかける かもしれ ない	維持管理 の費用が 工面でき ない	その他	特にな い	無回答	
全体		195 100.0%	52 26.7%	30 15.4%	25 12.8%	13 6.7%	57 29.2%	51 26.2%	427
性別	男性	83 100.0%	16 19.3%	11 13.3%	10 12.0%	8 9.6%	24 28.9%	28 33.7%	149
	女性	108 100.0%	35 32.4%	17 15.7%	14 13.0%	5 4.6%	31 28.7%	23 21.3%	273
年齢	65歳未満	18 100.0%	6 33.3%	1 5.6%	4 22.2%	0 0.0%	6 33.3%	3 16.7%	23
	65～74歳	34 100.0%	9 26.5%	7 20.6%	5 14.7%	0 0.0%	10 29.4%	9 26.5%	61
	75～84歳	83 100.0%	18 21.7%	11 13.3%	8 9.6%	7 8.4%	27 32.5%	24 28.9%	205
	85歳以上	56 100.0%	18 32.1%	9 16.1%	7 12.5%	6 10.7%	12 21.4%	15 26.8%	133
生活 圏域	A圏域	105 100.0%	28 26.7%	11 10.5%	13 12.4%	5 4.8%	34 32.4%	27 25.7%	205
	B圏域	90 100.0%	24 26.7%	19 21.1%	12 13.3%	8 8.9%	23 25.6%	24 26.7%	222
認定 状況	要支援 2 以下	15 100.0%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	5 33.3%	22
	要介護 1 ・ 2	135 100.0%	36 26.7%	19 14.1%	17 12.6%	8 5.9%	38 28.1%	38 28.1%	276
	要介護 3 ～ 5	41 100.0%	10 24.4%	8 19.5%	6 14.6%	5 12.2%	14 34.1%	8 19.5%	124

(12) 住まいの階層とエレベータの状況

A（3）お住まい（主に生活する部屋）の階層、エレベータの状況をお答えください。

- 「1階」が5割弱、「2階以上でエレベータなし」が2割強を占める。

住まいの階層とエレベータの状況については、「1階」が49.2%、「2階以上でエレベータなし」が24.4%、「2階以上でエレベータが止まる」が14.8%、「2階以上でエレベータがあるが止まらない階」が1.9%となっている。

年齢でみると、65歳未満では「1階」が58.5%となっている。

生活圏域でみると、B圏域では「2階以上でエレベータが止まる」が8.7%となっている。

図表 住まいの階層とエレベータの状況（全体・属性別）

		1階	2階以上で エレベータ なし	2階以上で エレベータ が止まる	2階以上で エレベータがあ るが止まら ない	無回答	n
	(%)						
	全体	49.2	24.4	14.8	1.9	9.6	622
性別	男性	47.4	28.0	12.9	1.7	9.9	232
	女性	50.1	22.3	16.0	2.1	9.4	381
年齢	65歳未満	58.5	17.1	17.1	0.0	7.3	41
	65～74歳	46.3	22.1	16.8	5.3	9.5	95
	75～84歳	51.0	23.3	14.6	1.7	9.4	288
	85歳以上	45.5	29.1	13.8	1.7	10.6	189
生活圏域	A圏域	48.1	21.0	21.0	1.1	7.1	310
	B圏域	50.3	27.9	8.7	2.9	12.2	312
認定状況	要支援2以下	51.4	29.7	13.5	1.0	5.4	37
	要介護1・2	46.5	25.5	14.6	0.0	10.9	411
	要介護3～5	55.2	20.6	15.8	2.4	7.3	165

(13) 施設などへの入所・入居の検討状況

A (4) 現時点での、施設など※への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

- 「入所・入居は検討していない」が7割弱、「入所・入居を検討している」が2割弱を占める。

施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.4%、「入所・入居を検討している」が18.0%、「すでに申し込みをしている」が7.1%となっている。

いずれの属性でも「入所・入居を検討している」が2割前後を占めている。

図表 施設等への入所・入居の検討状況（全体・属性別）

	(%)	入所・入居は 検討していな い	入所・入居を 検討している	すでに申し込 みをしている	無回答	n
全体		67.4	18.0	7.1	7.6	622
性別						
男性		68.5	19.0	6.5	6.0	232
女性		66.9	17.1	7.6	8.4	381
年齢						
65歳未満		61.0	22.0	9.8	7.3	41
65～74歳		66.3	15.8	8.4	9.5	95
75～84歳		69.4	17.0	6.3	7.3	288
85歳以上		66.7	19.0	7.4	6.9	189
生活圏域						
A圏域		65.5	19.4	10.0	5.2	310
B圏域		69.2	16.7	4.2	9.9	312
認定状況						
要支援2以下		64.9	21.6	5.4	8.1	37
要介護1・2		67.4	18.2	6.6	7.8	411
要介護3～5		68.5	15.8	9.1	6.7	165

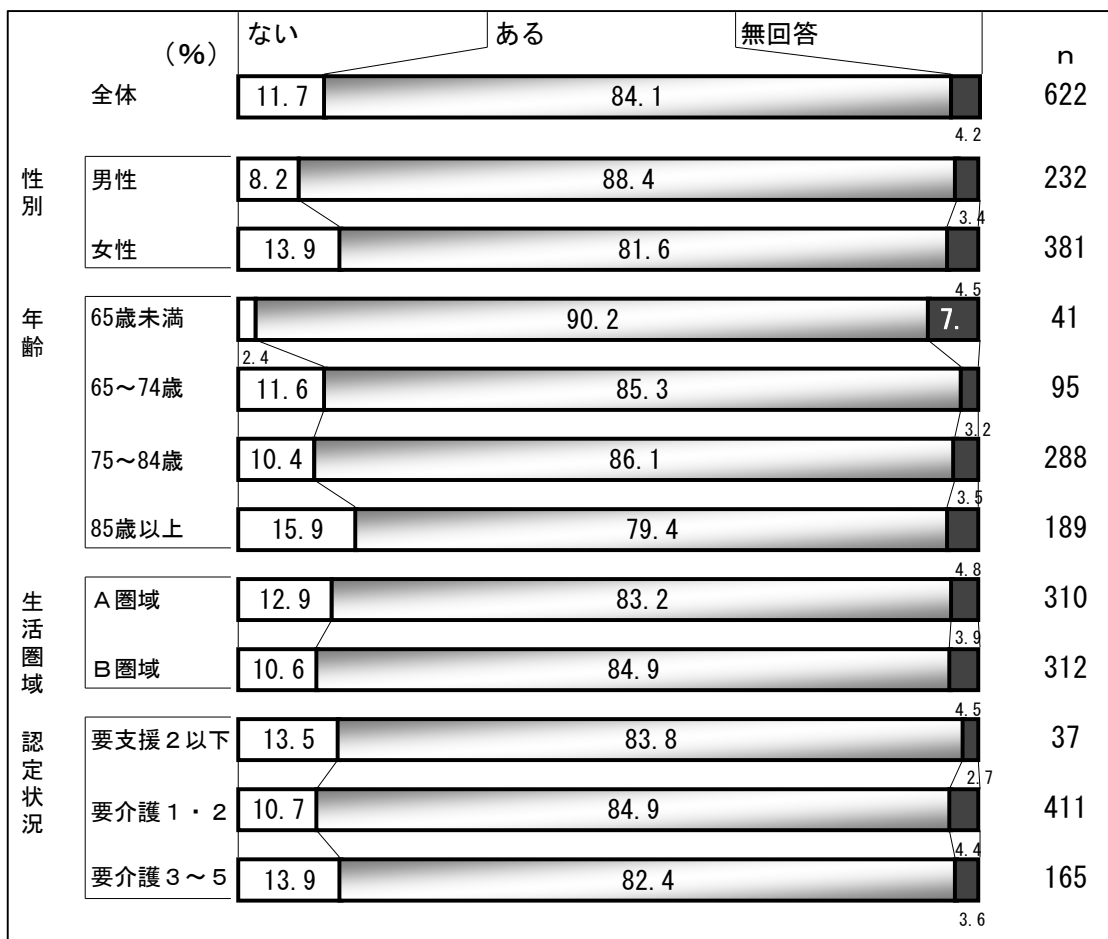
(14) 外出の機会

A (5) 外出の機会がありますか。

- 「ある」が8割強、「ない」が1割強を占める。

外出の機会については、「ある」が84.1%、「ない」が11.7%となっている。
性別でみると、女性では「ない」が13.9%と男性よりも高くなっている。
年齢でみると、65歳以上では「ない」が1割以上を占めている。

図表 外出の機会（全体・属性別）



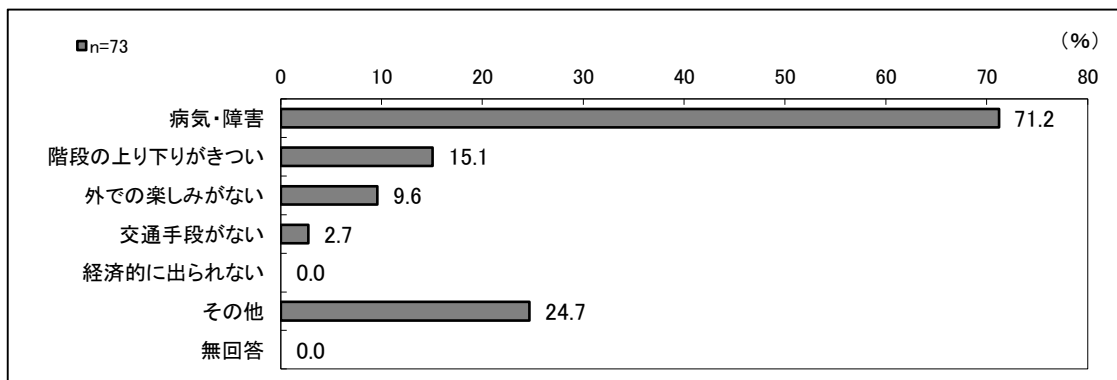
(15) 外出をしていない理由

【(5) で「1. ない」の方のみ】
 A① 外出をしていない理由は、次のどれですか。【複数回答】

- 「病気・障害」が第1位となっている。

外出をしていない理由については、「病気・障害」(71.2%)が最も多く、次いで「階段の上り下りがきつい」(15.1%)、「外での楽しみがない」(9.6%)、「交通手段がない」(2.7%)などとなっている。なお、「経済的に出られない」は回答なしとなっている。

図表 外出をしていない理由（全体／複数回答）



図表 外出をしていない理由（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(5) ① 外出をしていない理由							無回答	非該当
			病気・障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	階段の上り下りがきつい	その他			
全体		73 100.0%	52 71.2%	7 9.6%	0 0.0%	2 2.7%	11 15.1%	18 24.7%	0 0.0%	549	
性別	男性	19 100.0%	14 73.7%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%	213	
	女性	53 100.0%	37 69.8%	3 5.7%	0 0.0%	2 3.8%	8 15.1%	14 26.4%	0 0.0%	328	
年齢	65歳未満	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	40	
	65～74歳	11 100.0%	7 63.6%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%	84	
	75～84歳	30 100.0%	19 63.3%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	4 13.3%	11 36.7%	0 0.0%	258	
	85歳以上	30 100.0%	24 80.0%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%	4 13.3%	0 0.0%	159	
生活圏域	A圏域	40 100.0%	29 72.5%	6 15.0%	0 0.0%	2 5.0%	4 10.0%	8 20.0%	0 0.0%	270	
	B圏域	33 100.0%	23 69.7%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 21.2%	10 30.3%	0 0.0%	279	
認定状況	要支援2以下	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	32	
	要介護1・2	44 100.0%	29 65.9%	6 13.6%	0 0.0%	1 2.3%	7 15.9%	13 29.5%	0 0.0%	367	
	要介護3～5	23 100.0%	17 73.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	3 13.0%	5 21.7%	0 0.0%	142	

(16) 外出する際の移動手段

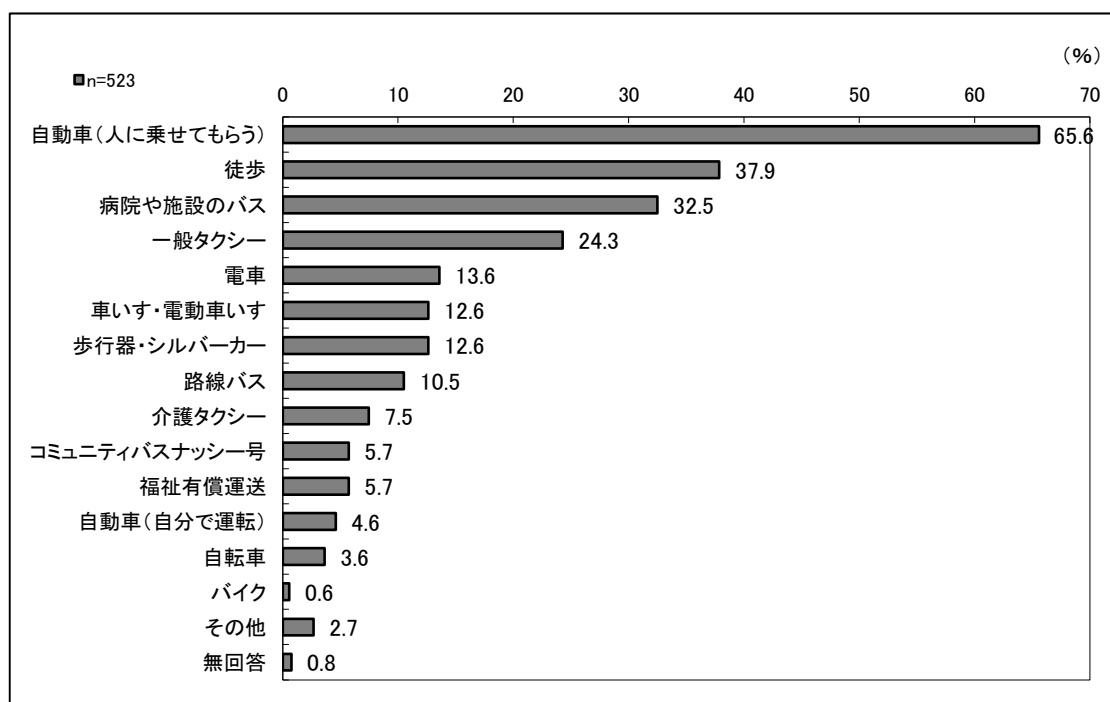
【(5) で「2. ある」の方のみ】
A② 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

- 「自動車（人に乗せてもらう）」が第1位。「徒歩」、「病院や施設のバス」などが続く。

外出する際の移動手段については、「自動車（人に乗せてもらう）」（65.6%）が最も多く、次いで「徒歩」（37.9%）、「病院や施設のバス」（32.5%）、「一般タクシー」（24.3%）、「電車」（13.6%）、「車いす・電動車いす」・「歩行器・シルバーカー」（同率12.6%）、「路線バス」（10.5%）、「介護タクシー」（7.5%）、「コミュニティバスナツシー号」・「福祉有償運送」（同率5.7%）、「自動車（自分で運転）」（4.6%）、「自転車」（3.6%）、「バイク」（0.6%）などとなっている。

いずれの属性でも「自動車（人に乗せてもらう）」が第1位となっている。

図表 外出する際の移動手段（全体／複数回答）



図表 外出する際の移動手段（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(5) ② 外出をする際の移動手段								
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バ ス	コミュニ ティバス ナンバー 号	病院や 施設の バス
全体		523	198	19	3	24	343	71	55	30	170
		100.0%	37.9%	3.6%	0.6%	4.6%	65.6%	13.6%	10.5%	5.7%	32.5%
性別	男性	205	65	6	0	8	128	32	25	13	68
		100.0%	31.7%	2.9%	0.0%	3.9%	62.4%	15.6%	12.2%	6.3%	33.2%
	女性	311	132	13	3	16	211	39	30	17	100
		100.0%	42.4%	4.2%	1.0%	5.1%	67.8%	12.5%	9.6%	5.5%	32.2%
年齢	65歳未満	37	15	2	1	1	26	6	7	1	15
		100.0%	40.5%	5.4%	2.7%	2.7%	70.3%	16.2%	18.9%	2.7%	40.5%
	65～74歳	81	28	1	0	2	58	13	8	5	33
		100.0%	34.6%	1.2%	0.0%	2.5%	71.6%	16.0%	9.9%	6.2%	40.7%
	75～84歳	248	91	10	0	13	160	30	26	16	68
		100.0%	36.7%	4.0%	0.0%	5.2%	64.5%	12.1%	10.5%	6.5%	27.4%
	85歳以上	150	63	6	2	8	95	22	14	8	52
		100.0%	42.0%	4.0%	1.3%	5.3%	63.3%	14.7%	9.3%	5.3%	34.7%
生活 圏域	A圏域	258	103	5	2	9	163	36	26	11	90
		100.0%	39.9%	1.9%	0.8%	3.5%	63.2%	14.0%	10.1%	4.3%	34.9%
	B圏域	265	95	14	1	15	180	35	29	19	80
		100.0%	35.8%	5.3%	0.4%	5.7%	67.9%	13.2%	10.9%	7.2%	30.2%
認定 状況	要支援2以下	31	11	3	1	2	20	5	3	2	11
		100.0%	35.5%	9.7%	3.2%	6.5%	64.5%	16.1%	9.7%	6.5%	35.5%
	要介護1・2	349	152	13	2	18	226	54	45	22	113
		100.0%	43.6%	3.7%	0.6%	5.2%	64.8%	15.5%	12.9%	6.3%	32.4%
	要介護3～5	136	34	3	0	4	93	12	7	6	44
		100.0%	25.0%	2.2%	0.0%	2.9%	68.4%	8.8%	5.1%	4.4%	32.4%

		合計	A(5) ② 外出をする際の移動手段							
			車いす・ 電動車い す	歩行器・ シルバー カー	一般タ クシー	介護タ クシー	福祉有 償運送	その他	無回答	非該当
全体		523 100.0%	66 12.6%	66 12.6%	127 24.3%	39 7.5%	30 5.7%	14 2.7%	4 0.8%	99
性別	男性	205 100.0%	25 12.2%	22 10.7%	56 27.3%	17 8.3%	14 6.8%	7 3.4%	1 0.5%	27
	女性	311 100.0%	39 12.5%	44 14.1%	70 22.5%	22 7.1%	16 5.1%	7 2.3%	2 0.6%	70
年齢	65歳未満	37 100.0%	6 16.2%	8 21.6%	10 27.0%	2 5.4%	2 5.4%	1 2.7%	0 0.0%	4
	65～74歳	81 100.0%	9 11.1%	11 13.6%	25 30.9%	6 7.4%	6 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	14
	75～84歳	248 100.0%	32 12.9%	25 10.1%	56 22.6%	20 8.1%	16 6.5%	8 3.2%	2 0.8%	40
	85歳以上	150 100.0%	17 11.3%	22 14.7%	35 23.3%	11 7.3%	6 4.0%	5 3.3%	1 0.7%	39
生活 圏域	A圏域	258 100.0%	41 15.9%	35 13.6%	49 19.0%	19 7.4%	15 5.8%	7 2.7%	4 1.6%	52
	B圏域	265 100.0%	25 9.4%	31 11.7%	78 29.4%	20 7.5%	15 5.7%	7 2.6%	0 0.0%	47
認定 状況	要支援2以下	31 100.0%	5 16.1%	4 12.9%	5 16.1%	5 16.1%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	6
	要介護1・2	349 100.0%	31 8.9%	38 10.9%	91 26.1%	18 5.2%	21 6.0%	9 2.6%	3 0.9%	62
	要介護3～5	136 100.0%	28 20.6%	24 17.6%	30 22.1%	16 11.8%	8 5.9%	5 3.7%	0 0.0%	29

(17) 外出の目的

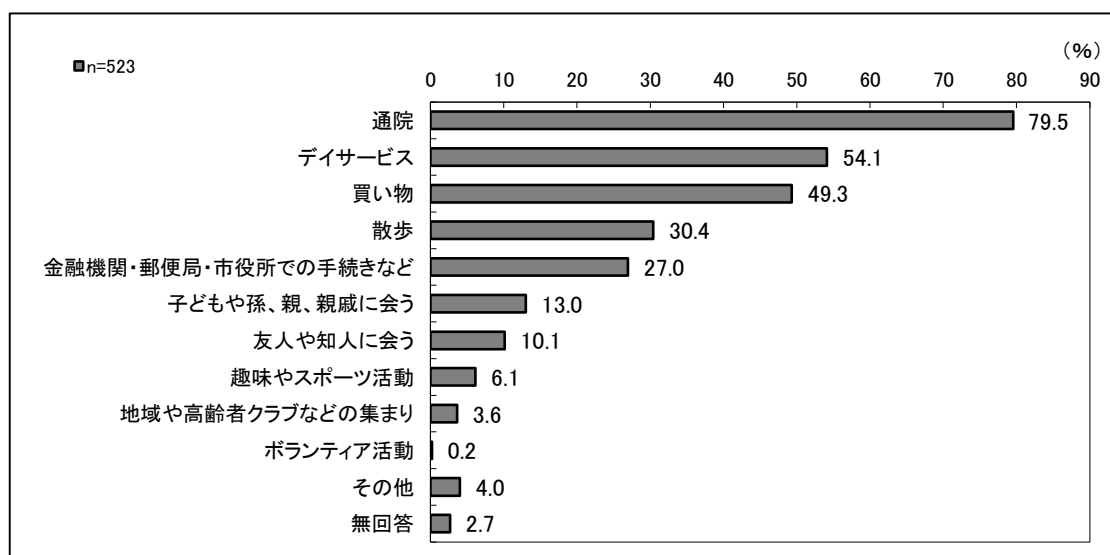
【(5)で「2. ある」の方のみ】
 ③ 外出の目的は何ですか。【複数回答】

- 「通院」が第1位。「デイサービス」、「買い物」などが続く。

外出の目的については、「通院」（79.5%）が最も多く、次いで「デイサービス」（54.1%）、「買い物」（49.3%）、「散歩」（30.4%）、「金融機関・郵便局・市役所での手続きなど」（27.0%）、「子どもや孫、親、親戚に会う」（13.0%）、「友人や知人に会う」（10.1%）、「趣味やスポーツ活動」（6.1%）、「地域や高齢者クラブなどの集まり」（3.6%）、「ボランティア活動」（0.2%）などとなっている。

いずれの属性でも「通院」が第1位となっている。

図表 外出の目的（全体／複数回答）



図表 外出の目的（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(5) ③ 外出の目的									
			子どもや孫、親、親戚に会う	友人や知人に会う	買い物	散歩	通院	趣味やスポーツ活動	地域や高齢者クラブなどの集まり	ボランティア活動	金融機関・郵便局・市役所での手続きなど	
全体		523 100.0%	68 13.0%	53 10.1%	258 49.3%	159 30.4%	416 79.5%	32 6.1%	19 3.6%	1 0.2%	141 27.0%	
性別	男性	205 100.0%	24 11.7%	25 12.2%	94 45.9%	51 24.9%	172 83.9%	13 6.3%	7 3.4%	0 0.0%	58 28.3%	
	女性	311 100.0%	44 14.1%	27 8.7%	163 52.4%	106 34.1%	238 76.5%	19 6.1%	12 3.9%	1 0.3%	83 26.7%	
年齢	65歳未満	37 100.0%	6 16.2%	6 16.2%	18 48.6%	13 35.1%	32 86.5%	4 10.8%	2 5.4%	0 0.0%	14 37.8%	
	65～74歳	81 100.0%	17 21.0%	12 14.8%	46 56.8%	24 29.6%	66 81.5%	7 8.6%	4 4.9%	0 0.0%	30 37.0%	
	75～84歳	248 100.0%	27 10.9%	20 8.1%	120 48.4%	68 27.4%	198 79.8%	12 4.8%	9 3.6%	0 0.0%	53 21.4%	
	85歳以上	150 100.0%	18 12.0%	14 9.3%	73 48.7%	52 34.7%	114 76.0%	9 6.0%	4 2.7%	1 0.7%	44 29.3%	
生活圏域	A圏域	258 100.0%	35 13.6%	27 10.5%	121 46.9%	74 28.7%	204 79.1%	19 7.4%	10 3.9%	0 0.0%	69 26.7%	
	B圏域	265 100.0%	33 12.5%	26 9.8%	137 51.7%	85 32.1%	212 80.0%	13 4.9%	9 3.4%	1 0.4%	72 27.2%	
認定状況	要支援2以下	31 100.0%	0 0.0%	2 6.5%	15 48.4%	9 29.0%	27 87.1%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	8 25.8%	
	要介護1・2	349 100.0%	49 14.0%	41 11.7%	177 50.7%	114 32.7%	269 77.1%	20 5.7%	14 4.0%	1 0.3%	103 29.5%	
	要介護3～5	136 100.0%	19 14.0%	9 6.6%	65 47.8%	34 25.0%	114 83.8%	11 8.1%	5 3.7%	0 0.0%	30 22.1%	

		合計	A(5) ③ 外出の目的			
			ディサービス	その他	無回答	非該当
全体		523 100.0%	283 54.1%	21 4.0%	14 2.7%	99
性別	男性	205 100.0%	105 51.2%	9 4.4%	6 2.9%	27
	女性	311 100.0%	174 55.9%	12 3.9%	7 2.3%	70
年齢	65歳未満	37 100.0%	19 51.4%	0 0.0%	0 0.0%	4
	65～74歳	81 100.0%	45 55.6%	2 2.5%	3 3.7%	14
	75～84歳	248 100.0%	129 52.0%	12 4.8%	6 2.4%	40
	85歳以上	150 100.0%	86 57.3%	7 4.7%	4 2.7%	39
生活圏域	A圏域	258 100.0%	137 53.1%	16 6.2%	7 2.7%	52
	B圏域	265 100.0%	146 55.1%	5 1.9%	7 2.6%	47
認定状況	要支援2以下	31 100.0%	15 48.4%	0 0.0%	0 0.0%	6
	要介護1・2	349 100.0%	189 54.2%	19 5.4%	11 3.2%	62
	要介護3～5	136 100.0%	75 55.1%	2 1.5%	2 1.5%	29

(18) 普段使用している情報機器

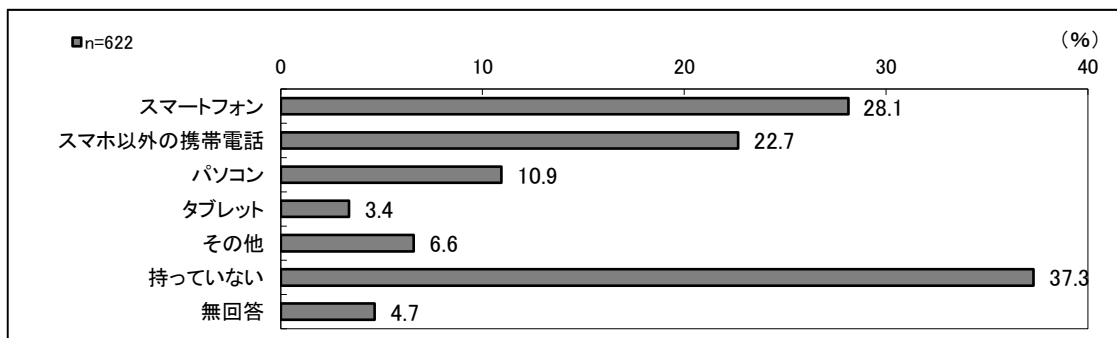
A (6) 以下のうち、ご本人様（調査対象者様）が普段お使いの情報機器をお答えください。【複数回答】

- 「持っていない」は 37.3%を占める。

普段使用している情報機器については、「スマートフォン」(28.1%)が最も多く、次いで「スマホ以外の携帯電話」(22.7%)、「パソコン」(10.9%)、「タブレット」(3.4%)などとなっている。なお、「持っていない」は 37.3%となっている。

年齢でみると、65 歳未満では「スマホ以外の携帯電話」が第 1 位となっている。

図表 普段使用している情報機器（全体／複数回答）



図表 普段使用している情報機器（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(6) 普段使用している情報機器						
			パソコン	スマートフォン	タブレット	スマホ以外の携帯電話	その他	持っていない	無回答
全体		622 100.0%	68 10.9%	175 28.1%	21 3.4%	141 22.7%	41 6.6%	232 37.3%	29 4.7%
性別	男性	232 100.0%	23 9.9%	68 29.3%	9 3.9%	55 23.7%	17 7.3%	84 36.2%	9 3.9%
	女性	381 100.0%	43 11.3%	105 27.6%	12 3.1%	83 21.8%	24 6.3%	145 38.1%	20 5.2%
年齢	65歳未満	41 100.0%	4 9.8%	10 24.4%	0 0.0%	15 36.6%	1 2.4%	13 31.7%	2 4.9%
	65～74歳	95 100.0%	10 10.5%	31 32.6%	8 8.4%	22 23.2%	9 9.5%	33 34.7%	2 2.1%
	75～84歳	288 100.0%	31 10.8%	79 27.4%	7 2.4%	71 24.7%	16 5.6%	107 37.2%	15 5.2%
	85歳以上	189 100.0%	21 11.1%	53 28.0%	6 3.2%	30 15.9%	15 7.9%	76 40.2%	10 5.3%
生活圏域	A圏域	310 100.0%	40 12.9%	93 30.0%	11 3.5%	63 20.3%	22 7.1%	118 38.1%	10 3.2%
	B圏域	312 100.0%	28 9.0%	82 26.3%	10 3.2%	78 25.0%	19 6.1%	114 36.5%	19 6.1%
認定状況	要支援2以下	37 100.0%	2 5.4%	11 29.7%	2 5.4%	6 16.2%	4 10.8%	17 45.9%	0 0.0%
	要介護1・2	411 100.0%	49 11.9%	115 28.0%	15 3.6%	100 24.3%	23 5.6%	148 36.0%	19 4.6%
	要介護3～5	165 100.0%	15 9.1%	47 28.5%	4 2.4%	32 19.4%	14 8.5%	64 38.8%	10 6.1%

(19) 普段利用している SNS 等

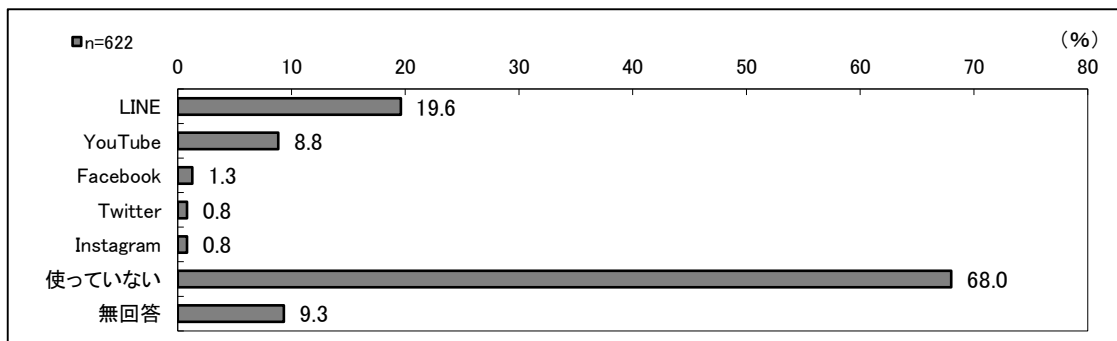
A (7) 以下のうち、あなたが普段お使いの SNS などをお答えください。【複数回答】



- 「使っていない」が 68.0%を占める。

普段利用している SNS 等については、「LINE」(19.6%) が最も多く、次いで「YouTube」(8.8%)、「Facebook」(1.3%)、「Twitter」(0.8%)、「Instagram」(0.8%) などとなっている。なお、「使っていない」は 68.0%となっている。

図表 普段利用している SNS 等（全体／複数回答）



図表 普段利用している SNS 等（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(7) 普段使用しているSNS等						無回答
			LINE	Twitter	Facebook	YouTube	Instagram	使っていない	
全体		622 100.0%	122 19.6%	5 0.8%	8 1.3%	55 8.8%	5 0.8%	423 68.0%	58 9.3%
性別	男性	232 100.0%	49 21.1%	2 0.9%	3 1.3%	19 8.2%	4 1.7%	153 65.9%	20 8.6%
	女性	381 100.0%	72 18.9%	2 0.5%	5 1.3%	34 8.9%	1 0.3%	263 69.0%	38 10.0%
年齢	65歳未満	41 100.0%	6 14.6%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.3%	1 2.4%	32 78.0%	2 4.9%
	65～74歳	95 100.0%	23 24.2%	0 0.0%	1 1.1%	11 11.6%	0 0.0%	57 60.0%	10 10.5%
	75～84歳	288 100.0%	54 18.8%	1 0.3%	3 1.0%	23 8.0%	3 1.0%	195 67.7%	31 10.8%
	85歳以上	189 100.0%	38 20.1%	2 1.1%	4 2.1%	16 8.5%	1 0.5%	132 69.8%	15 7.9%
生活 圏域	A圏域	310 100.0%	58 18.7%	1 0.3%	5 1.6%	25 8.1%	0 0.0%	208 67.1%	35 11.3%
	B圏域	312 100.0%	64 20.5%	4 1.3%	3 1.0%	30 9.6%	5 1.6%	215 68.9%	23 7.4%
認定 状況	要支援2以下	37 100.0%	8 21.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.1%	0 0.0%	23 62.2%	4 10.8%
	要介護1・2	411 100.0%	80 19.5%	3 0.7%	6 1.5%	37 9.0%	4 1.0%	276 67.2%	41 10.0%
	要介護3～5	165 100.0%	33 20.0%	1 0.6%	2 1.2%	13 7.9%	1 0.6%	117 70.9%	13 7.9%

(20) 成年後見制度について知っているか

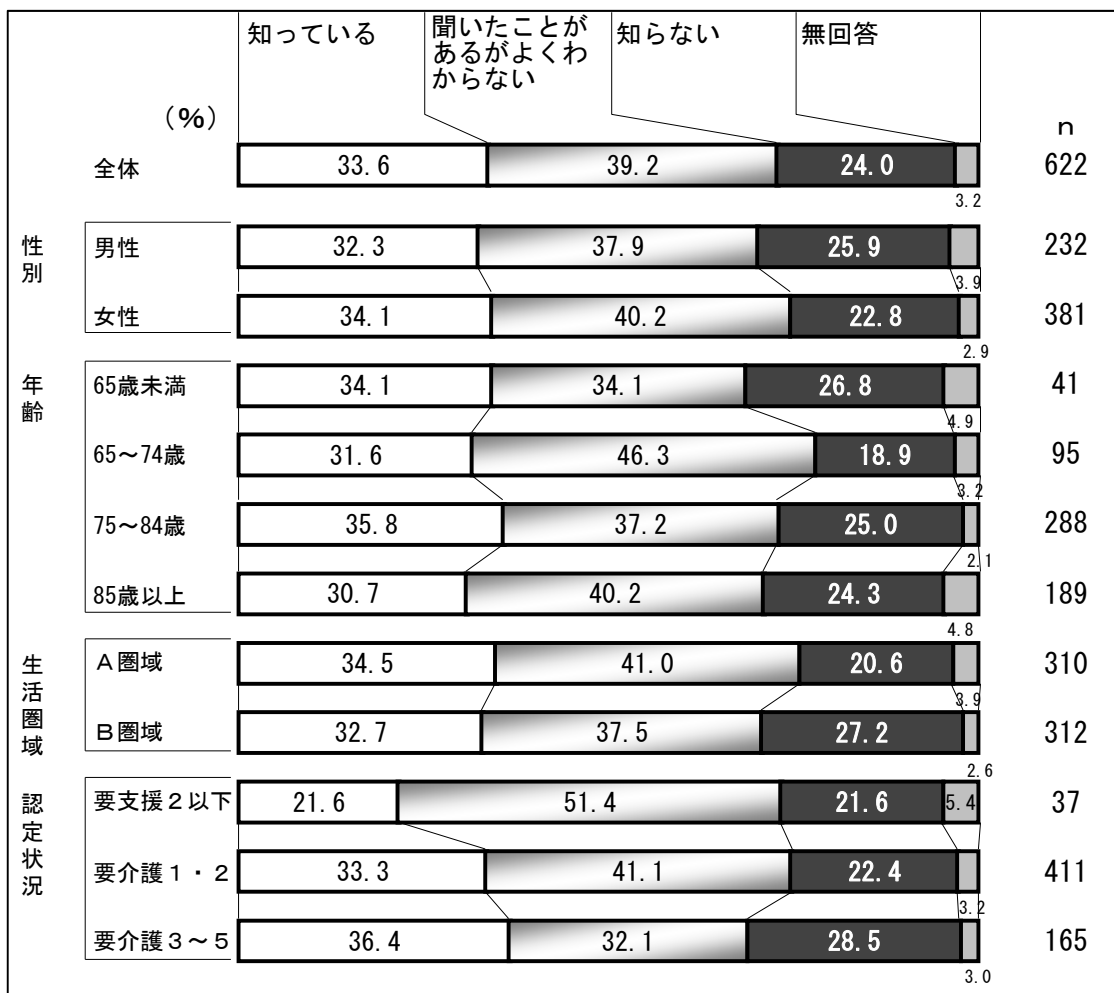
A (8) 成年後見制度について知っていますか。

- 「聞いたことがあるがよくわからない」が4割弱、「知っている」が3割強を占める。

成年後見制度について知っているかについては、「聞いたことがあるがよくわからない」が39.2%、「知っている」が33.6%、「知らない」が24.0%となっている。

認定状況でみると、要支援2以下では「聞いたことがあるがよくわからない」が51.4%となっている。

図表 成年後見制度について知っているか（全体・属性別）



(21) 在宅生活の継続に必要だと思うサービス

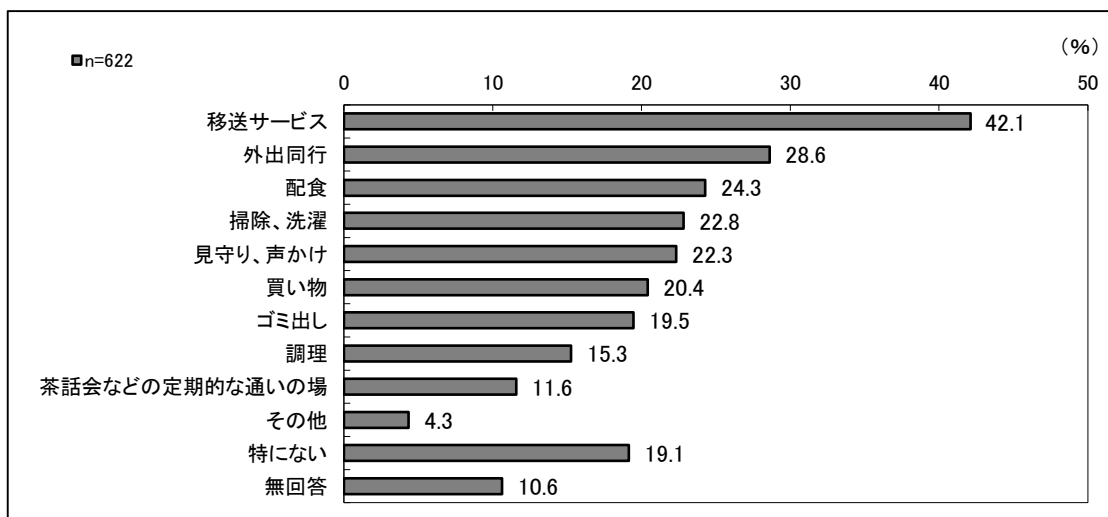
A (9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。【複数回答】

- 「移送サービス」が第1位。「外出同行」、「配食」などが続く。

在宅生活の継続に必要だと思うサービスについては、「移送サービス」（42.1%）が最も多く、次いで「外出同行」（28.6%）、「配食」（24.3%）、「掃除、洗濯」（22.8%）、「見守り、声かけ」（22.3%）、「買い物」（20.4%）、「ゴミ出し」（19.5%）、「調理」（15.3%）、「茶話会などの定期的な通いの場」（11.6%）などとなっている。なお、「特にない」は19.1%となっている。

いずれの属性でも「移送サービス」が第1位となっている。

図表 在宅生活の継続に必要だと思うサービス（全体／複数回答）



図表 在宅生活の継続に必要なと思うサービス（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	A(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス								
			配食	調理	掃除、洗濯	買い物	ゴミ出し	外出同行	移送サービス	見守り、声かけ	茶話会などの定期的な通いの場
全体		622 100.0%	151 24.3%	95 15.3%	142 22.8%	127 20.4%	121 19.5%	178 28.6%	262 42.1%	139 22.3%	72 11.6%
性別	男性	232 100.0%	52 22.4%	36 15.5%	51 22.0%	44 19.0%	41 17.7%	66 28.4%	97 41.8%	53 22.8%	22 9.5%
	女性	381 100.0%	98 25.7%	58 15.2%	89 23.4%	82 21.5%	79 20.7%	111 29.1%	162 42.5%	86 22.6%	49 12.9%
年齢	65歳未満	41 100.0%	10 24.4%	5 12.2%	8 19.5%	11 26.8%	10 24.4%	16 39.0%	21 51.2%	8 19.5%	5 12.2%
	65～74歳	95 100.0%	24 25.3%	21 22.1%	24 25.3%	25 26.3%	23 24.2%	28 29.5%	34 35.8%	23 24.2%	14 14.7%
	75～84歳	288 100.0%	67 23.3%	31 10.8%	56 19.4%	46 16.0%	48 16.7%	78 27.1%	115 39.9%	58 20.1%	25 8.7%
	85歳以上	189 100.0%	49 25.9%	37 19.6%	52 27.5%	44 23.3%	39 20.6%	55 29.1%	89 47.1%	50 26.5%	27 14.3%
生活圏域	A圏域	310 100.0%	85 27.4%	50 16.1%	72 23.2%	69 22.3%	60 19.4%	96 31.0%	120 38.7%	72 23.2%	43 13.9%
	B圏域	312 100.0%	66 21.2%	45 14.4%	70 22.4%	58 18.6%	61 19.6%	82 26.3%	142 45.5%	67 21.5%	29 9.3%
認定状況	要支援2以下	37 100.0%	7 18.9%	3 8.1%	3 8.1%	6 16.2%	3 8.1%	12 32.4%	15 40.5%	11 29.7%	2 5.4%
	要介護1・2	411 100.0%	103 25.1%	63 15.3%	95 23.1%	85 20.7%	79 19.2%	121 29.4%	182 44.3%	94 22.9%	50 12.2%
	要介護3～5	165 100.0%	40 24.2%	28 17.0%	42 25.5%	35 21.2%	38 23.0%	44 26.7%	62 37.6%	34 20.6%	19 11.5%

		合計	A(9)		
			その他	特にな い	無回答
全体		622 100.0%	27 4.3%	119 19.1%	66 10.6%
性別	男性	232 100.0%	11 4.7%	44 19.0%	25 10.8%
	女性	381 100.0%	16 4.2%	72 18.9%	40 10.5%
年齢	65歳未満	41 100.0%	1 2.4%	9 22.0%	2 4.9%
	65～74歳	95 100.0%	4 4.2%	19 20.0%	8 8.4%
	75～84歳	288 100.0%	10 3.5%	62 21.5%	36 12.5%
	85歳以上	189 100.0%	12 6.3%	26 13.8%	19 10.1%
生活 圏域	A圏域	310 100.0%	13 4.2%	55 17.7%	34 11.0%
	B圏域	312 100.0%	14 4.5%	64 20.5%	32 10.3%
認定 状況	要支援2以下	37 100.0%	1 2.7%	8 21.6%	3 8.1%
	要介護1・2	411 100.0%	15 3.6%	76 18.5%	42 10.2%
	要介護3～5	165 100.0%	11 6.7%	32 19.4%	20 12.1%

(22) 家族や親族からの介護等の頻度

A (10) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族などからの介護を含む)。

- 「ほぼ毎日ある」が4割強を占める。

家族や親族からの介護等の頻度については、「ほぼ毎日ある」が 52.1%、「ない」が 18.5%、「週に1～2日ある」が 9.6%、「介護はあるが週に1日よりも少ない」が 8.5%、「週に3～4日ある」が 4.2%となっている。

年齢でみると、65歳未満では介護等の頻度が比較的低くなっている。

図表 家族や親族からの介護等の頻度（全体・属性別）

		ない	介護はあるが週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	n
(%)								
全体		18.5	8.5	9.6	4.2	52.1	7.1	622
性別	男性	17.7	8.6	11.6	5.6	48.3	8.2	232
	女性	19.2	8.4	8.4		54.3	6.3	381
年齢	65歳未満	9.8	22.0	17.1	3.4	41.5		41
	65～74歳	16.8	11.6	11.6	4.9	49.5	6.3	95
	75～84歳	20.8	7.3	7.3	4.2	53.1	6.9	288
	85歳以上	19.0	8.5	9.5	4.5	54.0	7.9	189
生活圏域	A圏域	19.0	9.4	8.7	1.1	51.9	7.4	310
	B圏域	17.9	7.7	10.6	3.5	52.2	6.7	312
認定状況	要支援2以下	10.8	13.5	13.5	4.8	54.1	5.4	37
	要介護1・2	19.5	8.8	9.2	2.7	51.3	7.5	411
	要介護3～5	18.2	6.7	9.7	3.6	53.3	6.1	165

【調査結果から見える傾向】

- 介護が必要となっても、通所サービス等を利用しながら、家族のサポートを受けて在宅生活を継続している人が多くなっています。施設などへの入所・入居を検討していない人は全体の 67.4%となっています。
- 在宅生活を継続する上で必要なサービスとして「移送サービス」、「外出同行」などが多く挙げられています。専門的な支援も必要とされますが、「見守り、声かけ」、「ゴミ出し」など軽度なものは住民同士の助け合いによってカバーできることも多いため、地域福祉との連携等も考慮しながら、身近な地域での支え合い力を高めていくことが求められます。

2 主な介護者について

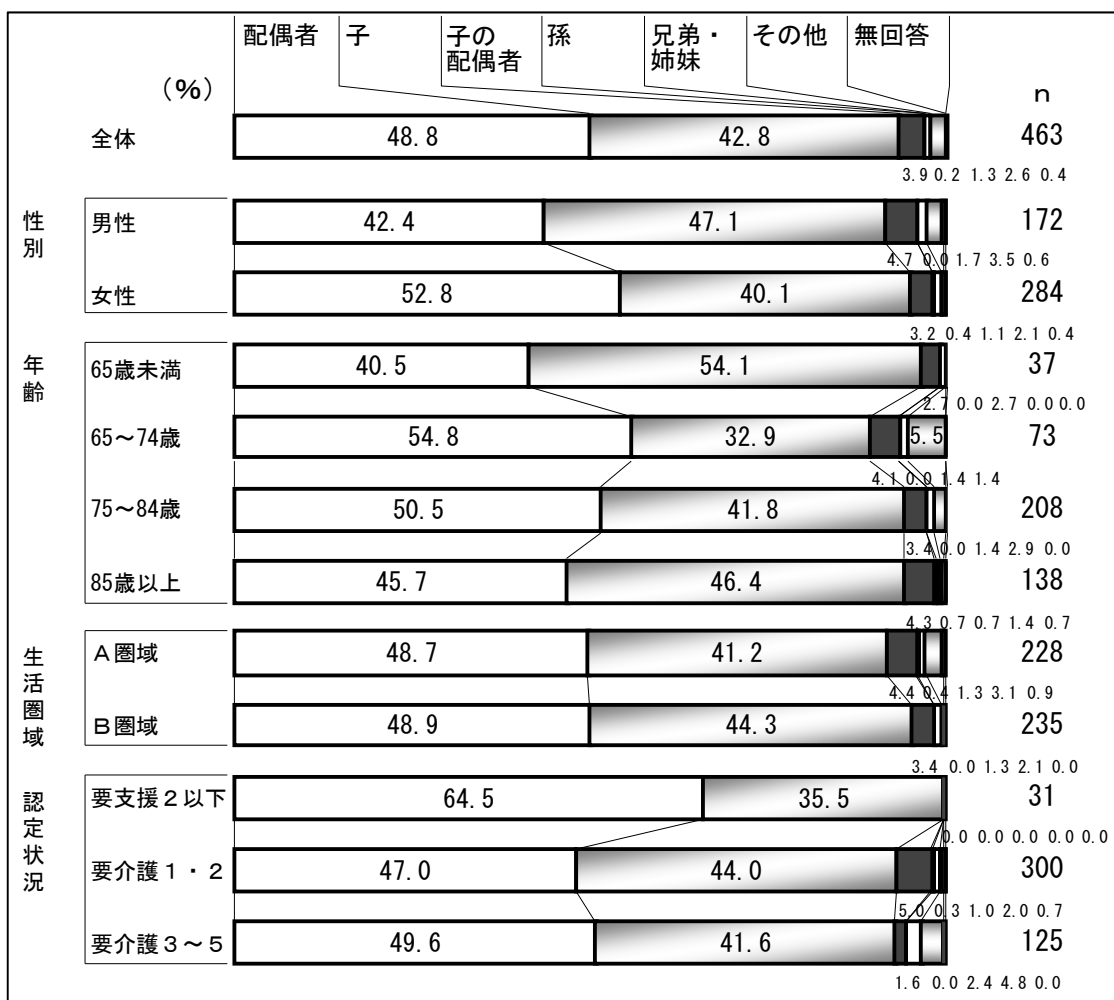
(1) 主な介護者

B (1) 主な介護者の方は、どなたですか。

- 「配偶者」が5割弱、「子」が4割強を占める。

主な介護者については、「配偶者」が48.8%、「子」が42.8%、「子の配偶者」が3.9%、「兄弟・姉妹」が1.3%、「孫」が0.2%となっている。

図表 主な介護者（全体・属性別）



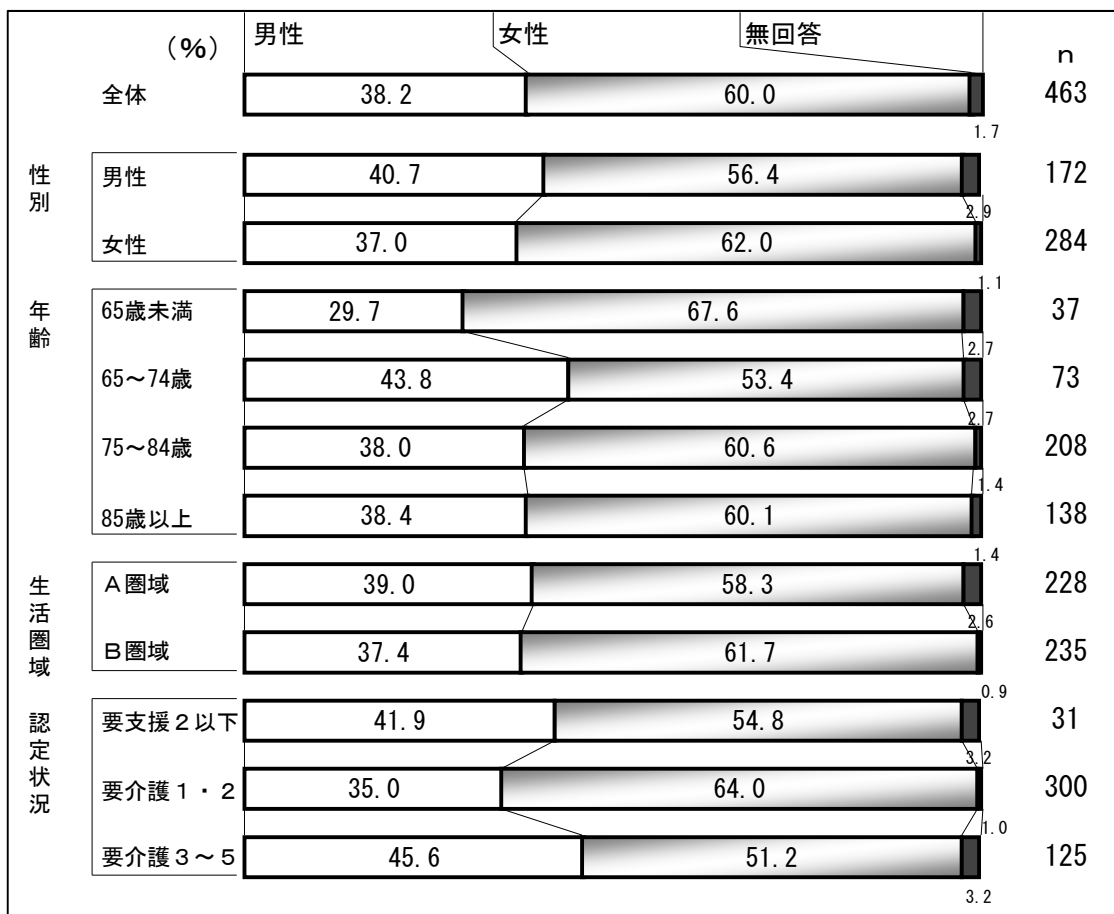
(2) 主な介護者の性別

B (2) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

- 「女性」が6割、「男性」が4割弱を占める。

主な介護者の性別については、「女性」が60.0%、「男性」が38.2%となっている。

図表 主な介護者の性別（全体・属性別）



(3) 主な介護者の年齢

B (3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

- 「70代」が3割弱、「60代」、「50代」がともに2割強を占める。

主な介護者の年齢については、「70代」が26.6%、「60代」が23.1%、「50代」が22.5%、「80歳以上」が19.7%、「40代」が5.6%、「30代」が2.2%、「20歳未満」が0.2%となっている。「20代」・「わからない」は回答なしとなっている。

図表 主な介護者の年齢（全体・属性別）

	(%)	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答	n
全体		5.6	22.5	23.1	26.6	19.7						463
		0.2	0.0	2.2							0.0	0.2
性別												
男性		5.2	23.3	25.0	22.7	19.2						172
		0.0	0.0	4.1							0.0	0.6
女性		6.0	21.5	21.8	29.2	20.1						284
		0.4	0.0	1.1							0.0	0.0
年齢												
65歳未満		5.4	24.3	32.4	21.6	16.2						37
		0.0	0.0	0.0							0.0	0.0
65～74歳		5.5	27.4	13.7	34.2	17.8						73
		0.0	0.0	0.0							0.0	1.4
75～84歳			23.1	22.6	29.8	17.3						208
		0.5	0.0	1.9	4.8						0.0	0.0
85歳以上		7.2	17.4	26.1	19.6	25.4						138
		0.0	0.0	4.3							0.0	0.0
生活圏域												
A圏域			20.6	28.5	22.4	23.2						228
		0.4	0.0	1.3	3.1						0.0	0.4
B圏域		8.1	24.3	17.9	30.6	16.2						235
		0.0	0.0	3.0							0.0	0.0
認定状況												
要支援2以下		9.7	12.9	19.4	29.0	29.0						31
		0.0	0.0	0.0							0.0	0.0
要介護1・2		5.7	21.7	24.0	26.7	18.7						300
		0.3	0.0	2.7							0.0	0.3
要介護3～5			25.6	21.6	26.4	20.0						125
		0.0	0.0	1.6	4.8						0.0	0.0

(4) 不安に感じる介護等について

B (4) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、ご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。【複数回答】

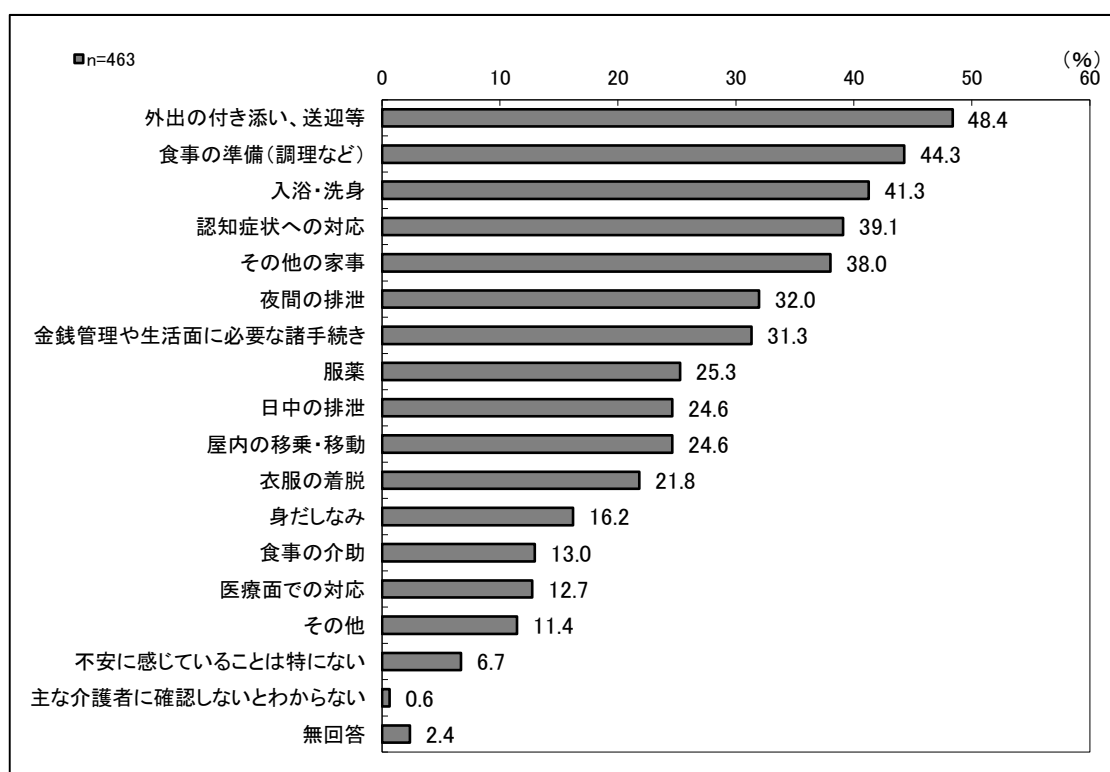
- 「外出の付き添い、送迎等」が第1位。「食事の準備（調理など）」、「入浴・洗身」などが続く。

不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」(48.4%)が最も多く、次いで「食事の準備（調理など）」(44.3%)、「入浴・洗身」(41.3%)、「認知症状への対応」(39.1%)、「その他の家事」(38.0%)、「夜間の排泄」(32.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(31.3%)、「服薬」(25.3%)、「日中の排泄」・「屋内の移乗・移動」(同率 24.6%)、「衣服の着脱」(21.8%)、「身だしなみ」(16.2%)、「食事の介助」(13.0%)、「医療面での対応」(12.7%) などとなっている。なお、「不安に感じていることは特にない」は 6.7%、「主な介護者に確認しないとわからない」は 0.6%となっている。

性別でみると、男性では「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備（調理など）」が同率で第1位となっている。

年齢でみると、65～74歳では「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備（調理など）」が同率で第1位となっている。

図表 不安に感じる介護等について（全体／複数回答）



図表 不安に感じる介護等について（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	B(4) 不安に感じる介護等について								
			日中の 排泄	夜間の 排泄	食事の 介助	入浴・ 洗身	身だし なみ	衣服の 着脱	屋内の 移乗・ 移動	外出の 付き添 い、送 迎等	服薬
全体		463	114	148	60	191	75	101	114	224	117
性別	男性	100.0%	24.6%	32.0%	13.0%	41.3%	16.2%	21.8%	24.6%	48.4%	25.3%
		172	35	49	21	59	24	30	40	70	45
	女性	100.0%	20.3%	28.5%	12.2%	34.3%	14.0%	17.4%	23.3%	40.7%	26.2%
年齢	65歳未満	284	79	98	39	130	51	71	72	150	72
		100.0%	27.8%	34.5%	13.7%	45.8%	18.0%	25.0%	25.4%	52.8%	25.4%
	65～74歳	37	4	8	2	15	3	3	7	22	10
		100.0%	10.8%	21.6%	5.4%	40.5%	8.1%	8.1%	18.9%	59.5%	27.0%
	75～84歳	73	19	26	9	31	12	15	18	38	20
100.0%		26.0%	35.6%	12.3%	42.5%	16.4%	20.5%	24.7%	52.1%	27.4%	
85歳以上	208	53	69	30	75	31	44	51	90	51	
	100.0%	25.5%	33.2%	14.4%	36.1%	14.9%	21.2%	24.5%	43.3%	24.5%	
	138	38	44	19	68	29	39	36	70	36	
生活 圏域	A圏域	100.0%	27.5%	31.9%	13.8%	49.3%	21.0%	28.3%	26.1%	50.7%	26.1%
		228	62	82	31	96	39	49	57	114	58
	B圏域	100.0%	27.2%	36.0%	13.6%	42.1%	17.1%	21.5%	25.0%	50.0%	25.4%
235		52	66	29	95	36	52	57	110	59	
認定 状況	要支援2以下	100.0%	22.1%	28.1%	12.3%	40.4%	15.3%	22.1%	24.3%	46.8%	25.1%
		31	8	9	5	11	4	8	8	14	4
	要介護1・2	100.0%	25.8%	29.0%	16.1%	35.5%	12.9%	25.8%	25.8%	45.2%	12.9%
		300	62	83	34	113	42	54	68	140	83
要介護3～5	100.0%	20.7%	27.7%	11.3%	37.7%	14.0%	18.0%	22.7%	46.7%	27.7%	
	125	44	55	21	65	29	39	36	66	30	
		100.0%	35.2%	44.0%	16.8%	52.0%	23.2%	31.2%	28.8%	52.8%	24.0%

		合計	B(4) 不安に感じる介護等について									
			認知症 状への 対応	医療面 での対 応	食事の準 備（調理 など）	その他 の家事	金銭管理 や生活面 に必要な 諸手続き	その他	不安に感 じている ことは特 にない	主な介護 者に確認 しないとい わかない	無回答	非該当
全体		463 100.0%	181 39.1%	59 12.7%	205 44.3%	176 38.0%	145 31.3%	53 11.4%	31 6.7%	3 0.6%	11 2.4%	159
性別	男性	172 100.0%	61 35.5%	16 9.3%	70 40.7%	54 31.4%	42 24.4%	22 12.8%	16 9.3%	3 1.7%	6 3.5%	60
	女性	284 100.0%	119 41.9%	43 15.1%	134 47.2%	121 42.6%	103 36.3%	31 10.9%	13 4.6%	0 0.0%	5 1.8%	97
年齢	65歳未満	37 100.0%	17 45.9%	3 8.1%	15 40.5%	14 37.8%	9 24.3%	4 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4
	65～74歳	73 100.0%	24 32.9%	10 13.7%	38 52.1%	30 41.1%	26 35.6%	8 11.0%	5 6.8%	0 0.0%	4 5.5%	22
	75～84歳	208 100.0%	81 38.9%	27 13.0%	84 40.4%	72 34.6%	61 29.3%	25 12.0%	16 7.7%	2 1.0%	4 1.9%	80
	85歳以上	138 100.0%	58 42.0%	19 13.8%	67 48.6%	59 42.8%	49 35.5%	16 11.6%	8 5.8%	1 0.7%	3 2.2%	51
		228 100.0%	93 40.8%	30 13.2%	101 44.3%	94 41.2%	76 33.3%	21 9.2%	14 6.1%	2 0.9%	5 2.2%	82
生活 圏域	A圏域	228 100.0%	93 40.8%	30 13.2%	101 44.3%	94 41.2%	76 33.3%	21 9.2%	14 6.1%	2 0.9%	5 2.2%	82
	B圏域	235 100.0%	88 37.4%	29 12.3%	104 44.3%	82 34.9%	69 29.4%	32 13.6%	17 7.2%	1 0.4%	6 2.6%	77
認定 状況	要支援 2 以下	31 100.0%	12 38.7%	5 16.1%	11 35.5%	10 32.3%	5 16.1%	5 16.1%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	6
	要介護 1・2	300 100.0%	121 40.3%	39 13.0%	133 44.3%	113 37.7%	92 30.7%	36 12.0%	18 6.0%	3 1.0%	9 3.0%	111
	要介護 3～5	125 100.0%	47 37.6%	15 12.0%	60 48.0%	52 41.6%	48 38.4%	12 9.6%	10 8.0%	0 0.0%	2 1.6%	40

(5) 介護を理由に1年以内に仕事を辞めた人がいるか

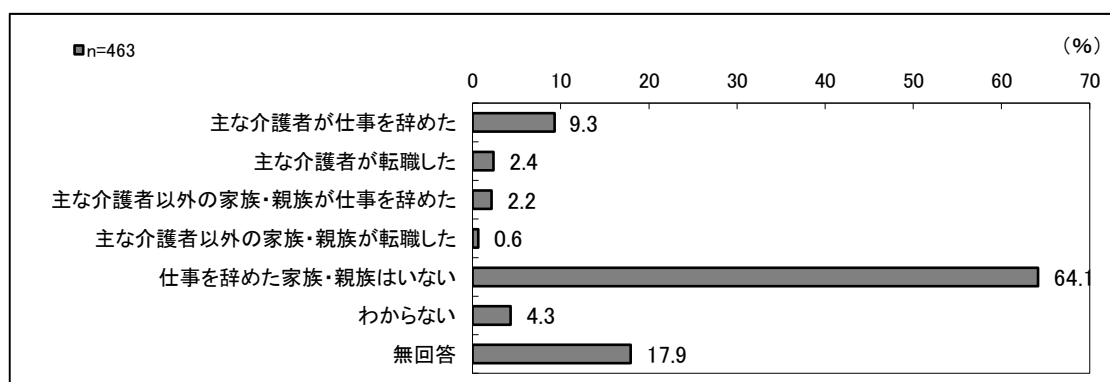
B (5) ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。【複数回答】

- 「仕事を辞めた家族・親族はいない」が第1位。

介護を理由に1年以内に仕事を辞めた人がいるかについては、「仕事を辞めた家族・親族はいない」(64.1%)が最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた」(9.3%)、「主な介護者が転職した」(2.4%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた」(2.2%)、「主な介護者以外の家族・親族が転職した」(0.6%)となっている。なお、「わからない」は4.3%となっている。

いずれの属性でも「仕事を辞めた家族・親族はいない」が第1位となっている。

図表 介護を理由に1年以内に仕事を辞めた人がいるか(全体/複数回答)



図表 介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいるか
(全体・属性別-第１位／複数回答)

		合計	B(5) 介護を理由に１年以内に仕事を辞めた人がいるか							
			主な介護者が仕事を辞めた	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答	非該当
全体		463 100.0%	43 9.3%	10 2.2%	11 2.4%	3 0.6%	297 64.1%	20 4.3%	83 17.9%	159
性別	男性	172 100.0%	14 8.1%	6 3.5%	1 0.6%	0 0.0%	109 63.4%	9 5.2%	35 20.3%	60
	女性	284 100.0%	28 9.9%	4 1.4%	10 3.5%	3 1.1%	186 65.5%	10 3.5%	45 15.8%	97
年齢	65歳未満	37 100.0%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 81.1%	3 8.1%	3 8.1%	4
	65～74歳	73 100.0%	6 8.2%	2 2.7%	3 4.1%	0 0.0%	44 60.3%	2 2.7%	17 23.3%	22
	75～84歳	208 100.0%	17 8.2%	7 3.4%	3 1.4%	1 0.5%	135 64.9%	9 4.3%	37 17.8%	80
	85歳以上	138 100.0%	17 12.3%	1 0.7%	5 3.6%	2 1.4%	86 62.3%	5 3.6%	23 16.7%	51
生活圏域	A圏域	228 100.0%	25 11.0%	5 2.2%	4 1.8%	2 0.9%	148 64.9%	11 4.8%	36 15.8%	82
	B圏域	235 100.0%	18 7.7%	5 2.1%	7 3.0%	1 0.4%	149 63.4%	9 3.8%	47 20.0%	77
認定状況	要支援２以下	31 100.0%	4 12.9%	1 3.2%	2 6.5%	0 0.0%	17 54.8%	1 3.2%	8 25.8%	6
	要介護１・２	300 100.0%	25 8.3%	5 1.7%	6 2.0%	1 0.3%	205 68.3%	16 5.3%	43 14.3%	111
	要介護３～５	125 100.0%	13 10.4%	4 3.2%	3 2.4%	2 1.6%	73 58.4%	2 1.6%	29 23.2%	40

(6) 主な介護者の現在の勤務形態

B (6) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

- 「働いていない」が5割弱、「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」がともに2割強を占める。

主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が49.5%、「フルタイムで働いている」が21.4%、「パートタイムで働いている」が21.0%、「主な介護者に確認しないといけない」とわからない」が1.3%となっている。

認定状況でみると、要支援2以下では「働いていない」が61.3%となっている。

図表 主な介護者の現在の勤務形態（全体・属性別）

		フルタイム で働いてい る	パートタイ ムで働いて いる	働いていな い	主な介護者 に確認しな いとわから ない	無回答	n
	(%)						
	全体	21.4	21.0	49.5	6.9	1.3	463
性別	男性	24.4	19.2	47.1	7.6	0.7	172
	女性	19.4	21.8	51.4	6.3	1.1	284
年齢	65歳未満	24.3	13.5	54.1	8.1	0.0	37
	65～74歳	23.3	17.8	50.7	8.2	0.0	73
	75～84歳	21.6	22.1	48.6	5.3	2.4	208
	85歳以上	18.8	22.5	50.0	8.0	0.7	138
生活 圏域	A圏域	20.6	19.3	51.3	8.3	0.4	228
	B圏域	22.1	22.6	47.7	5.5	2.1	235
認定 状況	要支援2以下	29.0	61.3	3.2	3.2	3.2	31
	要介護1・2	22.7	21.0	48.0	7.0	1.3	300
	要介護3～5	22.4	18.4	51.2	7.2	0.8	125

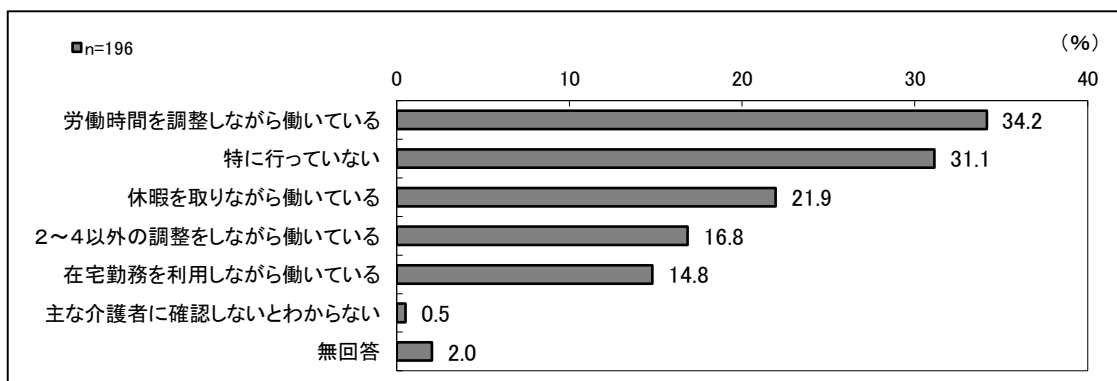
(7) 主な介護者の働き方についての調整等

【(6)で「1.」「2.」と回答した方におうかがいします】
B① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。【複数回答】

- 「労働時間を調整しながら働いている」が第1位。「特に行っていない」は31.1%となっている。

主な介護者の働き方についての調整等については、「労働時間を調整しながら働いている」(34.2%)が最も多く、次いで「特に行っていない」(31.1%)、「休暇を取りながら働いている」(21.9%)、「2～4以外の調整をしながら働いている」(16.8%)、「在宅勤務を利用しながら働いている」(14.8%)、「主な介護者に確認しないとわからない」(0.5%)となっている。

図表 主な介護者の働き方についての調整等（全体／複数回答）



図表 主な介護者の働き方についての調整等（全体・属性別-第1位／複数回答）

		合計	B(6) ① 主な介護者の働き方についての調整等							無回答	非該当
			特に 行っ てい ない	労働時間 を調整し ながら働 いている	休暇を取 りながら 働いてい る	在宅勤務 を利用し ながら働 いている	2～4以 外の調整 をしなが ら働いて いる	主な介護 者に確認 しないと わからな い			
全体		196 100.0%	61 31.1%	67 34.2%	43 21.9%	29 14.8%	33 16.8%	1 0.5%	4 2.0%	426	
性別	男性	75 100.0%	30 40.0%	22 29.3%	19 25.3%	11 14.7%	10 13.3%	0 0.0%	2 2.7%	157	
	女性	117 100.0%	31 26.5%	44 37.6%	23 19.7%	18 15.4%	21 17.9%	1 0.9%	2 1.7%	264	
年齢	65歳未満	14 100.0%	4 28.6%	8 57.1%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	27	
	65～74歳	30 100.0%	10 33.3%	9 30.0%	7 23.3%	8 26.7%	5 16.7%	0 0.0%	1 3.3%	65	
	75～84歳	91 100.0%	31 34.1%	30 33.0%	23 25.3%	14 15.4%	9 9.9%	1 1.1%	1 1.1%	197	
	85歳以上	57 100.0%	16 28.1%	19 33.3%	9 15.8%	4 7.0%	16 28.1%	0 0.0%	2 3.5%	132	
生活 圏域	A圏域	91 100.0%	34 37.4%	31 34.1%	20 22.0%	12 13.2%	12 13.2%	0 0.0%	1 1.1%	219	
	B圏域	105 100.0%	27 25.7%	36 34.3%	23 21.9%	17 16.2%	21 20.0%	1 1.0%	3 2.9%	207	
認定 状況	要支援2以下	10 100.0%	3 30.0%	5 50.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	27	
	要介護1・2	131 100.0%	47 35.9%	43 32.8%	29 22.1%	20 15.3%	19 14.5%	1 0.8%	2 1.5%	280	
	要介護3～5	51 100.0%	11 21.6%	18 35.3%	11 21.6%	9 17.6%	11 21.6%	0 0.0%	2 3.9%	114	

(8) 今後も働きながら介護を続けていけるか

【(6)で「1.」「2.」と回答した方におうかがいします】

B② 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

- 「問題はあるが何とか続けていける」が5割弱、「問題なく続けていける」が2割強を占める。

今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題はあるが何とか続けていける」が45.9%、「問題なく続けていける」が20.4%、「続けていくのはやや難しい」が13.8%、「続けていくのはかなり難しい」が7.1%、「主な介護者に確認しないとわからない」が10.2%となっている。

年齢でみると、85歳以上では「問題なく続けていける」が8.8%と他の年齢層よりも低くなっている。

図表 今後も働きながら介護を続けていけるか（全体・属性別）

		問題なく 続けてい ける	問題はあるが何とか 続けていける	続けていくのはやや 難しい	続けていくのはかなり 難しい	主な介護者に確認 しないとわからない	無回答	n
	(%)							
	全体	20.4	45.9	13.8	7.1	10.2	2.6	196
性別	男性	26.7	44.0	10.7	8.0	9.3	1.3	75
	女性	17.1	47.0	16.2	6.0	11.1	2.6	117
年齢	65歳未満	21.4	57.1	7.1	14.3	0.0	0.0	14
	65～74歳	23.3	43.3	13.3	16.7	3.3	0.0	30
	75～84歳	27.5	44.0	17.6	6.6	3.3	0.0	91
	85歳以上	8.8	47.4	10.5	12.3	5.3	15.8	57
生活 圏域	A圏域	20.9	48.4	13.2	7.7	8.8	1.1	91
	B圏域	20.0	43.8	14.3	6.7	11.4	3.8	105
認定 状況	要支援2以下	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10
	要介護1・2	24.4	46.6	13.7	9.2	4.6	1.5	131
	要介護3～5	15.7	43.1	13.7	9.8	15.7	2.0	51

【調査結果から見える傾向】

- 不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、次いで「食事の準備（調理など）」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」などとなっています。これらをサポートするサービスを充実していくことが、在宅での生活を継続する上で必要です。
- 就労と介護を両立していくことができると考える人は、全体の7割弱を占めています。在宅生活の希望をかなえる上では介護者への支援が不可欠です。訪問サービスや、家族介護者の高齢化も進んでいることにも留意する必要があります。

Ⅱ 前回調査との比較

図表 前回調査結果との比較

区分	調査項目	項目	今回 (n=622)	前回 (n=667)
基本属性	性別	女性	61.3	57.4
	年齢	後期高齢者	76.7	84.3
	認定状況	要介護1・2	66.1	67.0
		要介護3以上	26.5	33.0
居住	世帯類型	単身世帯	19.6	17.2
		夫婦のみ世帯	35.9	34.0
		その他	42.3	46.0
	住まい	持家	86.0	85.3
		2階以上でエレベータなし	24.4	19.2
介護の状況	家族等による介護の頻度	ほぼ毎日ある	52.1	50.2
		ない・週1日以下	27.0	19.8
	在宅生活の継続に必要なサービス	移送サービス	42.1	37.2
		外出同行	28.6	31.6
		配食	24.3	18.1
		掃除、洗濯	22.8	19.3
		見守り、声かけ	22.3	20.7
	施設等への入所・入居の検討状況	検討している	18.0	20.7
		既に申し込みをしている	7.1	9.3
主な介護者の状況	本人との続柄	配偶者	48.8	38.0
		子	42.8	45.9
	性別	女性	60.0	64.9
	年齢	60歳以上	69.7	53.4
	不安に感じる介護	外出の付き添い、送迎等	48.4	29.5
		食事の準備（調理など）	44.3	20.3
		入浴・洗身	41.3	30.8
		認知症状への対応	39.1	34.5
	介護を理由に過去1年に仕事を辞めた人の有無	主な介護者、主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	11.5	8.2
		主な介護者、主な介護者以外の家族・親族が転職した	3.0	4.3
	勤務形態	フルタイムで働いている	21.4	26.4
		パートタイムで働いている	21.0	15.7
		働いていない	49.5	47.5
	働き方についての調整	労働時間を調整しながら働いている	34.2	31.8
		休暇をとりながら働いている	31.1	21.2
		在宅勤務を利用しながら働いている	16.8	4.1
		その他の調整をしながら働いている	21.9	21.7
		特に行っていない	14.8	30.9
	働きながら介護を続けていけるか	問題なく続けていける	20.4	11.1
		問題はあるが何とか続けていける	45.9	54.8
		続けていくのはやや難しい	13.8	14.3
		続けていくのはかなり難しい	7.1	8.3

事業所調査（介護人材実態調査） 調査結果

I 調査結果

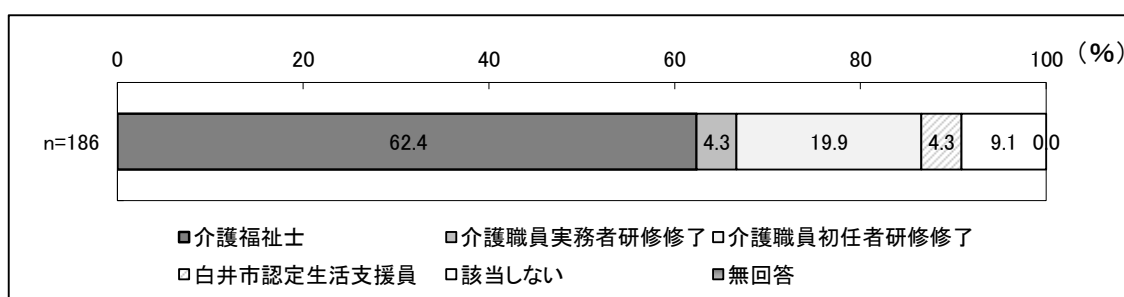
1 人材の確保について

（1）資格の取得状況・雇用形態等

問1（4）貴事業所に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアを除く）について、お答えください。

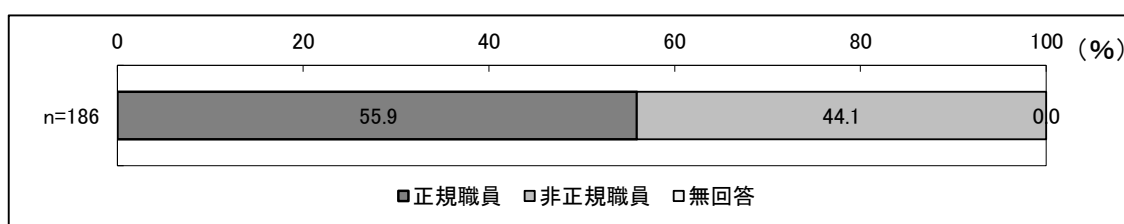
①資格の取得状況については、「介護福祉士」が 62.4%、「介護職員実務者研修修了」が 4.3%、「介護職員初任者研修修了」が 19.9%、「白井市認定生活支援員」が 4.3%、「該当しない」が 9.1%となっている。

図表 ①資格の取得状況（全体）



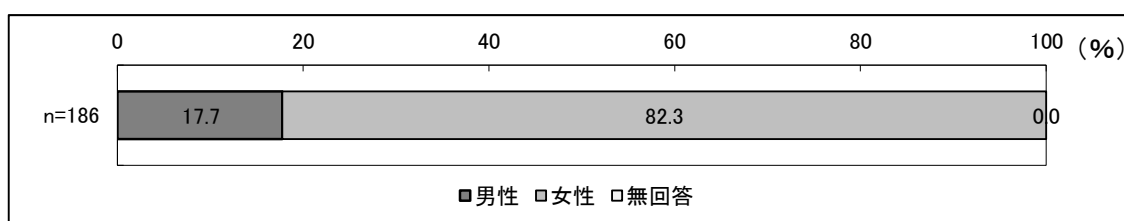
②雇用形態については、「正規職員」が 55.9%、「非正規職員」が 44.1%となっている。

図表 ②雇用形態（全体）



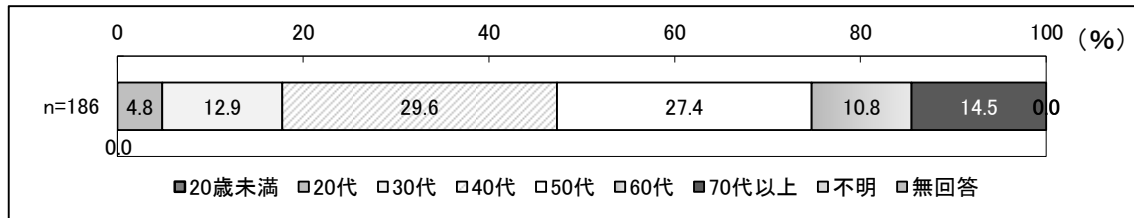
③性別については、「男性」が 17.7%、「女性」が 82.3%となっている。

図表 ③性別（全体）



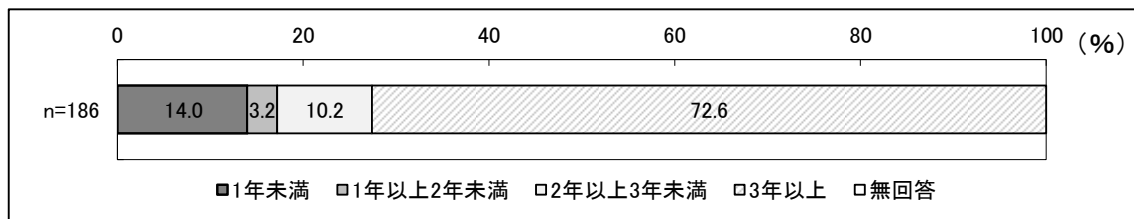
④年齢については、「20代」が4.8%、「30代」が12.9%、「40代」が29.6%、「50代」が27.4%、「60代」が10.8%、「70代以上」が14.5%、「20歳未満」・「不明」が回答なしとなっている。

図表 ④年齢（全体）



⑤現在の施設等での勤務年数については、「1年未満」が14.0%、「1年以上2年未満」が3.2%、「2年以上3年未満」が10.2%、「3年以上」が72.6%となっている。

図表 ⑤現在の施設等での勤務年数（全体）



（２）確保が困難な職種

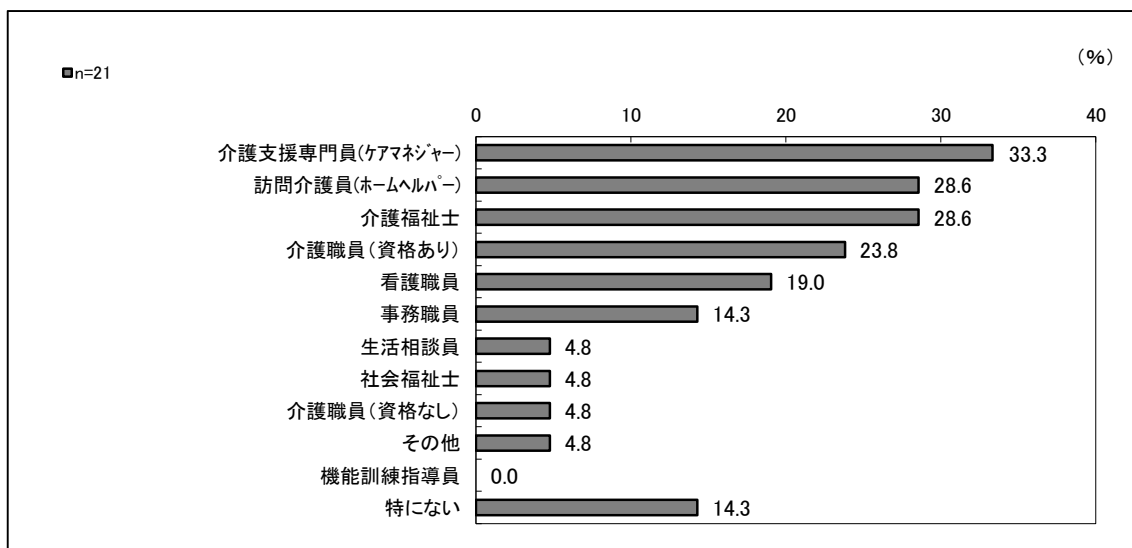
問２ （１）貴事業所で、特に確保の困難な職種は何ですか。【複数回答】

- 「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が第１位。「訪問介護員（ホームヘルパー）・「介護福祉士」などが続く。

確保が困難な職種については、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」（33.3%）が最も多く、次いで「訪問介護員（ホームヘルパー）」・「介護福祉士」（同率 28.6%）、「介護職員（資格あり）」（23.8%）、「看護職員」（19.0%）、「事務職員」（14.3%）、「生活相談員」・「社会福祉士」・「介護職員（資格なし）」・「その他」（同率 4.8%）となっている。「機能訓練指導員」は回答なしとなっている。

なお、「特にない」は 14.3%となっている。

図表 確保が困難な職種（全体／複数回答）



図表 確保が困難な職種（「その他」自由回答欄に記載されたもの）

- 白井市認定生活支援員資格保有者

(3) 人材の募集方法

問2 (2) 主な人材の募集方法を教えてください。【複数回答】

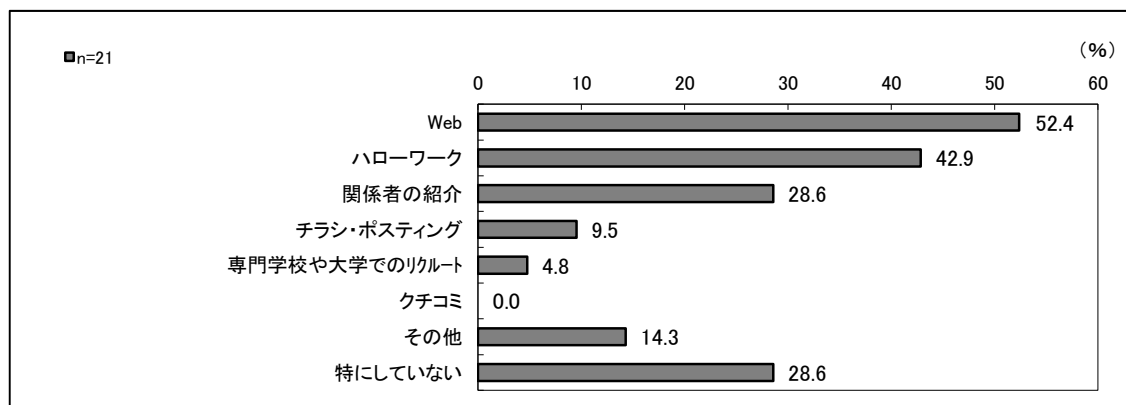


- 「Web」が第1位。「ハローワーク」、「関係者の紹介」などが続く。

人材の募集方法については、「Web」(52.4%)が最も多く、次いで「ハローワーク」(42.9%)、「関係者の紹介」(28.6%)、「その他」(14.3%)、「チラシ・ポスティング」(9.5%)、「専門学校や大学でのリクルート」(4.8%)となっている。「クチコミ」は回答なしとなっている。

なお、「特にしていない」は28.6%となっている。

図表 人材の募集方法（全体／複数回答）



図表 人材の募集方法（「その他」自由回答欄に記載されたもの）

- 当社就業相談
- 地域新聞

（４）離職防止・職場定着のための取り組み

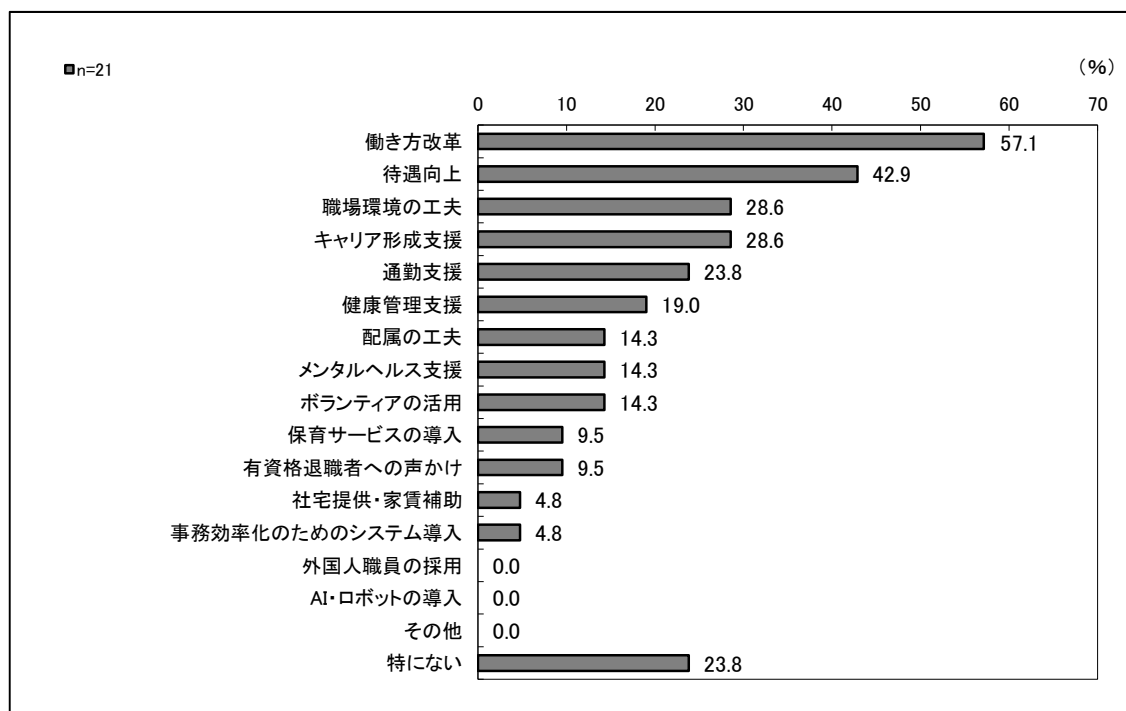
問２（３）離職防止・職場定着のために取り組んでいることを教えてください。【複数回答】

- 「働き方改革」が第１位。「待遇向上」、「職場環境の工夫」、「キャリア形成支援」などが続く。

離職防止・職場定着のための取り組みについては、「働き方改革」（57.1%）が最も多く、次いで「待遇向上」（42.9%）、「職場環境の工夫」・「キャリア形成支援」（同率 28.6%）、「通勤支援」（23.8%）、「健康管理支援」（19.0%）、「配属の工夫」・「メンタルヘルス支援」・「ボランティアの活用」（同率 14.3%）、「保育サービスの導入」・「有資格退職者への声かけ」（同率 9.5%）、「社宅提供・家賃補助」・「事務効率化のためのシステム導入」（同率 4.8%）となっている。「外国人職員の採用」・「AI・ロボットの導入」・「その他」は回答なしとなっている。

なお、「特になし」は 23.8%となっている。

図表 離職防止・職場定着のための取り組み（全体／複数回答）



(5) 人材の確保・定着での悩み

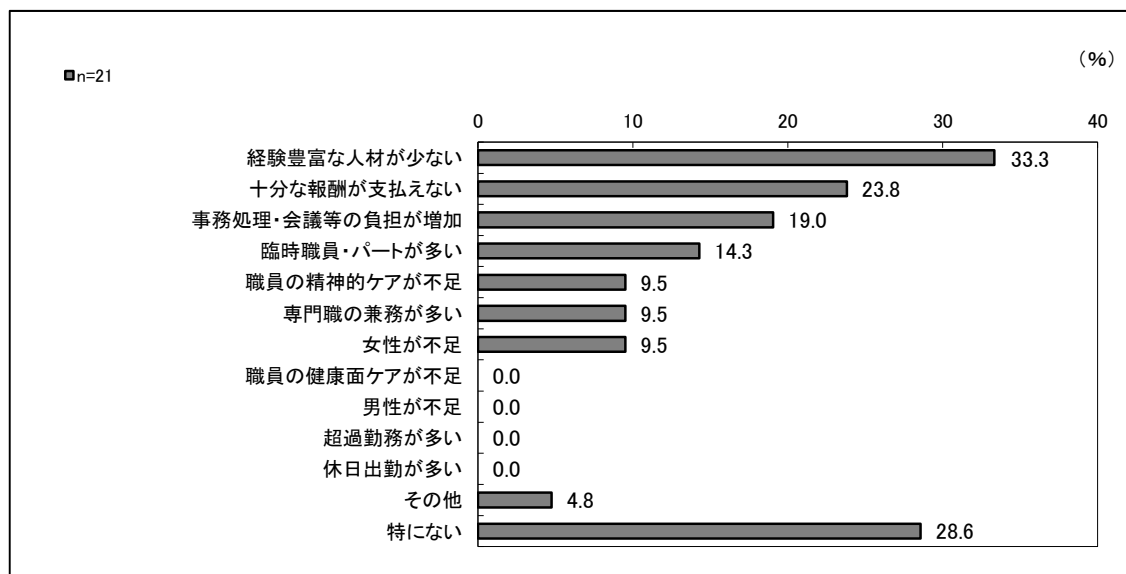
問2 (4) 人材の確保・定着面での悩みはありますか。【複数回答】

- 「経験豊富な人材が少ない」が第1位。「特にない」は28.6%を占める。

人材の確保・定着での悩みについては、「経験豊富な人材が少ない」(33.3%)が最も多く、次いで「十分な報酬が支払えない」(23.8%)、「事務処理・会議等の負担が増加」(19.0%)、「臨時職員・パートが多い」(14.3%)、「職員の精神的ケアが不足」・「専門職の兼務が多い」・「女性が不足」(同率9.5%)、「その他」(4.8%)となっている。「職員の健康面ケアが不足」・「男性が不足」・「超過勤務が多い」・「休日出勤が多い」は回答なしとなっている。

なお、「特にない」は28.6%となっている。

図表 人材の確保・定着での悩み（全体／複数回答）



図表 人材の確保・定着での悩み（「その他」自由回答欄に記載されたもの）

- 定着は安定していますがダブルワークの方が多い

（６）人材育成の取り組み

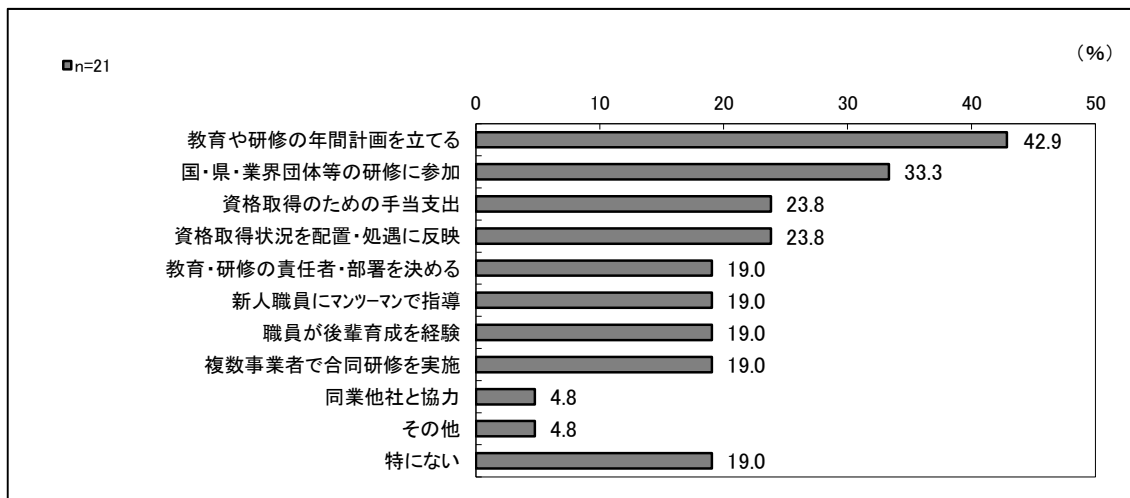
問２（５）人材の育成のために取り組んでいることを教えてください。【複数回答】

- 「教育や研修の年間計画を立てる」が第１位。「国・県・業界団体等の研修に参加」、「資格取得のための手当支出」、「資格取得状況を配置・処遇に反映」などが続く。

人材育成の取り組みについては、「教育や研修の年間計画を立てる」（42.9％）が最も多く、次いで「国・県・業界団体等の研修に参加」（33.3％）、「資格取得のための手当支出」、「資格取得状況を配置・処遇に反映」（同率 23.8％）、「教育・研修の責任者・部署を決める」、「新人職員にマンツーマンで指導」、「職員が後輩育成を経験」、「複数事業者で合同研修を実施」（同率 19.0％）、「同業他社と協力」、「その他」（同率 4.8％）となっている。

なお、「特にない」が 19.0％となっている。

図表 人材育成の取り組み（全体／複数回答）



（７）外国人職員の採用状況

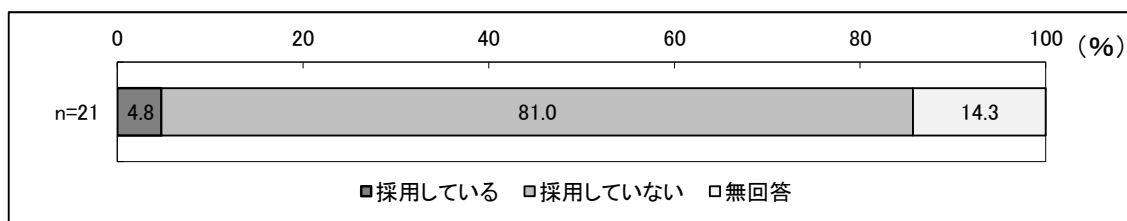
問２（６）外国人職員の採用状況を教えてください。（１つに○）



- 「採用していない」が８割以上を占める。「採用している」は１割に満たない。

外国人職員の採用状況については、「採用している」が４.８%、「採用していない」が８１.０%となっている。

図表 外国人職員の採用状況（全体）



（８）今後の外国人職員の採用意向

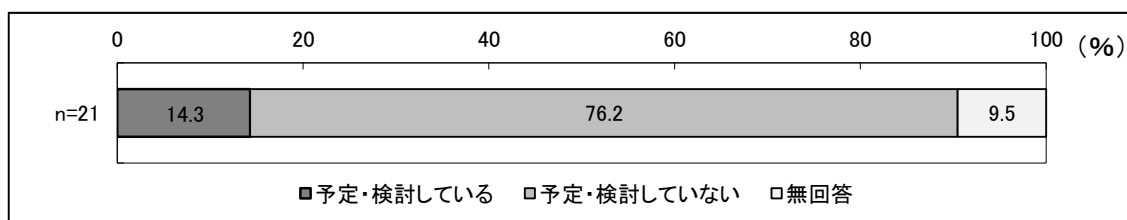
問２（７）今後の外国人職員の採用意向を教えてください。



- 「予定・検討していない」が８割弱、「予定・検討している」が１割強を占める。

今後の外国人職員の採用意向については、「予定・検討している」が１４.３%、「予定・検討していない」が７６.２%となっている。

図表 今後の外国人職員の採用意向（全体）



（９）介護助手の導入状況

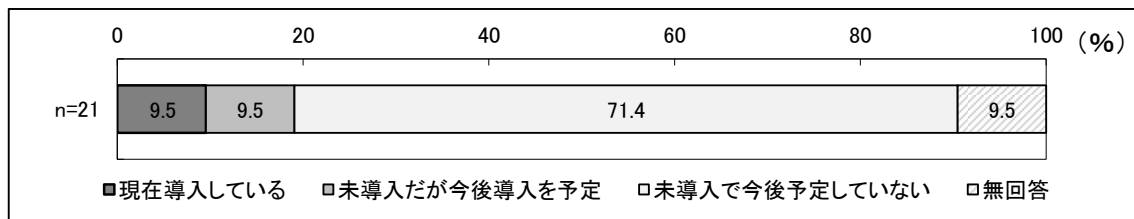
問２（８）貴事業所で介護助手（介護補助）は導入していますか。



- 「未導入で今後予定していない」が７割強を占める。「現在導入している」、「未導入だが今後導入を予定」がともに１割未満となっている。

介護助手の導入状況については、「現在導入している」が９.５%、「未導入だが今後導入を予定」が９.５%、「未導入で今後予定していない」が７１.４%となっている。

図表 介護助手の導入状況（全体）



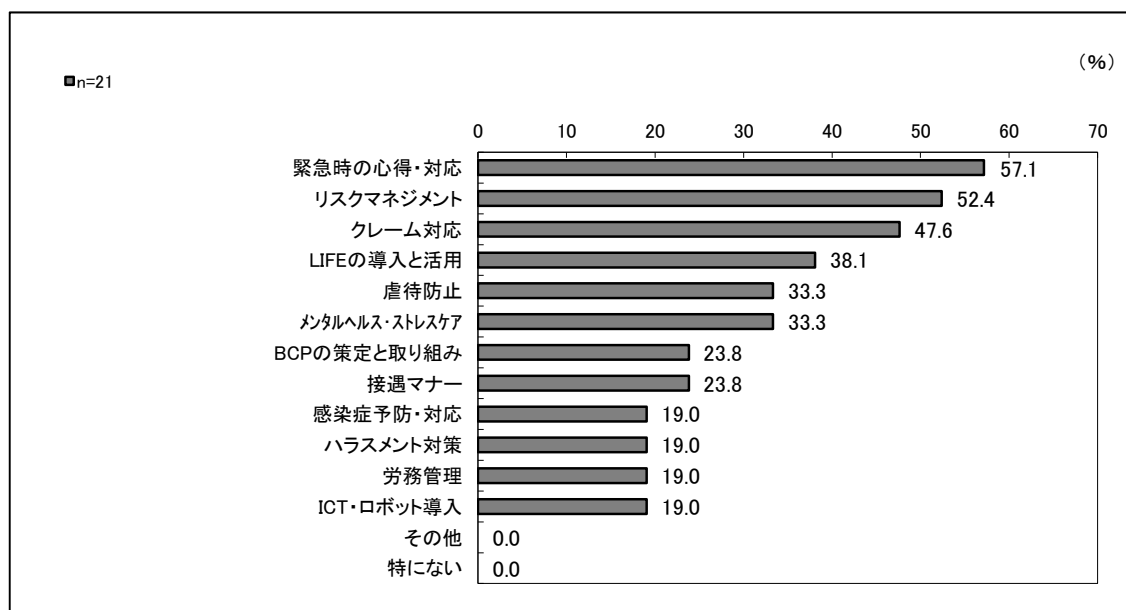
(10) 参加したい研修の内容

問2（9）今後、市が研修会を主催する場合、参加してみたい研修内容がありますか。【複数回答】

- 「緊急時の心得・対応」が第1位。「リスクマネジメント」、「クレーム対応」などが続く。

参加したい研修の内容については、「緊急時の心得・対応」（57.1%）が最も多く、次いで「リスクマネジメント」（52.4%）、「クレーム対応」（47.6%）、「LIFE の導入と活用」（38.1%）、「虐待防止」・「メンタルヘルス・ストレスケア」（同率 33.3%）、「BCP の策定と取り組み」・「接遇マナー」（同率 23.8%）、「感染症予防・対応」・「ハラスメント対策」・「労務管理」・「ICT・ロボット導入」（同率 19.0%）となっている。「その他」・「特にない」は回答なしとなっている。

図表 参加したい研修の内容（全体／複数回答）



（11）人材確保に関する考え方

問2（10）介護職員の確保、外国人職員の採用など人材の確保について、貴事業所のお考えがあればご自由にお書きください。

- 現在ダブルワークで仕事をしてくださっているスタッフが数名おります。職場環境を整え働きやすい職場にしていきたいと思っております。需要はあるのでお応えできるよう人材の確保ができればと考えます。
- 外国人職員の住まいの確保も考えなければならないと考えています。
- ハローワークや地域新聞の募集しかしておらず、なかなか確保ができない時が多くあります。若い世代の就職につながる形がわからず悩んでいます。
- 外国人職員を積極的に採用は行っておりませんが、良い人材がいれば検討する予定です。
- 日本で働きたいと考えている外国人には若い人材が多く、体力が必要な介護業務で活躍してもらうことは人手不足が解消できると思い良い点であると思いますが、介護支援専門員としての人材として考えると、日本語能力等、困難な面も多く考えられます。しかし、技能実習生として最長5年の間に介護福祉士の資格を取り、さらに学んで介護支援専門員の勉強をした方は努力を惜しまない方だと思うので是非頑張ってくださいと思います。

【調査結果から見える傾向】

- ケアマネジャー、ホームヘルパーの確保に苦慮している事業所が多くなっています。人材確保・定着における悩みとして「経験豊富な人材が少ない」を挙げる事業所が多く、研修等による知識の習得のみならず、介護人材の離職を防ぐ取り組みが重要となっていることがうかがえます。

2 事業所の経営等について

(1) サービスの需要

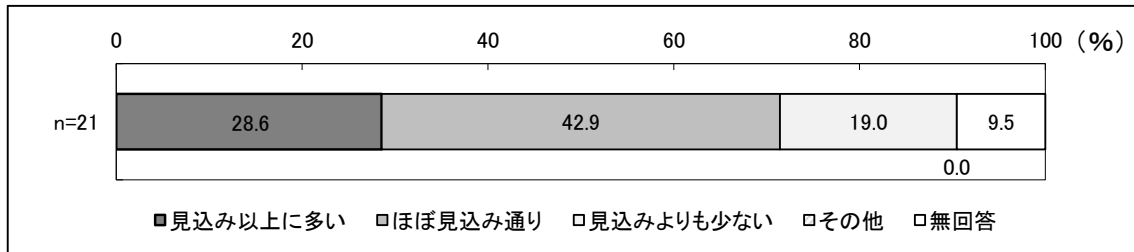
問3 貴事業所のサービスの開始当初の見込みと比較して、現在の需要はいかがですか。



- 「ほぼ見込み通り」が4割強、「見込み以上に多い」が3割弱を占める。

サービスの需要については、「見込み以上に多い」が28.6%、「ほぼ見込み通り」が42.9%、「見込みよりも少ない」が19.0%、「その他」が回答なしとなっている。

図表 サービスの需要（全体）



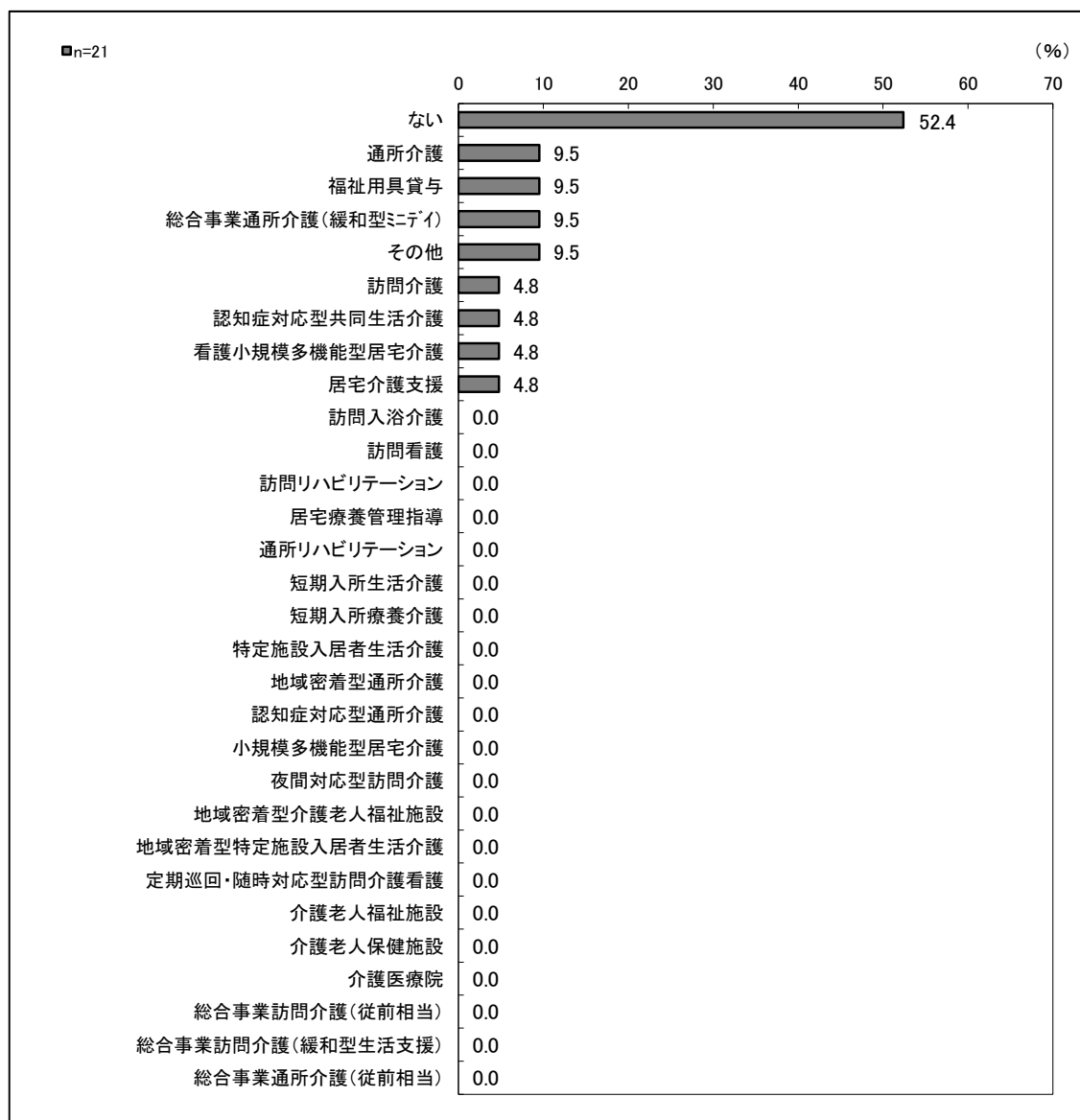
（２）今後新規に実施したいサービス

問４ 今後、新たに実施したい介護サービスは何ですか。【複数回答】

- 「ない」が52.4%を占める。

今後新規に実施したいサービスについては、「ない」（52.4%）が最も多く、「通所介護」・「福祉用具貸与」・「総合事業通所介護（緩和型ミニデイ）」・「その他」（同率 9.5%）、「訪問介護」・「認知症対応型共同生活介護」・「看護小規模多機能型居宅介護」・「居宅介護支援」（同率 4.8%）となっている。

図表 今後新規に実施したいサービス（全体／複数回答）



図表 今後新規に実施したいサービス（「その他」自由回答欄に記載されたもの）

- 放課後等デイサービス
- 放課後等デイサービス

（３）経営における問題点

問５ 経営状況において、日頃感じている問題点などがあればご記入ください。

- 人材不足は感じています。
- 超強化型維持のため、入退所が増えていること。光熱費の高騰。
- コロナ禍が続き、３年間不安で経営しています。コロナ予防のためにお休みする方、コロナになってしまい身体機能が低下してしまいデイサービスを利用できなくなる方が何人もおりました。
- 特にありません。
- 事業所が離れているので委託事業所の業務内容を法人が把握しづらい。

3 白井市の介護保険事業について

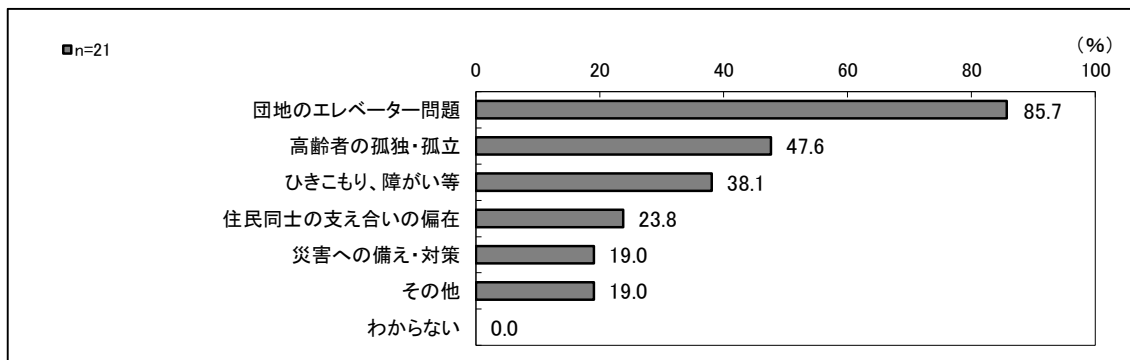
（１）白井市の福祉ニーズや課題

問6 サービス提供等を通じて、白井市内の福祉ニーズや課題について感じていることはありますか。【複数回答】

- 「団地のエレベーター問題」が第1位。

白井市の福祉ニーズや課題については、「団地のエレベーター問題」（85.7%）が最も多く、次いで「高齢者の孤独・孤立」（47.6%）、「ひきこもり、障がい等」（38.1%）、「住民同士の支え合いの偏在」（23.8%）、「災害への備え・対策」・「その他」（同率19.0%）となっている。「わからない」は回答なしとなっている。

図表 白井市の福祉ニーズや課題（全体／複数回答）



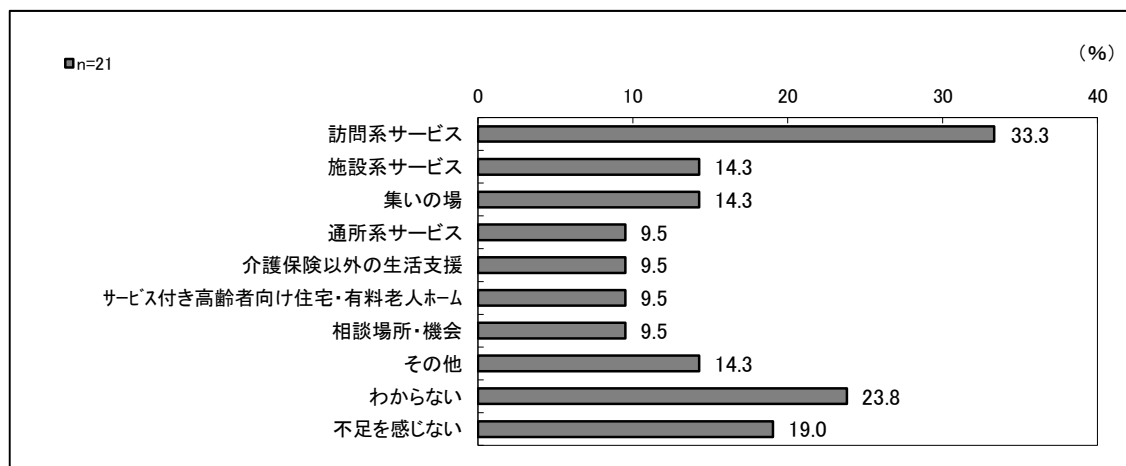
(2) 白井市に不足するサービス等

問7 白井市内に不足していると感じるサービスや支援は何ですか。【複数回答】

- 「訪問系サービス」が第1位。

白井市に不足するサービス等については、「訪問系サービス」(33.3%)が最も多く、次いで「施設系サービス」・「集いの場」・「その他」(同率 14.3%)、「通所系サービス」・「介護保険以外の生活支援」・「サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム」・「相談場所・機会」(同率 9.5%)となっている。なお、「わからない」は 23.8%、「不足を感じない」は 19.0%となっている。

図表 白井市に不足するサービス等 (全体／複数回答)



図表 自由回答欄に回答があったもの

（訪問系）

- ヘルパーなど人材不足がある。
- 訪問介護が必要な時間帯に利用できない
- 訪問看護、訪問リハビリ、訪問診療

（通所系）

- 土曜日に通所できるところが少ない。

（施設系）

- ショートステイ
- 介護保険施設が少ない。

（生活支援）

- 移送サービス、院内介助等の自費サービス、特養

（その他）

- 居宅介護支援事業所
- 住民パワー、自治会の中でのゴミ捨て支援
- 精神の病の方が通える病院。

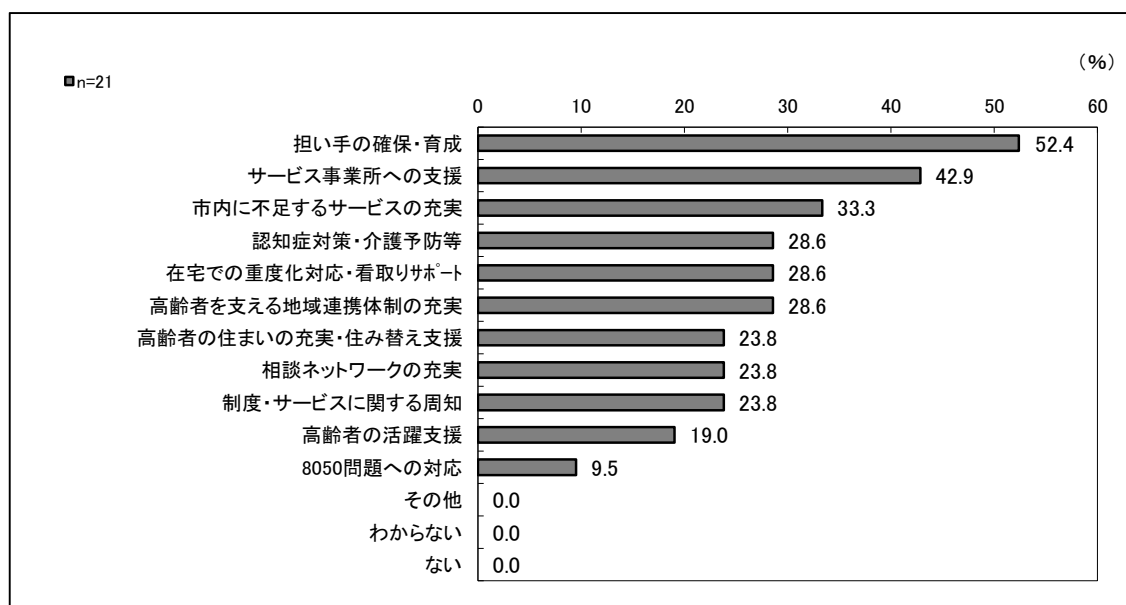
(3) 高齢者福祉の充実のために必要なこと

問8 市の高齢者福祉充実のためのお考えをうかがいます。
(1) 今後必要なこと【複数回答】

- 「担い手の確保・育成」が第1位。「サービス事業所への支援」、「市内に不足するサービスの充実」などが続く。

高齢者福祉の充実のために必要なことについては、「担い手の確保・育成」(52.4%)が最も多く、次いで「サービス事業所への支援」(42.9%)、「市内に不足するサービスの充実」(33.3%)、「認知症対策・介護予防等」・「在宅での重度化対応・看取りサポート」・「高齢者を支える地域連携体制の充実」(同率 28.6%)、「高齢者の住まいの充実・住み替え支援」・「相談ネットワークの充実」・「制度・サービスに関する周知」(同率 23.8%)、「高齢者の活躍支援」(19.0%)、「8050問題への対応」(9.5%)となっている。「その他」・「わからない」・「ない」は回答なしとなっている。

図表 高齢者福祉の充実のために必要なこと（全体／複数回答）



（４）高齢者福祉の充実のために事業所ができること

問８ 市の高齢者福祉充実のためのお考えをうかがいます。
（２）①事業所としてできること

<人材の確保・育成>

- 市内に不足しているサービスを開設するよう人材の確保をしていきたい。
- 居宅介護支援事業所の職員を増やしていきたい。
- 健全経営に努めたい。
- 事業所が、介護支援ボランティアの受け入れに理解を示していただけるように貢献していきたい。

<利用者や家族への支援（サービスの充実）>

- 自宅での看取りについて関わっていきたい。
- 制度やサービス相談など更に協力体制を強化していきたい。

<地域連会・市への協力>

- 地域と利用者様の間に入って連絡、調整を図りつなげていくこと。
- 地域と事業所の横のつながりがより円滑になるよう努めたい。
- 市が行っている福祉に関して理解し利用者に伝えていくことができればと思います。お話をうかがい困っていることなど相談して解決方法を見つけられればと思います。
- 白井市認定生活支援員講座への参加を促したい。
- 市の現状を把握し手が足りていない新たなサービスの支援ができるようにしたい。
- 在宅での重度化対応や看取りのサポートについて、引き続き支援していきたい。地域内の連携も、病院の SW やショートステイ先、デイサービス、訪問看護、訪問介護等と連携を取らせていただき、充実して支援を引き続き行っていきたい。

(5) 高齢者福祉の充実のために市に期待すること

問8 市の高齢者福祉充実のためのお考えをうかがいます。
(2) ②市に期待すること

<人材確保等の対策>

- ケアマネジャー不足など、担い手の確保・育成への対策。
- 施設に関わる職員（経営者も含め）内での人員不足などの問題点の共通認識が図れる対策。

<事業者支援>

- 補助金の充実
- サービス事業所への物品や資金の援助。
- 新しいサービスを開設するための相談や援助。

<連携推進>

- 市と連携して、サービス内容に高齢者の活躍支援を入れたお仕事デイサービスができれば良いと思う。
- 連携のサポート。どこに連絡すればよいのかなどの発信をしてほしい。
- これからの支援では、比較的介護度の低い方も介護保険に該当しない支援が多く必要になってくると思います。介護保険を使わなくても買い物に行ける（市が介入して）住民主体による生活支援サービス等を増やしてほしいです。

（６）自由意見

問９ 高齢者福祉の推進、介護保険サービス事業等について、日頃からのお考えがあればご自由にお書きください。

<市民への課題への対応について>

- 地域資源が限られている中、自助・互助をもっと身近に考えた上で、介護保険の基本（自立支援）を伝え、必要なら利用するというような流れの理解が欲しい。

<連携について>

- 白井市の不足しているサービスに関しては、サービスの開設や職員の増員することで支援させていただきたいと考えております。事業所事態も地域に根差したものにしたいと思っています。（土日の活用等）。
- 包括支援センター、高齢福祉課様と連携が取りやすく、サービス提供がしやすいと感じているため、引き続き連携していけるとよいと感じています。

<市の高齢者施策について>

- 独居の方などお話をしたいだろうなと感じることがあります。人との関わりがなくならないように、寂しい思いをしないように少しでも力になればと思います。必要としている方が必要なサービスを受けることができるように高齢者の方々がわかりやすい伝え方ができればと思います。
- 高齢者の方々がより充実した日々を送れるよう、介護保険が見直される時は対応していったほしい。また事業所としても、常にお客様が楽しんでいただけるサービスを全力で行います。
- 比較的介護度の低い方に対する「見直し」について、これからのウィズコロナ、少子高齢化を考えると、住民主体の事業と連携して民間のサービスを安く、使いやすく（買い物支援バス、掃除支援ボランティア）できると、]生活介護で市の財政を圧迫せずに、高齢者が安心して生活できるのではないかと考えます。